

平成 28 年 度
事 業 報 告 書

祥風会	法人本部
飛羽ノ園	特別養護老人ホーム デイサービスセンター指定通所介護事業所 指定居宅介護支援事業所 土浦市在宅介護支援センター
憩いの里	特別養護老人ホーム デイサービスセンター指定通所介護事業所 指定居宅介護支援事業所 土浦市在宅介護支援センター
飛羽ノ園デイサービスながみね 土浦市ふれあいセンターながみね	

社会福祉法人祥風会 本部
〒300-0823 茨城県土浦市小松1-3-33 ハトリビル6F
TEL 029-896-3520 FAX029-896-3522

祥風会	理事長	羽鳥	圭一
研修室	室長	河田	輝子
飛羽ノ園	施設長	和田	宏一
憩いの里	施設長	村山	直希
ながみね	管理者	梶川	純孝

目次

祥風会本部	P. 1～10
介護職員初任者研修	P. 1～2

ピンク色

特別養護老人ホーム飛羽ノ園	P. 1～20
特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ	P. 21～26
飛羽ノ園デイサービスセンター	P. 27～39
飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所	P. 40～44
土浦市在宅介護支援センター	P. 45～49

緑色

特別養護老人ホーム憩いの里	P. 1～29
デイサービス憩いの里	P. 30～39
支援センター憩いの里	P. 40～44
土浦市在宅介護支援センター	P. 45～46

黄色

飛羽ノ園デイサービスながみね 事業計画書	P. 1～11
----------------------	---------

青色

土浦市ふれあいセンターながみね 事業計画書	P. 1～11
-----------------------	---------

1. 法人事業活動状況

①施設関連

「飛羽ノ園」は平成 3 年の事業開始から 25 年という年月に伴う経年劣化の為、外壁塗装、本館床貼り工事、玄関周りのタイル貼り替え、デイサービス浴室改修工事と大規模修繕を行った。

「憩いの里」は業務用エアコン、居室内エアコンの内部洗浄を実施し、入居者の生活環境や職員の職場環境に配慮した。各種扉やトイレ、洗濯機、機械浴等の不具合が目立ち始め、計画を立てた更新が必要となっている。

「ながみね」は指定更新に伴い、ふれあいセンター事務員の祥風会職員の割合を増やすことにより、デイサービスとの連携強化が図れた。定休日については月曜日が祝日の際は営業とし、翌日火曜日が休館日となり祝日の家族連れの利用が増加した。女子浴室の壁の腐食や空調機からの水漏れによる天井の剥がれ、券売機の不具合による入れ替え等を土浦市と協議した。

②IT の活用

介護記録システム（ながみねデイ、他は H27 年度に実施済み）は全施設で導入が完了し、統一した書式や記録の簡素化による業務負担の軽減につながった。また、昨年構築した VPN を活用し、各種データを各施設間でのシームレスなやり取りが可能となり、更なる連携強化と効率化が図れた。

H27 年度から協議していたひかり電話を各施設で導入したことにより通話料金の削減につなげ、今後は IP 電話等の活用により施設間の通話を無料でできるシステムや WEB 会議システムを導入していく予定である。

以前より活用しているネットバンキングにより入居者、デイサービス利用者、家族の要望に応じ、利用料金の口座引落を行い、現金によるやり取りを最小限にし、リスクを軽減するとともに事務負担の軽減に努めた。

③経営の透明性の確保

ホームページ上に各施設の行事風景のスムーズな更新や法人としての取り組みを発信することで入居施設を探している方や求職者への施設選定の情報収集の一つとなることを心掛けたが、行事の更新が遅れることもあり各施設担当者の意識の更なる向上が必要と感じた。

平成 29 年 4 月 1 日施行の改正社会福祉法で定められた財務諸表等電子開示システムによる情報の開示により官公庁に報告、整備することで国民誰もが閲覧できるシステムが構築されることは社会福祉法人として積極的に様々な情報を発信するとともに国民に納得してもらえるような経営が求められていることを全職員が認識し、社会福祉法人としてのあるべき姿を追求していかなければならない。

④人材確保・育成・管理

多様な媒体の活用により人材確保に努めたがスムーズな採用が困難かつ広告費が例年増加傾向であり、人材紹介業者に頼らざるを得ない状況が目立ってきた。今後は各種学校訪問や合同説明会に参加し、祥風会を積極的にアピールする考えである。

入職して間もないのに退職する職員が続いた為、入職後の面談によるフォローや面接のみでは把握しきれない適性等は性格検査（SHL を活用予定）を実施し、祥風会で長く働ける帰属意識の高い職員育成に努めていきたい。

他法人施設での5日間の研修は参加した職員から好評であり、自施設の優れている点や改善すべき点等が見えたことによりやる気につながった為、今後も継続して実施していきたい。

【各種規程作成、変更】

平成29年4月の社会福祉法改正、施行に伴う定款変更、評議員選任解任委員会規程、役員報酬等規定、社会福祉法人祥風会職員弔慰金等支給規程

【総括】

各施設とも老朽化に伴う修繕、施設整備支出が増加し、今後は綿密な計画のもとに積立を考えていかなければならない。

人材確保は今後ますます厳しくなり、広告費も増加傾向である。現職員の満足（ES）が新入職者を口コミで増やす効率的かつ確実な手法であり、入居者や利用者、家族の満足（CS）、利用者獲得にもつながるので祥風会の他法人にはない優れた点を職員に伝えていくとともに、職務に対する意欲の向上に努めていく。

今後の事業拡大を視野に入ると、現職員の資質の向上、管理職候補者の育成等が今後の課題であり、アッセッサー制度に準じた評価表を作成し、評価する側、される側が現状を認識し、資質の向上に努め、職員へ適切な処遇ができるようなシステムを早急に構築していきたい。

2. 事業内容

- * 祥風会設立認可・・・平成元年6月26日
- * 創立登記・・・平成元年6月27日
- * 理事長 羽鳥圭一 就任年月日・・・平成21年8月10日
- * 土浦市小松 1-3-33 ハトリビル 6階（平成24年12月に移転）

介護職員初任者研修事業申請（平成26年1月31日）

平成26年2月14日指定（指定番号45）

事業所名		所在地	事業開始年月日	介護保険指定日	事業所番号
飛羽ノ園	特別養護老人ホーム飛羽ノ園	茨城県 土浦市小松 3-18-18	平成3年5月31日	平成12年3月10日	0870300241
	特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ		平成26年4月1日	平成26年4月1日	0890300106
	短期入所生活介護支援事業所		平成3年5月31日	平成12年3月10日	0870300241
	飛羽ノ園デイサービス		平成3年5月31日	平成12年3月10日	0870300431
	土浦市在宅介護支援センター		平成6年8月17日	/	
	飛羽ノ園居宅介護支援事業所		平成11年11月30日	平成11年11月30日	0870300175
ながみね (指定管 理)	飛羽ノ園デイサービスながみね	茨城県 土浦市中村西根 2078-1	平成15年6月1日	平成15年5月29日	0870300811
	土浦市ふれあいセンター		平成23年4月1日	/	

憩いの里	特別養護老人ホーム憩いの里	茨城県 土浦市高岡 2315	平成 17 年 9 月 25 日	平成 17 年 9 月 25 日	0873900765
	短期入所生活介護支援事業所		平成 26 年 4 月 1 日 (増床 20 床)		
	デイサービス憩いの里		平成 17 年 9 月 25 日	平成 17 年 9 月 25 日	0873900765
	土浦市在宅介護支援センター		平成 17 年 9 月 25 日	平成 17 年 9 月 25 日	0873900740
	支援センター憩いの里 (居宅介護支援事業所)		平成 19 年 4 月 1 日		
			平成 17 年 9 月 25 日	平成 17 年 9 月 25 日	0873900757

※詳細は介護職員初任者研修事業報告書に記載

3. 評議員会・理事会開催状況

第 1 回評議員会・理事会 平成 28 年 5 月 19 日 (木) 法人本部にて 18:30~20:40	
評議員会 (出席者 14 名)	理事会 (出席者 8 名)
第 1 号議案 平成 27 年度事業報告書 (案) 第 2 号議案 平成 27 年度決算報告書 (案) 第 3 号議案 就業規則の変更について 第 4 号議案 介護福祉施設等建設予定地の購入について 第 5 号議案 飛羽ノ園施設整備のための借入について	
第 2 回評議員会・理事会 平成 28 年 11 月 24 日 (木) 法人本部にて 18:30~20:30	
評議員会 (出席者 12 名)	理事会 (出席者 8 名)
第 1 号議案 定款変更について (役員等の任期、役員会開催回数、重要な職員の任免範囲の設定) 第 2 号議案 評議員任期満了 (平成 28 年 12 月 11 日) に伴う改選について 第 3 号議案 第三者委員任期満了 (平成 28 年 12 月 12 日) に伴う改選について 第 4 号議案 役員等候補者の選定について (理事、評議員、評議員選任・解任委員、監事) 第 5 号議案 評議員選任・解任委員会規程について 第 6 号議案 役員報酬規程について 第 7 号議案 職員弔慰金等支給規程について 第 8 号議案 就業規則の変更について (育児・介護休業規程)	
第 1 回評議員選任・解任委員会 平成 29 年 3 月 17 日 (金) 法人本部にて 13:50~14:20	
評議員会 (出席者 12 名)	理事会 (出席者 8 名)
第 1 号議案 特別養護老人ホーム憩いの里施設長交代について 第 2 号議案 平成 28 年度 第 1 回補正予算書 (案) 第 3 号議案 平成 29 年度 事業計画書 (案) 第 4 号議案 平成 29 年度 当初収支予算書 (案) 第 5 号議案 定款細則の変更について 第 6 号議案 経理規定の変更について	

- 第7号議案 役員賠償責任保険について
- 第8号議案 実務者研修について
- 第9号議案 現職理事の退任について
- 第10号議案 非常勤職員就業規則変更について

理事（8名）

羽鳥 圭一、羽鳥 栄子、岡田 司、増山 栄、今高 國夫、君山 毅、高橋 敏夫、河田 輝子

評議員（17名）

羽鳥 圭一、羽鳥 栄子、岡田 司、増山 栄、今高 國夫、君山 毅、高橋 敏夫、宮崎 三弘
 島田 源、今高 博子、竹若 栄吾郎、春原 豊、廣瀬 弘、桐島 浩子、説田 賢哉、物江 学
 高野 久

4. 監事監査の実施状況

平成28年5月10日（火）法人本部にて 11：00～12：00
理事の業務執行状況・・・・・・・・適正である
法人の財産管理状況・・・・・・・・適正である
法人・施設の業務執行状況・・・・適正である
法人・施設の会計状況・・・・・・・・適正である

監事（2名）

仲田 秀治、鈴木 茂輝

5. 職員状況

<異動・入職・退職者数一覧>

※『離職率(%) = 当期間内の離職者数÷当期首の在籍者数×100』で算出

(1) 法人本部 単位：人

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	離職率	
異動	正	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3		
	パ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
入職	正	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	パ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
退職	正	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		25%
	パ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0%

(2) 飛羽ノ園

①特養

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	離職率
異動	正	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4	
	バ	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	
入職	正	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	
	バ	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
退職	正	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4%
	バ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	8%

②とわ

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	離職率
異動	正	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
	バ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	
入職	正	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	バ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
退職	正	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13%
	バ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	25%

③デイサービス

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	離職率
異動	正	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
	バ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
入職	正	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	バ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
退職	正	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	バ	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	67%

④支援

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	離職率
異動	正	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	バ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入職	正	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	バ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
退職	正	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
	バ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%

(3) 憩いの里

①特養

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	離職率	
異動	正	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	4		
	パ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
入職	正	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4		
	パ	0	0	0	0	1	1	0	2	1	0	0	0	5		
退職	正	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	2	6		13%
	パ	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	3		25%

②デイサービス

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	離職率	
異動	正	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
	パ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
入職	正	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	4		
	パ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
退職	正	0	0	0	2	1	0	0	0	0	2	0	0	5		50%
	パ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		100%

③支援

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	離職率	
異動	正	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
	パ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
入職	正	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	パ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
退職	正	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0%
	パ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0%

(4) ながみね

①デイサービス

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	離職率	
異動	正	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
	パ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
入職	正	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2		
	パ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2		
退職	正	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3		43%
	パ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1		20%

②ふれあいセンター

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	離職率	
異動	正	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	パ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
入職	正	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	パ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
退職	正	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0%
	パ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0%

<平成 28 年度採用・不採用・辞退一覧> 単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
採用	7	1	3	1	7	3	1	2	2	1	1	1	30
不採用	0	1	1	1	5	5	3	0	0	0	0	4	20
辞退	0	2	1	0	2	3	0	1	1	1	2	0	13
合計	7	4	5	2	14	11	4	3	3	2	3	5	63

<募集媒体一覧> 単位：人

媒体	採用	不採用	辞退	合計
新聞折り込み	6	6	1	13
インターネット	4	5	4	13
祥風会 HP	2	2	0	4
人材派遣	2	0	1	3
ハローワーク	4	1	0	5
人材紹介	7	3	5	15
職員紹介	1	0	1	2
フリーペーパー	1	3	0	4
元職員の復職	2	0	0	2
初任者研修	0	0	1	1
電話帳検索	1	0	0	1
合計	30	20	13	63

6. 研修・講習・交流会状況

①内部研修

日・曜日・時間	研修名・対象者	参加者（名）	備考
4月5日（火） 10:00～15:00	祥風会概要・職員として 新人・中途採用者	13	講師 拠点別相談員及び管理者 土浦市出前講座
5月17日（火） 11:00～12:00	事例を通して法人内連携 介護支援専門員	8	事例検討（高齢世帯） ファシリテーター河田
5月17日（火） 13:00～15:00	知っ得会計 事務員・相談員・ケアマネ・主任	15	会計を学ぶにあたり 講師 山本次長
6月14日（火） 11:00～13:00	ニコニコ献立 栄養士	4	憩いの里見学 昼食会 情報交換
6月14日（火） 13:00～15:00	気づく力を養おう 介護職・サブ	8	事例から現場の捉え方 ファシリテーター河田
7月20日（水） 10:00～12:00	リーダーの役割 主任	11	講師 村山事務長 ファシリテーター河田
7月27日（水） 13:00～15:00	安寧な看取り 看護師	8	飛羽ノ園見学 他職種連携 ファシリテーター河田
8月18日（木） 13:00～15:00	ヒヤリハットの有効活用 中堅職員	10	介護労働安定センター 講師 奥平氏
9月6日（火） 13:00～15:00	フォローアップ研修 新人・中途採用者	6	振り返り コミュニケーション 講師 河田
9月13日（火） 13:00～15:00	ストレスマネジメント 全職員	7	飛羽ノ園見学 ストレス発散法 講師 河田
10月14日（金） 11:00～12:00	対応マナー 介護支援専門員	5	事例を通して ファシリテーター河田
10月14日（金） 13:00～15:00	知っ得会計 事務員・相談員・ケアマネ・主任	13	会計入門 講師 山本次長
11月15日（火） 11:00～12:00	ニコニコ献立 栄養士	4	情報交換（行事食 ソフト食） 関管理栄養士
11月15日（火） 13:00～15:00	人事考課評価者研修 評価担当者	13	エラーを未然に 講師 村山事務長
1月12日（木） 13:00～15:00	29年度事業計画策定 計画作成担当者	8	課題抽出・フォーマット統一 ファシリテーター村山事務長
2月14日（火） 13:00～15:00	みんなで考えよう利用者様「快」 全職員	10	介護労働安定センター 講師 奥平氏
研修回数 16回		参加者（延） 143名	

平成 28 年度は、前年度の法人内職員「顔の見える化」から一步前進した。

第一として各拠点の見学を実施出来たこと。これは互いの職場の所在確認から現場の雰囲気を感じ取り、大きな成果があった。例えば、特養では従来型・ユニット型・地域密着型の相違を直接学ぶことができた。又、同じデイサービスであつてもリハビリテーションを通して身体的な残存機能を維持する働きかけをしている、レクリエーションの作品作りから利用者様同士の交流を図っている、簡単なゲームや体操を通して脳トレを行っている等それぞれの特徴や力を入れている部分を理解する参考となった。

第二として、介護報酬請求に関わっている担当者に対しての知っ得会計研修を 2 回程企画した。初回は触れることもない表や言葉が出て戸惑ってしまったと嘆きの声があつた。2 回目は、参考資料と丁寧な説明により、全般的に難しかったが、折角会計を学んだのだから現場で日常的に会計に係る購入伺いはきちんと記載したい、会計の流れに少し興味がわいた等の声があつた。このような担当者の姿勢から全職員の会計への認識が高まり日常的な費用削減への効果が期待出来ればと思う。

第三に介護労働安定センター茨城支部の介護労働講習のケア・サポート講習を 2 回利用した。全職種の職員を対象とし、初回はヒヤリハット時の報連相の徹底化を学んだ。「運よく大事には至らなかったが大きな負のエネルギーを含んだ出来事」に対し、個人を責めずチームで情報を共有し取り組んでいく大切さを学んだ。2 回目は、利用者様にいかに心地良い毎日を過ごしていただくか、そのために職員がどのように取り組んでいくべきかを「みんなで考える」機会を共有した。最初に現場にある「不快」の課題を書き出し、2 人組になり、傾聴と話し手に分かれて演習を行った。「不快」のありようについて説明したり、言語化をしていく上で原因が探れて来た。再びパートナーを替えて傾聴し合っていくうちにモヤモヤ感が軽減された。次に現場での「快」を特定した。「不快」を包み込む「快」を探し、身の回りの「快」を育てていこうと結論が出た。演習を重ねていくうちに最初の緊張がほぐれ穏やかな雰囲気になった。共感したり、共に学べる事に心地よさを感じたとのアンケート記載があつた。外部講師を招いての研修は、移動時間も短縮出来、気軽に学べるのではと考える。

総合的に前年度とテーマが同様にならない為の工夫をしたこと、講義だけではなく参加型のグループワークを展開したことで一部の職員からは、実際の現場業務に活かせた、次年度の内部研修が楽しみであるとの意見も寄せられた。今年度も「顔の見える化」から直接的なサービスの質の向上に寄与するだけでなく、チームワーク向上等働きやすい職場づくりに貢献出来る研修室として存在出来たと考える。

②外部研修

年 月 日	研 修 名	研 修 場 所	参加人数
平成 28 年 7 月 20 日	労務トラブルセミナー	三井住友海上火災保険 (株)	1
平成 28 年 8 月 21 日～23 日	会計実務講座 (入門研修会)	中央福祉学院 (ロフォス湘南)	1
平成 28 年 10 月 27 日	雇用管理責任者講習	ワークヒル土浦	2
平成 28 年 11 月 1 日	社会福祉法人制度改革に関する説明会	県庁 9 階講堂	1
平成 28 年 11 月 2 日～4 日	会計実務講座 (第 2 回面接授業)	中央福祉学院 (ロフォス湘南)	1
平成 28 年 11 月 10 日	視察研修	(福) 合掌苑	1
平成 29 年 1 月 26 日	社会福祉法人事務担当職員研修会	フェリヴァ エールサンシャイン	1
平成 29 年 2 月 6 日	ハラスメント・企業の公正採用	牛久市中央生涯学習センター	2
平成 29 年 2 月 9 日	障害者雇用納付金制度事務説明会	ワークヒル土浦	2
平成 29 年 3 月 21 日～27 日	実務者研修教員講習会	読売理工医療福祉専門学校	1
合計			13

平成 28 年度 社会福祉法人祥風会 介護職員初任者研修 事業報告書

1. 事業活動方針

2025 年問題を目前に、福祉人材確保のためだけに力を尽くすのではなく時代の移り変わりに応じた介護職員の育成を考えた。まず、利用者様の背景の変化として明治、大正、昭和と激動の時代を過ごして何事にも耐え忍んだ方達と戦後の豊かな時代を過ごして今日に及んでいる方達の相違を理解することが、重要となって来る。後者の方達は、権利や保障の主張に敏感であると推測される。その様な場合、感情労働が主である現場での混乱が想定されることは言うまでもない。アセスメントをしっかりとって介護過程の流れを理解し、根拠に基づいたサービス提供を行うために他職種連携のチームケアを展開していく上での報連相や情報共有のための記録の必要性を指導した。

2. 事業内容

在宅・施設を問わず、介護の業務に従事しようとする者を対象とし、介護をするにあたっての専門職養成を行った。

開催	受講者 (名)	修了試験合格者 (名)
第 1 回	11	9
第 2 回	6	6
第 3 回	14	13
第 4 回	9	10
合計	40	38

※自己都合に依る 2 名の中途退講者がいた。38 名の修了者の中に当法人就労者 5 名が含まれている。

3. 実施場所

- ・社会福祉法人祥風会本部研修室（講義・演習）茨城県土浦市小松 1-3-33 ハトリビル 6F
- ・特別養護老人ホーム飛羽ノ園（実習施設）茨城県土浦市小松 3-18-18
- ・特別養護老人ホーム憩いの里（実習施設）茨城県土浦市高岡 2315
- ・デイサービスながみね（実習施設）茨城県土浦市中村西根 2078-1

施設実習

	第 1 回 (名)	第 2 回 (名)	第 3 回 (名)	第 4 回 (名)
飛羽ノ園	1	0	0	1
憩いの里	0	0	0	0
ながみね	0	0	0	0
合計	1	0	0	1

・実習が必須でなくなったことで希望者が減少。施設への見学会を実施した。

	第1回 (2/9:木) (名)	第2回 (3/9:木) (名)
飛羽ノ園	4	3
憩いの里	4	3
ながみね	4	3
合計	12	9

4. 講師

講師担当として科目に応じ介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、看護師からの協力を得た。

5. 年齢別修了生

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
修了生(名)	0	6	8	11	8	2	3
平均年齢(才)	44.97						

※平均年齢は実年齢で計算

6. まとめ

受講対象者として・心身ともに健康で介護福祉サービスに従事することを希望する方、及び既に従事している方・開講日時点において義務教育を修了している方(未成年者の方は、保護者の同意が必要)・介護の知識・技術を学び、家庭や地域活動に活用することを希望する方等を募集したが、実際に応募して来た方々は、近隣の福祉現場で無資格で働いている方、特別養護老人ホーム(ときわぎ・筑水苑・もりの家)・デイサービス(ケアパートナーつくば・ケアセンターそよ風・プラザマアム)・訪問介護(プルメリア)・グループホーム(マロン館・美桜・しょうわ家族・(株)内根)・障害者支援施設ほびき園・有料老人ホームサンテヌ・サービス高齢者住宅アモール等であった。又、自衛隊退職者2名は、福祉系・医療系に就労予定で今後活かしたいとのことであった。これから介護を受ける側になった場合に自助として役立て、家族や親族への介護負担軽減を目指す方。又、将来、両親の介護に当たる場合に備えたい方等。大半は、今まで無資格だったため正規職員になれなかったが、取得後は雇用条件が変わると熱心に学んでいた。

今年度の受講生の傾向として、昨年より平均年齢が上昇している。生涯学習を前面にアピールしたことが功を奏した。40代後半で子どもが高学年になり、これからの就労予定に介護分野を考えている方の受講があった。有料老人ホームにおいては、大卒の雇用者を初任者研修を受講することで活かせると資格取得を進め応募させてくれた。以上のような様々な事由での応募があった。「継続は力なり」の言葉通り実施出来た一年と考える。

平成 28 年度 特別養護老人ホーム飛羽ノ園事業報告書
介護老人福祉施設・短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護
ユニット型サテライト型地域密着型介護施設（とわ）

【1】運営（運営方針に対する報告）

1. 施設

地域に根ざした施設運営の点について、「ふらっと HIWA」の活動を継続することで、常に開かれた施設、気軽に立ち寄ることができ、自身の老後や家族の介護等について相談できる場所をめざして運営をしてきた。また、そのような立場に立つ体制作りと同時に訪れた方が安らげ、安心できる場所となるよう老朽化した外観のリニューアル、全館の床の張替えを始めとした環境整備にも力を入れた。この環境整備の一環として面会者への対応の見直しもを行い、入居者と面会者がくつろげる方法を検討した結果、安らげる面会スペースを提供する為、備品の整理整頓を行いスペース確保した。また、この面会スペースについては、感染症の流行時にやむなく行っていた全館面会制限を、場所を限定することで感染症対策の効果も期待できる。来年度は自施設内での感染症リスクを軽減し入居者・家族の繋がり、生活の場としての機能を継続させていきたい。

また、今年度は待機者の減少が顕著に現れた年であった。市内待機者の減少や医療依存度が高く特養で受け入れるために解決しなければならない課題を多く抱えている方もいた。今後更に厳しい状況が続くと予測される。このような状況を回避するため、デイサービスやショートステイを利用されている方及びその家族との信頼関係作りや、これまで想定していなかった広域（隣接市町村以外・県外を含む）での積極的な営業活動も必要と考える。今後、介護保険内のサービスだけでなく個のニーズに柔軟に対応する姿勢が求められる。

次年度は、本年度達成できなかったことを継続して達成を目指すとともに、新たに見出した課題を解決できるよう取り組みたい。

2. 短期入所・介護予防短期入所生活介護

従来型施設においてインフルエンザが流行したことにより約 1 ヶ月に渡りショートステイの受入を制限しなければならず、その期間のショートステイ稼働率は大幅な減少となった。インフルエンザを始めとした感染症の流行は多床室ショートステイの受入に大きく影響するため、感染症予防対策は常に課題である。

また、短い期間を定期的に利用されるショートステイ希望者が減少する一方で、長期ステイ希望者の増加が顕著に見られた。この長期ステイ希望者の中には、これまで定期で利用されてきた方が介護の重度化により在宅では対応しきれなくなり、入居待ちの状態となったケースが多く含まれる。本来の機能である枠とのバランスをとる為、適宜長期ステイ枠を増減させ対応した。

長期ステイ利用が増えることに伴い、当然利用中の定期受診や体調不良時のかかりつけ医への受診をするが家族が対応できないという問題も増えた。内容としては、経済面や交通手段の有無、介護力に不安がある方、身寄りがない方など、状況に合わせて臨機応変送迎・付き添い対応をした。このように本来のサービス枠に留まらず、顕在化したニーズに地道に対応し受入れの幅を広げることが、社会福祉法人としての役割である感じている。今後も「施設として何ができるか」を考えながら行動していきたい。

3. 稼働率報告

種 別	特養従来		ユニット		ショートステイ	
	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度
年間ベッド数（最大）	18,300	18,250	7,320	7,300	3,660	3,650
延べ人数	17,969	18,023	7,176	7,245	2,850	3,034
稼働率（%）	98.1%	98.8%	98.0%	99.2%	77.8%	83.1%

【2】事業実績（主に数値的な報告）

1. 利用者推移・実数

（1）入居者数・退所者数

月	入所		退所	
	従来	ユニット	従来	ユニット
4	3	0	4	0
5	1	0	0	0
6	0	0	0	0
7	1	0	1	0
8	1	0	1	0
9	3	0	3	0
10	2	0	2	0
11	0	1	1	1
12	1	0	0	0
1	3	2	4	2
2	4	0	4	0
3	3	0	2	0
合計数（月平均）	22(1.83)	3	22(1.8)	3(0.25)
前年度合計数	23	6	23	6

（2）入所・退所経路

入所経路	従来型	ユニット	退所経路	従来型	ユニット
居宅	16	3	永眠	9	2
病院	2	0	病院	12	0
老健	3	0	老健	0	0
GH	1	0	居宅	1	1
計	22	3	計	22	3

(3) 要介護度別 ※平成 28 年 3 月 31 日現在

要介護度	性別				人数計		前年度	
	男		女					
	従来	とわ	従来	とわ	従来	とわ	従来	とわ
1	1	1	2	2	3	3	2	3
2	2		5	2	7	2	9	2
3	7	0	14	6	21	6	17	6
4	3	0	6	8	9	8	17	8
5	1	0	10	1	11	1	5	1
合 計	14	1	37	19	51	20	50	20
平均要介護度	3.1	1	3.5	3.2	3.4	3.1	3.3	3.1

(4) 年齢構成 ※平成 28 年 3 月 31 日現在

		～64 歳	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90 歳～	計
従来	男性	0	1	1	3	4	5	0	14
	女性	1	1	0	2	11	8	13	36
とわ	男性	0	0	0	0	1	0	0	1
	女性	0	0	1	2	1	2	13	19
合計		1	2	2	7	17	15	26	70
前年度		1	2	1	10	18	15	23	70

(5) 入居者要介護度別利用状況

①従来

月	要介護度	1	2	3	4	5	合 計
4	実人数	2	10	17	14	10	53
	延人数	60	300	490	391	248	1,489
5	実人数	3	8	17	13	9	50
	延人数	93	248	527	403	272	1,459
6	実人数	2	9	17	12	10	50
	延人数	60	270	510	360	300	1,500
7	実人数	2	9	16	11	13	51
	延人数	62	279	496	327	386	1,550
8	実人数	2	8	17	11	13	51
	延人数	62	248	527	331	382	1,517
9	実人数	2	8	18	13	12	53
	延人数	60	240	520	331	349	1,500
10	実人数	2	9	19	11	11	52
	延人数	62	279	548	320	341	1,550
11	実人数	2	9	20	7	12	50
	延人数	60	270	600	208	360	1,498
12	実人数	2	9	21	6	12	50
	延人数	62	279	651	186	372	1,550
1	実人数	2	9	22	8	12	53

	延人数	62	260	644	212	357	1,535
2	実人数	3	8	21	8	13	53
	延人数	76	213	581	224	289	1,383
3	実人数	3	7	21	9	11	51
	延人数	93	217	651	230	301	1,492
28年度	実人数	27	103	226	123	138	617
	延人数	812	3,134	6,745	3,523	3,952	18,166
27年度	実人数	40	120	193	193	63	609
	延人数	1,204	3,635	5,811	5,537	1,782	17,969

②とわ

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数	3	2	6	8	1	20
	延人数	90	60	180	240	30	600
5	実人数	3	2	6	8	1	20
	延人数	93	62	186	248	31	620
6	実人数	3	2	6	8	1	20
	延人数	90	60	180	240	30	600
7	実人数	3	2	6	8	1	20
	延人数	93	62	186	248	31	620
8	実人数	3	2	6	8	1	20
	延人数	93	62	186	248	31	620
9	実人数	3	2	6	8	1	20
	延人数	90	60	180	240	30	600
10	実人数	3	2	6	8	1	20
	延人数	93	62	186	248	31	620
11	実人数	3	2	6	9	1	21
	延人数	90	60	180	232	26	588
12	実人数	3	2	6	9	0	20
	延人数	93	62	186	270	0	611
1	実人数	3	2	6	10	0	21
	延人数	93	62	168	266	0	589
2	実人数	3	2	6	8	1	20
	延人数	84	56	168	221	28	557
3	実人数	3	2	6	8	1	20
	延人数	93	62	186	248	31	620
28年度	実人数	36	24	72	100	10	242
	延人数	1,095	730	2,172	2,949	299	7,245
27年度	実人数	47	31	55	89	21	243
	延人数	1,322	933	1,606	2,685	630	7,176

《考察》

従来型については、一定期間に退所が重なり、スムーズに次の入所を案内することができず空床となってしまう期間があったにも関わらず、前年と比べると延べ人数は大幅な増加となった。これについては、年度当初に年間の空床日数の目標を50日としたことで、稼働率への意識が高まったためと考える。また、その時期は入所申込者数が少なくロングショートステイの方の確保も考えなければならないこともあり、ショートステイの定期利用の方の再アセスメントと家族背景の見直しをしてロングショートステイへの切り替えも行なう事ができた。次年度も同様に空床日数の目標を立て、無駄なくベッドを活用したい。

ユニットについては、前年度とほぼ同数となり、空床期間があまりなく入居率が高い一年となった。また、入院や退所後の空床期間にショートステイとして利用して頂くことでユニットの雰囲気を感じ、その後のスムーズな入所へ繋ぐこともできたので、今後も積極的に活用したい。

(6) 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

月	要介護度	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4	実人数	0	0	1	7	3	8	1	20
	延人数	0	0	3	62	15	101	16	197
5	実人数	0	0	1	6	3	8	2	20
	延人数	0	0	2	77	46	143	30	298
6	実人数	0	0	2	5	5	7	2	21
	延人数	0	0	5	67	63	124	32	291
7	実人数	0	0	0	7	5	6	3	21
	延人数	0	0	0	84	53	127	22	286
8	実人数	0	0	0	7	5	7	1	20
	延人数	0	0	0	96	75	90	5	266
9	実人数	0	0	3	8	6	5	2	24
	延人数	0	0	15	85	82	60	6	248
10	実人数	0	0	2	7	8	4	2	23
	延人数	0	0	10	80	118	66	6	280
11	実人数	0	0	1	7	7	4	0	19
	延人数	0	0	5	91	85	76	0	257
12	実人数	0	0	3	6	7	5	1	22
	延人数	0	0	8	59	119	87	4	277
1	実人数	0	0	3	5	6	4	1	19
	延人数	0	0	27	67	100	61	31	286
2	実人数	0	0	2	2	3	3	1	11
	延人数	0	0	12	12	38	27	14	103
3	実人数	0	0	2	5	4	6	1	18
	延人数	0	0	19	65	91	65	5	245
28年度	実人数	0	0	20	72	62	67	17	238
	延人数	0	0	106	845	785	1,027	171	3,034
27年度	実人数	0	0	49	74	38	78	39	270
	延人数	0	0	678	919	439	713	358	3117

《考察》

・インフルエンザ対策として、2月に受入制限が必要となり稼働率では大幅に減少となった。一方、皮膚感染症の流行がなかったため平成27年度のように2度の受入制限までには至らなかった。次年度に向けた感染症対策の一環として従来型フロアの一角に面会スペースを設けて、自施設で流行しない限りはできるだけ利用制限や面会制限を行わずに済むよう対策を講じた。

・また今年度は要介護度1の方が大幅に減少する一方で、要介護度3及び4の方の大幅な増加が顕著となり在宅で過ごされる方も重度化されている様子が伺われ、受入時の介護の量、質ともに変化を求められる年となった。

・更に、今年度は緊急受入として4件の要望があり全て対応することができた。この緊急受入のうち2件は併設のデイサービスを利用されている方から、1件は他のショートステイを利用されている方、そしてもう1件はサービスを利用されたことがない方からの要請であり、他事業所利用の方及び初めてのサービス利用の方は定期利用に繋がらなかった。この機会を活用できるようサービスの質の見直しと向上を目指したい。

【3】重点目標：権利擁護に即した自立支援の実践

①権利擁護・尊厳について学ぶ

年度初めに2連続(4月・5月)で権利擁護・尊厳についての勉強会を開催し、基礎知識を学ぶことができた。また、職員全員に対し目標への意識付けをすることにも繋がった。これまでのケアを振り返る機会となり、無意識に権利を侵害してしまっていないか、声掛けの中に強制がないか等見直すことができた。

②ニーズ調査

ニーズ調査については、具体的な体系を作ることは出来なかったが、「毎日の会話の中で好みを探る」や、「興味を持っていただけそうなものを提案してみても反応をみる」等、ご利用者の日々の生活に取り入れやすい事からはじめることが出来ている。対象が多いとニーズの確認もしきれなくなるので、『居室担当』が担当者のニーズを知り、それに応えるケアの提案や他職員との情報の共有を図っていける様にしていきたい。

③「看取りケア」マニュアルの見直し

勉強会を通して飛羽ノ園における「看取りケアの在り方」を話し合うことができた。当面の課題として、看取り希望の方へのケアカンファレンスのタイミング、医療・介護・事務での連携の仕方が挙げられ、課題解決に向けて動いていきたいという意識を持つことが出来た。しかし、実際に看取りマニュアルの課題変更へ繋がっていない段階なので、引き続き来年度への課題とし、実践を通して完成度の高いマニュアルへ変えていきたい。

《考察》

どの項目に関しても、職員間で意見を出し合い検討する時間が上手く作れなかったという反省がある。職員一人一人考えを持っており、考えを持ち寄る機会を持ち、意見をまとめることでより良いケアや体制作りができるだろうという手ごたえは感じる事が出来たので、来年度は計画的に時間を捻出し、実現させていきたい。

1. 介護職員反省

(1) 主任

小松澤 雅美	利用者の気持ちを一番とし、日々、介助を行なうよう行動することができた。排泄介助では本人の意向に添えなかったこともあり、今後の課題と感じている。
島田 雄介	業務を行っていく上で時間を気にしてしまい利用者が出来る動作をつい介助してしまうことが多かった。尊厳を保てるよう、もっと勉強が必要だと感じた。

(2) ユニット別目標

か す み	ユニット内での情報(ニーズの把握等)を各個人で持っている事が多く、情報の共有がなかなか難しい様子が多く見られた。職員間のコミュニケーション自体は取りやすくなってきているので、情報共有の方法を探っていきたい。	
	リーダー 横山 玲	仕事を行っていく上での足場作りに重点を置き、職員間の情報共有、またどの様な職場にして行きたいか、を自分自身理解できる様務めた。入居者対応、専門知識の向上を踏まえ各職員と情報共有を深める必要があると感じた。
	幸口 綾佳	職員同士、声をかけ合い仕事を行なう事ができた。これからも職員同士声掛けを行なって仕事をしていきたい。

	小林 摂	チームワークで対応することができたと思う一方で、複数人の利用者の対応の場面ではすぐに対応できず説明不足なこともあった。来年度はもっと職員同士で連携していきたい。
	森 友和	職員同士連携行い対応していったと思う。継続して行っていく。
	荒関 裕己	働きやすい環境について毎月のケアワーカー会議に取り上げて問題提起をした。
	宮本 実保	仕事に入居者に声をかけられて、自分に余裕のあるときは耳を傾けることができたが、忙しいと話を聞けない時があった。
	鈴木 喜代子	入居者とのコミュニケーションもとれ過ぎ易い環境作りにとりくめた。

あ さ ひ	職員同士、声をかけあい業務ができたと思う。掲示物など作れず殺風景な廊下になってしまったので、来年度は明るい雰囲気作りにも力を入れていきたい。	
	リーダー 宮邊 美子	職員同士、連携して明るい雰囲気作りができたと思うが、個人的にしっかりとリーダーシップをとることができず、上手くサポートすることができていなかった。
	笠原 香織	職員と連携をとり利用者様と関わる事が出来た。言葉遣いが悪くなってしまうことがあったので気をつけたい。
	柏木 典子	職員間で連携できるように声掛けを意識して行なった。ひとり一人のニーズに合った個別ケアができなかった。

や ま な み	体調不良により、歩行器歩行ができていた方が車椅子になってしまい今後の課題と考えている。一方オムツの方でも便意・尿意があればポータブルトイレを使用するといった対応がとれ、今後も継続していきたい。	
	白橋 翼	入居者の日々の変化に気付く目を持ち、状態にあったケアが行なえるよう連携しながら取り組むことができた。資格取得については勉強不足だった為、来年も引き続き努力していきたい。
	村山 翔	職員同士、声をかけ合い連携がとれていた。ひとつの事に集中してしまい周りが見えていないことがあった。
	金 美禮	利用者様が不安にならないように、優しい介助を目指して努力したが、忙しくなると疎かになってしまう点もあるので、また努力していきたいと思います。
	合津 卓哉	勉強不足により、資格取得にはなりませんでしたが、今年こそは頑張りたいと思います。
	松本 暁子	利用者の整容（髭剃り）を一人一人綺麗にできました。

さ く ら	職員の働きやすい職場作りを行い、皆笑顔でおこなっていたが話に夢中になってしまうことが多かったため、今後は場の状況に対応できるようにしていきたい。	
	リーダー 高野 綾	職員の働きやすい職場作りを心掛けていたが、皆が自由になりすぎてしまった。今後はケジメも意識し、働きやすい環境を作れるよう心掛けたい。
	山口 剛史	利用者様にあった介護、リハビリを行い、状態の維持・改善につながった利用者様もいるが、低下した利用者様も見られた。職員同士で協力し、意見を取り入れ次の目標に活かして行きたい。

	大塚 雄太	権利擁護の観点に基づき振り返ると出来たところと出来なかった所が多々あった。来年度はできる様にして行きたい。
	勝村 照子	飛羽ノ園の良心が見える環境整備に力を入れたいと思うが、なかなか難しい職員一丸となって取り組まなければならない課題だと思う。一人では何もできないと感じた。

2. 医務

(1) 看護職員反省

主任看護師 宮本 静子	施設の限られた空間の中で共に生活を営む上での寄添う看護がなかなか難しく一日に数人との接触で終わってしまうことがあった。質の良い看護の提供とその人の長い人生を後悔のないように生活できる様務めて行きたい。毎日全員への声掛けに頑張りたい。
井上 光子	自分なりにできたと思います。
藤岡 恵未	一部責任を持って発言できていない部分もあり、全てしっかりと自信を持ちたいと思います。
松浦 ゆかり	入居者様の話を傾聴し、笑顔で接する努力は自分なりにできたと思う。看護業務に関しては、薬だしや他機関（特に診療所）との連携で細かいミスが多く、今後の課題として行きたい。看護師としての関わりに対してどこまで医療を提供していくのかがまだ解らず、とまどうことが多いです。今後も特養での看護提供を学んで行きたい。
飛内 久子	入居者様、利用者様とのコミュニケーションを通じ日頃の状態観察に努めました。なるべくミスのないように看護師同士の連携に努めていきたいと思います。
高須 ミチル	
長峰 とき子	健康管理及び事故のないよう業務に従事してまいります。

(2) 長谷川式スケール実施状況 ※30点満点中20点以下は認知症の可能性が高い（診断結果は参考） 平成29年3月実施

年齢	性別	点 数							計
		0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	
~64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	0	0	0	0	0	1
65~69	男	0	1	0	0	0	0	0	1
	女	0	1	0	0	0	0	0	1
70~74	男	0	0	0	1	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	男	0	0	1	2	0	0	0	3
	女	0	1	0	0	0	0	1	2
80~84	男	1	0	2	0	0	0	0	3
	女	1	4	1	1	1	1	0	9
85~89	男	0	1	1	2	0	0	0	4
	女	1	3	1	3	2	0	1	11
90~95	男	0	1	0	0	0	0	0	1

	女	4	2	0	2	0	0	0	0	8
96～	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	3	0	0	0	1	5	
計		8	15	9	11	3	1	3	50	

(3) 日常生活状況 (ADL の状況) ※平成 28 年 3 月 31 日現在

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	38	8	3	10	28	13	3	27	20	3	9	38
前年度	38	3	7	11	23	13	11	33	16	11	33	16
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	19	15	16	20	24	6	11	3	11	14	11	
前年度	21	14	15	45	2	3	12	5	10	10	13	

(4) 処置・看護記録集計 (ショートステイ含む)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	71	96	87	97	82	50	49	73	60	58	40	96	859
処置	121	126	102	91	77	155	86	107	79	68	42	66	1,120
軟膏・湿布	111	149	129	120	134	148	153	175	173	142	93	157	1,684
テープ	109	164	143	168	188	176	164	164	164	151	132	111	1,834
救急対応	0	0	1	1	1	0	1	0	3	1	1	0	9

(5) 他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合 計
延人数	1	29	15	4	52	0	247
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳神経外科	呼吸器科	乳腺外来	
延人数	10	0	132	2	0	2	

(6) 入浴実施状況

①従来型

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特浴	121	150	189	149	121	148	148	146	161	144	126	133	1,736
一般浴	275	258	265	252	266	255	249	254	265	250	243	301	3,133
合 計	396	408	454	401	387	403	397	400	426	394	364	434	4,869

②短期入所生活介護 (予防・空床利用含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人 数	58	79	85	87	71	75	75	87	84	79	23	68	871

《考察》

前年度と変わらず、利用者に対しての日々の健康管理を丁寧に行なえた。徐々に介助が必要な入居者が増えてきており、重度化にともなって看護の視点での観察にも力を入れ、介護職員と連携を図りながら対応してきた。また、看護・介護の垣根を越えて柔軟に業務にあたることもできた。

3. 給食

(1) 反省

関 清美	体調に即した食事や濃厚流動食等の対応が速やかにできなかった。
------	--------------------------------

(2) 平成 28 年度 栄養給与基準量及び通常食提供量

	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミン B1	ビタミン B2	ビタミン C	食塩
単位	Kcal	g	g	mg	mg	mg	mg	mg	g
目標値	1,600	60	44.5	530	5.3	0.84	1.10	100	7.5
4 月	1,673	63.9	36.9	561	10.5	1.11	1.01	105	8.9
5 月	1,663	65.1	38.9	592	10.7	1.23	1.00	97	9.2
6 月	1,657	63.6	38.7	616	11.2	1.11	0.99	117	8.8
7 月	1,657	64.2	37.3	607	11.2	1.15	1.02	118	8.4
8 月	1,653	63.7	38.5	601	11.3	1.07	1.02	107	8.8
9 月	1,644	60.9	37.5	593	11.2	1.07	0.94	106	8.6
10 月	1,658	63.3	35.3	604	11.3	1.14	1.01	113	8.5
11 月	1,656	63.4	37.7	601	11.1	1.13	0.98	109	8.5
12 月	1,655	63.4	34.5	608	10.7	1.16	1.00	105	8.5
1 月	1,681	63.5	36.5	627	11.4	1.20	0.96	105	8.5
2 月	1,683	65.6	35.9	634	11.8	1.24	1.01	108	8.6
3 月	1,678	63.3	36.1	635	11.3	1.19	0.95	107	8.6

(3) 食事提供状況

①食数

	朝食	昼食	夕食	合計
特養	17,111	17,072	17,119	51,302
ユニットとわ	7,231	7,135	7,215	21,581
ショートステイ	2,527	2,972	2,544	8,043
デイサービス	0	5,067	0	5,067
職員	365	2,119	365	2,849
来客	0	50	0	50
実習生	0	57	0	57
延人数	27,234	34,472	27,243	88,949

②毎食事の検食実施（検食簿記入）

③選択食

日時	A	B
H28.4.4	けんちんうどん	焼き鳥丼
H28.5.4	ハヤシライス	エビフライ
H28.6.9	鮭のマヨネーズ焼き	豚肉の生姜焼き
H28.7.15	牛丼	天丼
H28.8.2	鮭しらす丼	豚肉の冷しゃぶポン酢ジュレ
H28.9.7	チキンカレー	ナポリタン
H28.10.3	ツナサンド・あんぱん	エビピラフ
H28.11.5	ムキガレイのタルタルソースかけ	チキン南蛮

H28.12.15	エビクリームコロッケ	目玉焼きハンバーグ
H29.1.20	鶏肉の香味ソース	アジの南蛮漬け
H29.2.7	鶏肉のきのこソースかけ	鯖のねぎ醤油焼き
H29.3.8	煮込みハンバーグ	アジフライ

④行事食（従来型）

1	日 時	28年 4月 11日	行事名	イベント食
	山菜おこわ、清汁、天ぷら盛り合わせ、うどんの酢味噌かけ、イチゴ羊羹フルーツ添え、和パンケーキ（抹茶）（おやつ）			
2	日 時	28年 5月 6日	行事名	5月の節句
	そら豆と桜海老の炊き込みご飯、吉野汁、鯉のたたき、筍の白和え、フルーツ、水羊羹（おやつ）			
3	日 時	28年 5月 11日	行事名	非常食
	おにぎり、豚汁			
4	日 時	28年 6月 14日	行事名	イベント食
	桜海老と新生姜の炊き込みご飯、味噌汁、鮎の甘露煮と天ぷら、夏野菜のもずく和え、フルーツ、ミルク饅頭（おやつ）			
5	日 時	28年 7月 7日	行事名	七夕イベント食
	七夕散らし寿司、夏野菜の炊き合わせ、フルーツ、清汁			
6	日 時	28年 8月 10日	行事名	イベント食
	穴子と生姜の炊き込みご飯、夏野菜の天ぷら、枝豆の冷やし茶碗蒸し、フルーツポンチ、清汁			
7	日 時	28年 8月 11日	行事名	納涼祭
	焼きそば、唐揚げ、ソーセージ、きゅうり漬け、おにぎり、かき氷、綿菓子			
8	日 時	28年 9月 11日	行事名	敬老会
	弁当（赤飯、天ぷら、炊き合わせ、漬物）、散らし寿司、刺身、フルーツ盛り合わせ、ジュース、お茶、ひよこ饅頭（おやつ）			
9	日 時	28年 9月 16日	行事名	イベント食
	栗おさつ御飯、揚げ秋刀魚おろしかけ、菊花の酢の物、秋の果物寒天、味噌汁			
10	日 時	28年 10月 11日	行事名	イベント食
	菊散らし、きのこ汁、蓮根饅頭、さつま芋のピーナツ和え、フルーツ			
11	日 時	28年 11月 21日	行事名	イベント食
	きのこ栗の炊き込みご飯、けんちん汁、刺身盛り合わせ、里芋の柚子田楽、リンゴのコンポート			
12	日 時	28年 12月 11日	行事名	クリスマス会
	骨付きチキン、イチゴのショートケーキ、フルーツ盛り合わせ			
13	日 時	28年 12月 24日	行事名	クリスマスイベント食
	海老ピラフ、スープ、鶏肉のソテートマトソース、サーモンのカルパッチョ、フルーツ、カラメルプリン（おやつ）			
14	日 時	29年 1月 1日	行事名	元旦
	彩り散らし寿司、里芋饅頭の煮物、おろし和え、リンゴのコンポート、清汁			
15	日 時	29年 2月 3日	行事名	節分イベント食
	恵方巻き、節分いわしバーグ、菜の花の辛し和え、フルーツ、呉汁			
16	日 時	29年 3月 3日	行事名	ひな祭りイベント食
	にぎり寿司、含め煮、けんちん汁、もち入りぜんざい			

⑤甘味処

日 時	おやつ名	材 料
4月9日	フレンチトースト	食パン、卵、牛乳、バター、生クリーム、ジャム
5月25日	お好み焼き	小麦粉、卵、キャベツ、豚肉、揚げ玉、桜海老
6月11日	チョコファウンティン	チョコレート、カステラ、バナナ、
7月9日	すいか割り	すいか
8月24日	かき氷	氷、イチゴシロップ、フルーツ缶
9月21日	ショートケーキ	不二家（ショートケーキ、チョコケーキ他）
10月10日	ケーキ	ふるさと商人（ロールケーキ他）
11月7日	ショートケーキ	アンジュ菓恋（ショートケーキ、チョコケーキ他）
1月14日	焼き芋	貝塚（焼き芋）
2月11日	チョコとバナナ	チョコレート、バナナ
3月11日	ショートケーキ	不二家（ショートケーキ、チーズケーキ他）

(4) 栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス

月	人数	月	人数	月	人数
4	3	8	1	12	1
5	44	9	2	1	4
6	0	10	3	2	4
7	1	11	41	3	3

※開催回数 28回

合計 107人

(5) 衛生管理

- ・調理従事者の定期腸内細菌検査
年12回実施 委託給食の為管理栄養士以外は委託側で行う（新規採用者は入職前）
- ・最終火入れ時間、食品の中心温度の測定及び記入
- ・原材料及び検食の冷凍保存の実施（14日間）
- ・厨房内の定期的な清掃の実施
- ・害虫駆除の実施 害虫駆除の実施及び発生状況の確認（年2回）
- ・包丁、まな板、調理台、水槽の使い分けの徹底、時間、温度管理
- ・下処理室、調理室、洗浄コーナーの使い分け

(6) 会議・研修

- ・給食会議 毎月第4水曜日
- ・全体会議 毎月10日
- ・茨城県栄養士会研修、茨城県福祉栄養士会研修、土浦地区給食研究会研修、老施協栄養士研修

《考察》

食事の摂取状況や体重の変化により、濃厚流動食の提供や食形態の変更を看護師、介護士と相談しながら対応できた。また平成28年10月より、委託会社の協力の下、ソフト食の提供を開始し、当初は昼食から、12月より3食とも提供できるようになった。次年度も、季節感やイベント的なものなど楽しみながら、美味しく食べられ健康を維持できるような食事提供を模索していきたい。

4. 施設ケアマネジャー

(1) 反省

関 清美	体調や状態の変化に速やかに対応したカンファレンスの開催や、ケアプランを立てることができなかった。各居室担当との連携を図れるようにしたい。
------	--

(2) ケアカンファレンス・認定調査

①ケアカンファレンス実施回数

月	人数	月	人数	月	人数
4	16	8	9	12	16
5	5	9	12	1	14
6	16	10	15	2	15
7	14	11	9	3	16

開催合計 62回 延べ 157名

②認定調査の実施回数

月	人数	月	人数	月	人数
4	1	8	4	12	2
5	3	9	3	1	5
6	4	10	2	2	8
7	0	11	2	3	1

認定調査 合計 35件

5. 生活相談員

(1) 反省

長瀬 ちさと	施設内の物事の把握・調整がうまくいかず、話を滞らせてしまうことがあった。業務に加え、関わっている事柄に対して優先順位をつけて進めると共に、中途半端な状態にならないよう進捗状況を記録する等、整理しながら仕事に向かいたい。また、先を見通しての判断・計画作成ができず、急ぎよ凌ぐだけの仕事になってしまったものもある為、来年度は何事も段取り良く動いていきたい。
沼尻 知士	介護・看護のみならず、デイサービスや居宅等の他部署との密なコミュニケーションを図り昨年よりも多くの場面で連携を取る事ができた。その一方で、個々の職員に対する指導であったり、モチベーションの維持・向上に繋がるような関わりを多く取る事が出来なかった。

6. 委員会

(1) 委員会活動報告・反省

1	入所基準検討委員会	本年も申込者の緊急性等について公正な判断の基、入所への案内をすることができた。また、ショートステイ等を利用しながら在宅で入所待ちをしている方の家族への支援が必要なケースもあり、検討委員会で取り上げた後に適切な社会資源と連携することができた。今後も入所希望者のみならず、その背景での支援も視野に入れ適切な対応をしていきたい。
---	-----------	---

2	身体拘束廃止委員会	<p>【従来】 今年度は、身体拘束を行うことなく日々の業務に取り組むことができた。今後も拘束を行うことのないよう取り組んでいきたい。</p> <p>【とわ】 従来同様に、身体拘束を行うことなく対応することができた。今後も安易な身体拘束を行わないようしっかりとアセスメントをした取り組んでいきたい。</p>
3	感染症対策委員会	<p>【従来】 インフルエンザ流行時期に、利用者、職員から感染者が出てしまった。保健所の指導を踏まえ今年度感染者が出ないように対策を徹底していきたい。</p> <p>【とわ】 ショートステイ利用者で1名インフルエンザに罹患されている方がおりましたが、他入居者への感染はなく皆様平穏な一年を過ごすことが出来た。</p>
4	災害防火委員会	<p>例年通りの避難訓練を行なう事ができたが、訓練の在り方・行い方に多くの課題が見えた一年となった。次年度は訓練の内容を高めて有事への対応力を強めていきたい。</p>
5	物品購入委員会	<p>【従来】 物によっては1ヶ月以上も倉庫で未開封の状態になってしまうこともあったが、比較的無駄のない発注ができたと思う。</p> <p>【とわ】 無駄なく発注することが出来た。今後も適切な予測の基、無駄の無い発注を心掛けたい。</p>
6	広報委員会	<p>これまで以上に入居者の日常を知って頂くことと、施設を知って頂くことを目標に発行し、一定の評価を得ることが出来た。次年度はデイサービスと合同の刊行物とし、より内容が濃く、読み物としても楽しめる広報作りを目指したい。</p>
7	レクリエーション委員会	<p>各行事・甘味処等、連携をし段取りよく行なう事ができた。また、気候の良い時期には入居者の体調・ADLに合った外出（ドライブ・散歩）を多く行なう事が出来た。</p>
8	食事・水分委員会	<p>【従来】 水分中心になってしまい食事についてしっかり検討することができなかった。水分についてもカンファレンスが出来ず、水分量を上げるまでいかなかった。</p> <p>【とわ】 多種多様な水分を用意することで、利用者の好みに合った水分を提供でき、一定の必要水分量は確保できた。</p>
	排泄・運動委員会	<p>【従来】 各利用者の身体状況及び排泄状況に応じた物品の選択をし、適切な排泄介助を行なう事ができた一方で、運動に関してはADLの維持・向上を目的とした体制を整えることが出来なかった。</p>

		<p>【とわ】 PTとの協働により、機能訓練を行なう事ができた面もあったが、全体的に行うことはできず偏りがあった。排泄については、ADLに沿った排泄介助・支援ができた者とそうでない者がでてしまい、更にアセスメントをして各利用者にあった排泄支援をしていきたい。</p>
	入浴委員会	<p>【従来】 看護師と連携し、利用者個人に合わせた入浴を行なう事ができた。</p> <p>【とわ】 他部署と連携し、各利用者のADLに基づいた適切な入浴を行なう事ができた。また、入浴方法を見直すことで、個別支援の可能性を広げることが出来た。</p>
	認知症対応	<p>【従来・とわ】 計画的な開催には至らず、各利用者にその都度対応することのみとなってしまった。但し、ヒヤリハット事例検討会を活用し、対応方法のマンネリ化は回避することができた。来年度は、他委員会や会議と連動して認知症対応の幅を広げることを目的としたい。</p>
9	寄添う看取り委員会	看取りマニュアルの基礎作りを作成したが、正式なマニュアルとしては完成せず終わってしまった。そのため、看取り期の対応もこれまでの対応と変わらず、個々の希望や家族の意向を取り入れた看取りをすることはできなかった。次年度はマニュアルを完成させ、柔軟な看取り対応をしていきたい。
10	褥瘡予防委員会	介護士、看護師で連携し、早期発見に努め、早い対応を行なえた。
11	胃ろう・吸引対策委員会	介護と看護で連携して安全に栄養を流すことができたと思う。今後、吸引や胃ろうの知識を全職員が学べるようになればと思う。
12	行動規範策定委員会	会議の場を持つことが出来ず、規範策定までに至らなかった。
13	職員わくわく委員会	今年も職員の交流と気分転換を図りバーベキューを開催した。勤務上参加できなかった職員のためにも回数を増やし、全職員が一度は参加できる様にしたい。
14	地域交流委員会	納涼祭、小松地区のお祭りを通じて、地域の方々と交流することができた。
15	運営推進委員会（とわ）	より地域に溶け込んだ施設となれるよう情報収集することはできたが、それを入居者に広く還元することができなかったのが、次年度の目標としたい。
16	リハビリ委員会（とわ）	PTとの協働で一部行なう事ができたが、全ての利用者に対して、各人のADLに見合うリハビリを行うことはできなかった。一方で、全体的にはレクリエーションを通してリハビリをすることはできた。
17	とわ菜園委員会（とわ）	初年度ということで庭の一角に小規模な畑を準備し栽培をした。一度の収穫のみで終わってしまったが、収穫物を使って料理を提供することが出来た。来年度は畑の規模を拡大し、季節ごとにたくさんの種類の野菜を栽培し、入居者には収穫の楽しみと季節の野菜を使った料理を提供し、一年を通して畑を活用したい。

(2) 行事報告

月	日	内 容	参加者			
			利用者	職員	その他	合計
4	9	お花見散歩	3	3	0	6
5	25	5月誕生会	2	2	0	4
6	3	6月誕生会	6	4	0	10
7	13	7月誕生会	4	3	0	7
7	20	小松盆踊り参加	2	2	0	4
8	11	納涼祭	77	15	149	241
8	27	8月誕生会	2	1	0	3
9	11	敬老祝賀会	78	13	61	152
9	22	9月誕生会	1	3	0	4
10	20	ドライブ	4	3	0	7
10	23	秋の大運動会	50	10	0	60
10	26	ウェルシアへお買物	5	5	0	10
10	30	10月誕生会	3	2	0	5
12		クリスマス会	79	13	42	134
12	17	12月誕生会	3	2	0	5
1	1	元旦式	80	8	0	88
1	10	初詣	3	3	0	6
	19		3	3	0	6
	23		3	3	0	6
1	15	上映会	20	2	0	22
1	22	1月誕生会	4	2	0	6
2	4	豆まき	35	10	0	45
2	22	2月誕生会	7	8	0	15
3	22	ドライブ	4	3	0	7
3	29	3月誕生会	5	4	0	9

7. 研修

(1) 内部研修報告

①施設全体研修（従来型・ユニット・デイ・在支・居宅・事務）19:00～19:30

月	日	内容（対象者）	参加人数
4	10	高齢者介護の権利擁護について①	39
6	10	マナーについての基礎知識	42
8	2	介護記録のコンプライアンス	42
10	10	感染症の基礎知識	43
12	10	介護サービスとリスクマネジメント	42
3	10	提供するサービスの質の評価	35

②部署内研修

5	10	高齢者介護の権利擁護について②（従来・とわ）	22
7	10	自立支援について（従来）	14
11	10	おむつの種類とあて方（従来）	16
2	10	介護記録の書き方／シーティング（従来）	14

(2) 外部機関研修

研修名	開催時期	参加者 職種	研修内容	人数
社会福祉法人施設一般検査説明会	4月26日	相談員	施設一般検査説明会	2
安全運転研修会	5月16日	介護士	安全運転講習会	1
土浦地区栄養士・調理師給食研究会	5月17日	栄養士	事業計画について	1
介護支援ボランティア研究会	5月27日	相談員	施設での活動時の留意点	1
介護職員合同入職式	6月3日	施設長・事務員・介護職員	職員への自信や意欲醸成を図る	3
県南・土浦ブロックケアマネジャー研究会	6月9日	相談員	平成28年度事業計画について	2
茨城県地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会	6月13日	施設長・相談員	新しい総合事業導入から一年を経過して	3
茨城県地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会	6月13日	施設長・ケアマネ	今後の活動の課題	3
不在者投票事務説明会	6月13日	相談員	不在者投票事務の取扱いについて	1
茨城県老人福祉施設協議会	6月15日	施設長	平成27年度事業・収支決算報告	1
老人ホーム等施設長会議	6月15日	施設長	特別養護老人ホームの施設運営について	1
茨城県栄養士福祉専門会	6月15日	栄養士	ライフステージにおける口腔の現状と課題～食との関係～	1
身元保証セミナー	6月16日	相談員・ケアマネ	身元保証人の必要性と役割	2
感染症対策新規担当者研修会	6月22日	相談員・看護師	感染症対策に関する基礎について	2
基調講演	6月23日	相談員	中学生と語る会	1
土浦地区安全運転管理者総会	7月1日	施設長	安全運転管理者総会	1
茨城県社会福祉法人経営青年会	7月6日	施設長	災害時における事業継続計画	1
安全運転管理者講習	7月12日	施設長	企業における安全運転管理の重要性	1
県南・土浦ブロックケアマネジャー研究会	7月21日	相談員	実施指導・交換研修について	2
茨城県認知症介護基礎研修	7月27日	介護士	認知症介護に関する実践的な知識及び技術を習得目的	1
福祉職員キャリアパス対応生涯研修	7月27日～28日	介護士	福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理	1
シナプソロジー研修	7月28日	栄養士・看護師	認知症予防のサービス	2
メンタルヘルスケア研修	8月9日～10日	相談員	部下の抱かれるストレスに気づき、対処する方法を身につける	1
コーチングスキル研修	8月22日～23日	相談員	信頼関係構築のため・自立型職員を育成するため	1
認知症介護実践者研修	8月3日～24日	介護士	認知症ケアマネジメント	1
通所介護事業者向け研修	8月25日	施設長・相談員	事業所の差別化に役立つ	2
土浦地区・県南地区老人ホーム栄養士・調理師研究会	9月6日	栄養士	食中毒・衛生関係について	1
給食施設栄養管理者研修	9月14日	栄養士	給食施設における衛生管理	1
専門研修	9月21日	ケアマネ	ナラティブってなんだろう	1
いばらき介護サミット2016	10月3日	介護士	入職申込の絶えない施設を作るには	2
メンタルタフネス研修	10月6日～27日	相談員	コミュニケーション・トレーニング	1
医療依存度の高い利用者へのケアに携わる介護職員養成	10月12日	介護士	高齢者の身体的・精神的特徴の理解	1
基礎から学ぼうシーティング技術	11月8日	介護士	シーティングについて	1

給食研究会合同研修会	11月8日	栄養士	タフな管理栄養士になるために	1
県南・土浦ブロックケアマネジャー研究会 H28年度研修会	11月10日	相談員・事務員	社会福祉法人合掌苑 鶴の苑 視察研修	2
先進国ドイツに学ぶポジショニングのコンセプトと原理研修	11月13日	介護士・看護師	動きの中のポジショニング	2
相談援助業務担当者研修	11月14日～15日	相談員	相談援助に必要とされる技術とは	1
全国社会福祉法人経営者協議会北関東部ブロック協議会セミナー	11月24日	相談員	社会福祉法人制度改革について	1
特別養護老人ホーム経営セミナー	11月25日	施設長	将来を見据えた特養経営と人材戦略について	1
H28年度クレーム対応力強化研修	11月24日～25日	相談員	CS向上を目指して	1
土浦市民間社会福祉施設協議会	12月5日	介護士	ゆとり世代の人材育成	3
認知症介護アドバイザー養成研修	12月8日	相談員	認知症対策・養成講座の運営方法	1
医療依存度の高い利用者へのケアに携わる介護職員養成	12月9日	介護士	きちんと学ぶ認知症ケア	1
H28年度結核研修会	12月13日	看護師	結核患者発生時の対応と服薬支援について	2
認知症介護実践研修	12月14日	施設長	受付	1
特別養護老人ホーム真和の森	12月12日～16日	介護士	真和の森での体験勤務	1
特別養護老人ホーム真和の森	1月9日～13日	介護士	真和の森での体験勤務	1
看取りケア研修会	1月20日	看護師	看取りケアについて	1
県南地区看護師会交流親睦会	1月27日	看護師	今後の活動について	2
茨城県地域介護ヘルパー要請事業推進セミナー	2月1日	ケアマネ	葛飾区生活介護員の養成取組について	1
平成28年度ファシリテーション研修	2月1日～2日	介護士	ファシリテーションで響きあうチームを実現しよう	1
水害・土砂災害への備えに関する要配慮者施設の管理者向けの説明会	2月14日	介護士	災害時の備えや避難訓練について	1
H28年度土浦地区研修会	2月14日	看護師	患者トラブル対応	2
茨城県社会福祉法人経営青年会 H28年度第二回セミナー	2月16日	相談員	激しい変化の中でのチームづくり	1
福祉車両安全運転講習	2月16日	介護士	故障時の緊急回避方法など	1
共感力を高める広報セミナー	3月10日	相談員	共感力を高める広報のコツとは	2
H28年度介護相談員派遣事業における三者会議	3月16日	相談員	介護相談員派遣事業の現状	1
民間社会福祉施設職員の集い	3月16日	介護士	ボウリング大会	3
コミュニティカフェ全国交流会	3月20日	施設長・相談員・ケアマネ	コミュニティカフェについて語り合おう	3
合 計				82

(3) 介護プロフェッショナル・キャリア段位制度を活用した研修：実施なし

(4) フォローアップ研修

本部研修室主催の研修に参加し、それぞれのスキル・キャリアに合わせた学びを得ることが出来た。

(5) 老人福祉施設協議会の県南・土浦地区ケアマネジャー研究会・交流研修

年3回の定例会と研究会主催の研修に参加し、他施設との情報交換を行った。専門職として横の繋がりを持てた事で、気づきや刺激を得ることが出来た。また、県外の施設への見学にも参加し、様々な取り組みを学ぶこともできた。

《考察》

本年度は、これまで特養（特に従来型特養）では難しいのではないかと考えていた個別ケアに着目し、普段の何気ない会話で表出された言葉や家族からの相談をヒントに、お墓参り、結婚式参列、葬儀の参加、夕方ドライブ等を行った。

この活動を通して、全ての入居者の「誰とも違うその人その人のニーズ」に応えることが新たな目標になったと感じた。

8. 実習生受入れ

学校名他	実習月	日数	人数	延日数
筑波研究学園専門学校	6	3	2	6
筑波総合福祉専門学校	9・2・3	20	4	80
筑波総合福祉専門学校（初任者）	4・2・3	3	3	9
つくば国際大学	8・9	9	2	18
つくば国際短期大学	3	1	3	3
祥風会初任者研修	7・3	1	2	2
茨城大学	6・7・11	5	3	15
筑波大学	1・2	5	4	20
文教大学	7	5	1	5
常盤大学	8	5	1	5
共立女子大学	8	5	1	5
合 計		65	26	168

9. ボランティアの受け入れ

ボランティア名	回数	総人数	ボランティア名	回数	総人数
美々の会	57	79	ムーディーズ	1	7
介護支援ボランティア	129	129	介護相談員	8	23
いずみの会	8	28	散髪	24	24
小鈴会	2	8	小松地区	1	4
桜の会	10	35	四中福祉部	1	19
すみれの会	1	4	ピースメーカー	1	12
こもれびの会	1	3	ひまわりクラブ	1	3
すずめの子	4	18	小松育成会	1	15
水戸信用金庫	1	8	お囃子	1	9
			合 計	252	428

10. 地域貢献活動「ふらっと HIWA～介護のことなんでも語らおう」

毎月第1日曜日 9:00～12:00 担当者1名配置し実施した。試行錯誤しながらの実施であった。開催内容や周知方法等について随時見直しをしたが、思うような効果は得られなかった。地道な活動を継続していく事で徐々にこの活動に存在意義を見出せると感じている。

尚、来年度も試験的に4つの比較的大きなイベントの開催を予定している。

【4】重点目標：「その人らしくある為に」

～1人1人の小さな思いや願いを形にしていき自律支援に繋げて行く～

- ① 24時間シートを今年度中に10名分作成しそれを基に介護を提供できるようにしていく
 24Hシートの作成自体は出来ていたが、作成しただけになってしまい、それを活用した個別の支援を行なう事ができていなかった。また、作成したシート自体も定期的な見直しができず、必ずしも現状に沿ったものとはなっておらず、次年度の課題となった。
- ② 権利擁護に基づいた声かけを目指していく
 当初は権利擁護に基づいた声かけを意識していたものの、時間の経過によりその意識が薄れてしまい、職員主体の声かけとなってしまうことが多く見られた。権利擁護の視点を持ち続けるためにはどうするか、という課題が見えた一年となった。
- ③ クラブ活動・個別活動の推進
 クラブ活動については、企画の段階で終わってしまうことが多く、実際に行なう事ができなかった。個別活動についても、後期から徐々にはじめる事ができていて、少しずつ活動をはじめる事が出来た。

《考察》

日々の業務、年間の行事等へ意識が向いてしまい、ユニットケア・個別ケアを意識した介護、支援が疎かになってしまうことがあった。その一方で、後期はより良いケアを行なう為の土台の見直しとして業務改善を行うことができ、来年度は時間を有効活用して、個別ケアに力を入れる年にしたいと考える。

1. 介護職員反省

(1) 主任

畑 仁	自分の業務に圧迫されてしまい積極的に入居者とのコミュニケーションが図れていなかった。また職員に関しても深いところまでの理解を得ることができなかったと思う。
-----	---

(2) ユニット別目標

わか くさ	「入居者目線での介護」と謳った方がいいが内容としては職員目線での介護になっていることが多く実現できていなかった。また連携の点でもうまくいくこともあったが全体としてはうまくいっていない印象であった。来年度は「入居者目線での介護」をもう一步踏み込んで実践していきたい。	
	サブリーダー 高橋 文	入居者の出来ることなのについ過剰に支援してしまうことがあった。また来年度は今まで以上に入居者とのコミュニケーションを図り希望を実現していく。
	山中 阿紀子	感情のコントロールは少しずつ改善を図ることができた。小さな変化を気づかずに見逃してしまうこともあるので注意していきたい。
	高橋 洋子	コミュニケーションをとりながら明るく仕事ができたとと思う。しかし個人を尊重し支援することが少し不足していたと思う。
	川島 秀夫	個別対応を行っていたと思うが実際にはもってできる部分があったのではないかと考えている。
	明星 里奈	急な休みが多くあったが自分の仕事をできる限り取り組むことができた。

む べ	入居者の変化もあり転倒が多くなってしまった。また連携の点では全体への周知が徹底していないことも多くあった。余暇活動については入居者とのかかわりも多くなりレクリエーションも少しずつできるようになってきている。	
	リーダー 竹内 真奈美	入居者、職員ともに毎日楽しく過ごせるように忙しいときでも日常会話やリハビリ、レク等を行おうと努力はしたがあまり落ち着いた雰囲気は出せなかった。
	サブリーダー 大海 進一朗	接遇研修や認知症実践者研修など知識を増やす機会においては充実した一年であった。会議等の発言の場では消極的であった。
	本橋 大樹	自分の感情をコントロールできないところがあったので来年は感情のコントロールをできるようにしていきたい。
	志村 洋子	声掛けで入居者を否定する表現は意識して避けることはできたと思う。
	加瀬 久美子	業務中心になってしまい入居者とかかわる時間をあまり持てなかった。

2. 医務

(1) 看護職員反省…従来型「5. 医務(1) 看護職員反省」参照

(2) 長谷川式スケール実施状況 ※30点満点中20点以下は認知症の可能性が高い(診断結果は参考)
平成29年3月実施

年齢	性別	点 数							計
		0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	
~64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65~69	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70~74	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	1	0	0	0	0	1
75~79	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	0	0	0	1	0	2
80~84	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	1	0	0	0	0	1
85~89	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	1	1	0	0	2
90~95	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	3	1	0	2	3	0	1	10
96~	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	1	1	0	0	0	3
計		3	3	3	4	4	2	1	20

(3) 日常生活状況 (ADL の状況) ※平成 28 年 3 月 31 日現在

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	16	3	1	4	14	2	0	14	6	2	14	4
前年度	16	3	1	5	14	1	1	17	2	5	13	2
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	自立	一部介助	全介助	
人数	7	9	4	12	4	4	2	0	9	1	8	
前年度	7	11	2	11	4	5	2	1	9	2	6	

(4) 処置・看護記録集計 (ショートステイ含む)

	4	5	6	7	8	9	10	1 1	1 2	1	2	3	計
点眼	15	5	3	23	0	0	0	0	31	25	0	0	102
処置	17	38	5	2	9	4	16	3	2	6	0	7	109
軟膏・湿布	12	14	48	55	61	44	43	45	33	45	30	57	487
テープ	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	112	124	1,460
救急対応	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

(5) 他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合 計
延人数	2	7	9	7	0	0	796
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳神経外科	婦人科	耳鼻科	
延人数	2	0	768	0	0	1	

(6) 入浴実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	1 1	1 2	1	2	3	計
むべ	87	92	89	93	88	88	83	83	85	80	79	90	1,037
わかくさ	85	87	81	88	85	80	82	65	84	65	76	88	966
合 計	172	179	170	181	173	168	165	148	169	145	155	178	2,003

《考察》

看護・介護の区別無く、できる限り協力し入居者の生活を支えてきた。従来型との兼務のため、看護師間でとわの入居者についての情報の共有に務め、誰が担当でも毎日変わらぬ対応ができるようにした。

3. 給食

(1) 反省…従来型「3. 給食 (1) 反省」参照

(2) 平成 28 年度 栄養給与基準量及び通常食提供量…従来型「3. 給食 (2) 栄養給与基準及び通常食提供量」参照

(3) 食事提供状況

①食数…従来型「3. 給食 (3) 食事提供状況 ①食数」参照

②毎食事の検食実施 (検食簿記入)

③選択食…従来型「3. 給食 (3) 食事提供状況 ③選択食」参照

④行事食 (ユニット・とわ)

1	日 時	28 年 4 月 15 日	行事名	とわ 4 周年イベント食
	お弁当 (桜おこわ、天ぷら、刺身、里芋しんじょ)、茶碗蒸し、お吸い物、抹茶ミルク寒天			

2	日 時	28年 4月 28日	行事名	むべ行事食
	焼きそば、バンバンジー、卵スープ			
3	日 時	28年 5月 20日	行事名	わかくさ行事食
	混ぜ御飯、鶏肉の唐揚げ、ポテトサラダとマカロニサラダ			
4	日 時	28年 5月 26日	行事名	むべ行事食
	炊き込みご飯、チーズと大葉の肉巻き、フライドポテトとウインナー、キャベツとしめじの和え物、お吸い物			
5	日 時	28年 6月 17日	行事名	わかくさ行事食
	中華丼と五目焼きそば			
6	日 時	28年 7月 28日	行事名	むべ行事食
	チャーハン、餃子、スープ、フルーツ（メロン）			
7	日 時	28年 7月 29日	行事名	イベント食
	うな井			
8	日 時	28年 8月 25日	行事名	むべ行事食
	スタミナ丼、コールスローサラダ、ニラ玉スープ			
9	日 時	28年 9月 8日	行事名	わかくさ行事食
	しめじ御飯、清汁、肉巻き、酢の物			
10	日 時	28年 11月 24日	行事名	むべ行事食
	焼き鮭、さつまいもと豚肉の炒め物、白菜と水菜と塩昆布のサラダ			
11	日 時	29年 1月 19日	行事名	わかくさ行事食
	寄せ鍋、漬物			
12	日 時	29年 1月 26日	行事名	むべ行事食
	煮込みラーメン、炊き込みご飯のおにぎり、竹輪の焼き物			
13	日 時	29年 2月 16日	行事名	わかくさ行事食
	おでん			
14	日 時	29年 2月 23日	行事名	むべ行事食
	ハンバーグ、グラタン、野菜サラダ			
15	日 時	29年 3月 16日	行事名	わかくさ行事食
	散らし寿司、ポテトサラダ、菜の花の酢味噌和え、アサリの味噌汁			
16	日 時	29年 3月 23日	行事名	むべ行事食
	お好み焼き、菜の花のお浸し、フルーツ、豚汁			

⑤甘味処（ユニット・とわ）

日 時	おやつ名	材 料
4月1日	たこやき	たこ焼き粉、たこ、キャベツ、小葱、ソース
5月2日	柏餅	久月（柏餅）
5月9日	母の日ケーキ	不二家（ショートケーキ他）
6月1日	フレンチトースト	食パン、卵、牛乳、マーガリン、ジャム
6月16日	父の日ケーキ	アンジュ菓恋（ショートケーキ他）
7月1日	アイスクリーム	アイスクリーム
7月8日	フルーツポンチ	寒天、フルーツ缶
9月14日	あんみつ	寒天、フルーツ缶、あずき缶
11月10日	スイートポテト	さつまいも、牛乳、マーガリン、卵黄

12月1日	もみじ饅頭	もみじ饅頭
1月2日	甘酒	甘酒
2月2日	節分ロールケーキ	節分ロールケーキ、フルーツ
2月13日	チョコフォンデュ	チョコレート、バナナ、鈴カステラ
3月2日	雛あられ、桜もち	雛あられ、桜もち
3月14日	クッキー	ホットケーキミックス、マーガリン、チョコ

(4) 栄養ケアマネジメント

① 栄養ケアカンファレンス

月	人数	月	人数	月	人数
4	0	8	0	12	0
5	0	9	1	1	2
6	20	10	0	3	0
7	0	11	20	4	0

※開催回数 7回 合計 43人

(5) 衛生管理…従来型「3. 給食(5) 衛生管理」参照

(6) 会議・研修…従来型「3. 給食(6) 会議・研修」参照

《考察》

従来と同様に食事の摂取状況や体重の変化により、食形態の変更を看護師、介護士と相談しながら対応できた。また平成28年10月より、委託会社の協力の下、ソフト食の提供を開始し、当初は昼食から、12月より3食とも提供できるようになったので、ユニットにおいても、季節感やイベント的なものなど楽しみながら、美味しく食べられ健康を維持できるような食事提供を模索していきたい。

4. 施設ケアマネジャー

(1) 反省

畑 仁	ケアプランの作成、更新業務を行なう事はできたが、適宜入居者に合ったプランの見直しという点では満足点には至らなかった。来年度は、小まめに入居者の状況について情報収集し、ケアプランの反映できるようにしたい。
加瀬 久美子	年度途中からケアマネ業務に携わることとなり、戸惑うことも多かったが、担当している入居者のアセスメントから始まり、ケアプランの作成まで行き着くことができた。

(2) ケアカンファレンス・認定調査

① ケアカンファレンス実施回数

月	人数	月	人数	月	人数
4	1	8	12	12	8
5	12	9	1	1	6
6	6	10	5	2	12
7	3	11	11	3	0

開催合計 12回 延べ 77名

②認定調査の実施回数

月	人数	月	人数	月	人数
4	0	8	1	12	1
5	0	9	0	1	1
6	3	10	0	2	0
7	2	11	4	3	1

認定調査 合計 13件

5. 相談員…従来型「5. 生活相談員（1）反省」参照

6. 委員会

（1）委員会活動報告・反省…従来型「6. 委員会（1）委員会活動報告・反省」参照

（2）行事報告

月	日	内 容	参加者			
			利用者	職員	その他	合計
4	15	とわ4周年イベント	20	10	6	36
5	6	ドライブ・散歩	3	3	0	6
	10		3	3	0	6
	12		3	3	0	0
	16		2	2	0	0
5	25	さつき会	19	4	6	29
5	9	母の日イベント	19	5	0	24
6	20	とわ日帰り旅行&出前食	20	12	0	32
6	16	父の日会	20	5	0	25
6	26	出張デパート	12	4	0	16
7	16	小松・夏祭り来園	2	2	0	4
7	17	霞ヶ岡・山車&御輿来園	15	3	0	18
7	30	花火大会&出前食	20	8	0	28
11	18	紅葉ドライブ	2	2	0	4
	27		3	3	0	6
	29		1	1	0	2
12	11	クリスマス会	20	8	7	35
1	5	初詣	3	3	0	6
	8		3	3	0	6
	10		3	3	0	6
	15		3	3	0	6
	16		3	3	0	6

7. 研修…従来型「7. 研修」参照

8. 実習生受入れ…従来型「8. 実習生受入」参照

9. ボランティアの受け入れ…従来型「9. ボランティア受け入れ」参照

平成 28 年度 事業報告書
飛羽ノ園デイサービス

指定通所介護・介護予防通所介護事業（併設型・通常規模型・利用定員 25 名）

1. 運営

平成 28 年度は来年度から始まる、介護予防・日常生活支援総合事業の動向も視野に入れつつ、通所介護事業所としての本来担う役割りを再確認しながら運営を行なった。

『在宅生活の継続』を再度念頭に置き、利用者が持つ可能性を最大限引き出せるよう、自立支援を促し機能訓練として位置づけられるようなサービス方法を再検討し、提供した。また、今年度は浴室と脱衣室・並びにホール内の洗面台の大規模な改修工事を行なうと共に、新たな認知症予防プログラムのシナプソロジーをサービスとして提供し、質を高められるような取り組みも開始した。来年度も幅広いニーズに対応したサービス提供が出来る、魅力のあるデイサービスを運営していきたい。

2. 物品購入・修繕報告

物品名・修繕箇所	種別	評価
①肘つき椅子（ホール用）	未購入	現存の椅子使用し、来年度に購入予定。
②肘つき椅子（脱衣室用）	未購入	再検討し、購入予定なし。
③ホール内ブラインドカーテン	未購入	再検討し、購入予定なし。
④浴室	修繕	リフト付き個浴の導入で、利用者・職員両方の負担軽減が図れた。
⑤トイレ	修繕	扉付きの個室トイレを作ったことで、よりプライバシーに配慮して使用できるようになった。
⑥脱衣室	修繕	脱衣所～トイレへの動線確保や、上履きでの入室を止めたことで清潔保持へと繋がった。
⑦ホール内洗面台	修繕	台数を増やした事で入館時の手洗いの実施が可能となった。また、車椅子の方も使用しやすくなり、より口腔ケアに役立っている。

3. 実績報告

(1) 月別利用状況

目標としていた平均利用者数 20 名には 3.3 名、稼働率は 86%には 19.2%届かなかった。だが、前年度比においては平均利用者数 1.0 名の増加、稼働率においても 4.0%の増加となった。利用者 1 人当たりの利用回数が増えたことにより、延人数においても増加が見られる。また、定期的に行なった営業活動の成果か、平成 29 年に突入してからの実人数・稼働率の伸びが見受けられた。

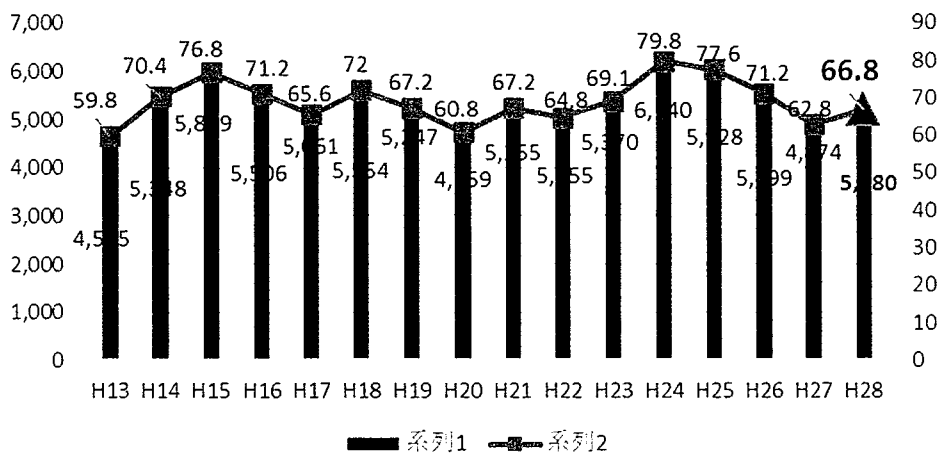
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
運営日数(日)	26	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	27	310	
実人数(名)	50	50	51	53	54	49	51	54	52	55	56	55	630	
延人数(名)	420	419	428	437	444	416	419	417	439	415	439	487	5,180	
平成27年度	平均利用者数(名)	15.5	16.3	16.8	15.6	15.9	15.2	15.7	15.1	14.3	15.3	15.6	16.4	15.7
	稼働率(%)	62.0	65.2	67.2	62.4	63.6	60.8	62.8	60.4	57.2	61.2	62.4	65.6	62.8
平成28年度	平均利用者数(名)	16.2	16.1	16.5	16.8	16.4	16.0	16.1	16.0	16.9	17.3	18.3	18.0	16.7
	稼働率(%)	64.8	64.4	66.0	67.2	65.6	64.0	64.4	64.0	67.6	69.2	73.2	72.0	66.8
稼働率(%) 前年度比	2.8	△0.8	△1.2	4.8	2.0	3.2	1.6	3.6	10.4	8.0	10.8	6.4	4.0	

(2) 年間利用状況の推移

利用者数 5,180 名、稼働率 66.8%と昨年の延利用者数より 306 名増加し、稼働率においても 4.0%の増加となった。

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
延利用者数(名)	4,545	5,348	5,829	5,506	5,061
稼働率(%)	59.8	70.4	76.8	71.2	65.6
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
延利用者数(名)	5,554	5,247	4,759	5,255	5,055
稼働率(%)	72.0	67.2	60.8	67.2	64.8
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
延利用者数(名)	5,370	6,140	5,928	5,499	4,874
稼働率(%)	69.1	79.8	77.6	71.2	62.8
	平成28年度				
延利用者数(名)	5,180				
稼働率(%)	66.8				

年間利用状況の推移



(3) 年間請求状況（介護報酬分のみ）

年間請求額合計は 34,253,616 円（2,854,468 円/月）と前年度と比較すると年間 1,506,425 円（125,535 円/月）のアップが見られた。利用者 1 人当たりの単価は 6,613 円と 3 年連続で低下しているが、その差額は 106 円にとどまった。その内容としては、前年度に引き続き介護度の低下があり、これに反比例し要介護 4・5 の重度介護者の減少が背景にあると考える。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度比
4月	3,870,558	2,749,804	2,800,229	50,425
5月	3,939,174	3,102,689	2,642,047	△ 460,642
6月	4,053,253	3,073,434	2,802,319	△ 271,115
7月	4,021,712	2,748,814	3,062,574	313,760
8月	4,069,077	2,847,565	2,963,374	115,809
9月	3,421,622	2,889,808	2,748,487	△ 141,321
10月	3,566,529	2,964,973	2,749,195	△ 215,778
11月	3,179,068	2,505,572	2,675,725	170,153
12月	3,159,114	2,349,911	2,770,762	420,851
1月	2,670,059	2,448,109	2,736,565	288,456
2月	2,649,989	2,407,505	3,058,685	651,180
3月	2,830,597	2,659,007	3,243,654	584,647
合計	41,430,752	32,747,191	34,253,616	1,506,425
月平均報酬額	3,452,563	2,728,933	2,854,468	125,535
1人当たり単価	7,534	6,719	6,613	△ 106

(4) 介護度別利用状況

要支援者 1・2 と要介護 1 の利用者が全体の約 6 割を占めており、前年度に引き続き介護度は低下傾向にあると捉えることができる。また、前年度比で要介護 3 の利用者層が 9.8% 増加しており、新規利用者の介護度・継続利用の介護度が低い利用者層が重度化してきていることも考えられる。

要介護度	平成27年度		平成28年度		前年度比	
	延人数（名）	構成比	延人数（名）	構成比	延人数（名）	構成比
支1	501	10.3%	730	14.1%	229	3.8%
支2	513	10.5%	512	9.9%	△ 1	△0.6%
1	2,143	44.0%	1,834	35.4%	△ 309	△8.6%
2	1,169	24.0%	1,273	24.6%	104	0.6%
3	145	3.0%	663	12.8%	518	9.8%
4	258	5.2%	168	3.2%	△ 90	△2.0%
5	145	3.0%	0	0.0%	△ 145	△3.0%
介護保険外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	4,874	100%	5,180	100%	306	—

4. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組

主に、以前から提供している半日利用希望（多くは午前利用希望）の積極的な受入れを行なった。これは利用者の健康状態や、暮らしのリズムに合わせたデイサービスの利用を鑑みたからである。また、今年度後半からはリフト付き個浴（個粹）の導入によって、従来浴槽では入浴が困難である重度利用者にサービス提供が可能になり、在宅生活の継続をより自信を持って支援することが可能となった。

(2) 通所介護・介護予防通所介護計画書作成

社会交流・健康管理・清潔保持・機能訓練・介護負担軽減など多様なニーズへの対応、また利用者が「今、必要としているサービス」をタイムリーに提供するため、アセスメントをはじめ、プランの作成・実施・評価・見直しを行った。

(3) 入浴サービス（入浴者数・入浴率報告）

例年通り、冬季における入浴者数は減少傾向にあったが、前年度後半に向けては回復傾向にある。また、前年度に引き続いて要支援者の利用増加に伴い、全体的に入浴のニーズも減少したと考える。また、今年度は浴室と脱衣室の大幅な改修工事があり（平成28年12月より稼働開始）、夏季の約2ヵ月間は2階特養の浴室を借りて、入浴サービスを提供した。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数（名）		420	419	428	437	444	416	419	417	439	415	439	487	5,180
入浴延人数（名）		337	308	341	363	374	323	301	240	246	255	266	326	3,680
入浴率（％）	平成27年度	85.9	84.7	86.5	82.0	82.9	68.4	65.9	55.3	54.7	53.0	54.2	50.0	76.5
	平成28年度	80.2	73.5	79.7	83.1	84.2	77.6	71.8	57.6	56.0	61.4	60.0	66.9	71.0
前年度比（％）		△5.7	△11.2	△6.8	1.1	1.3	9.2	5.9	2.3	1.3	8.4	6.4	16.9	2.4

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個浴（名）		0	0	0	0	0	0	0	0	6	3	4	2	15
リフト付き個浴（名）		0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	5	1	14

(4) 食事サービス

利用者個々の身体の状況・状態、ニーズなどに合わせた治療食・嗜好食・食事形態・食事介助方法など随時職員同士話し合い、また厨房との連携を図ることで対応した。その他、日帰り旅行・甘味ドライブなどの外食をはじめ、選択食（約2ヵ月に1回実施）など「いつもと違う」楽しみのある食事の提供も積極的に行なった。

(5) 排泄介助サービス（定時・随時）

利用者のプライバシー保護とトイレでの排泄を基本とし、利用者個々の性格・状況・状態などに合わせ、定時（随時）の声かけ・トイレ誘導・排泄介助（オムツ交換）を行なった。

(6) レクリエーション・行事

季節毎にその季節を感じて頂ける場所への外出ドライブを積極的に行なった。

又、ドライブ以外でも柏餅作りやクリスマス会などを行ない、外出・園内の両面で利用者・職員が共に楽しみながら気分転換や運動できる機会を提供した。また、以前取り組んだことのあるグリーンカーテンを朝顔やゴーヤを栽培し、実施した。思うように成長はしなかったが、来年度も利用者に栽培の段階から携っていただき、取り組みたいと考える。

【レクリエーション】

レクリエーション名	実施回数(回)
ちよんちよんゲーム	24
季節の壁飾り作り	34
大漁ゲーム	19
言葉探しゲーム	14
言葉遊びゲーム	14
ボーリング	17
お手玉点数ゲーム	3
ビンゴ	13
俳句	14
連想ゲーム	11
替え歌	8
しりとり	3
すごろく	7
タオルボールで追いかけてこ	2
書道	7
頭の体操	1
折り紙	3
カラオケ	20
お手玉崩し	1
ダービーゲーム	7
昨日日記	1
ぬり絵	11
シーツバレー	4
洗濯物たたみゲーム	1
バラエティ玉入れ	2
かるた	2
合計	243

【外出行事】

行事名	実施回数(回)
紅葉ドライブ	2
桜ドライブ	2
初詣&甘味ドライブ	5
城山公園ドライブ	3
散歩(水郷公園・千鳥ヶ丘公園)	8
水郷ドライブ	1
牛久ひな祭り見学	1
合計	22

【日帰り旅行】

行き先	実施回数(回)
筑波山(紅葉)	3
潮来あやめ	3
合計	6

【イベント】

イベント名	実施回数(回)
夏祭り	2
クリスマス会	2
もちつき大会	1
繭作品作り	2
千支の置物作り	1
お雛様作り	1
桜餅作り	2
合計	11

(7) 個別機能訓練（介護）・運動器機能向上（予防）サービス

本人・家族・ケアマネジャーの希望に合わせ、PT（理学療法士）来園日に追加利用・利用日変更することでPTと直接相談できる機会を提供した。今年度は、従来の個別機能訓練加算Ⅰの算定に加え個別機能訓練加算Ⅱの加算算定も実施し、より在宅生活の継続を見据えた通所介護事業所としての役割を最大限提供できるよう努めた。（平成29年に入ってから、個別機能訓練加算Ⅰのみの算定。）また、10月からは脳機能を活性化し認知症予防に効果的といわれている、シナプソロジーを新たに取り入れ（デイサービス職員で3名インストラクター資格取得）、午後の機能訓練と併せてサービス提供を開始した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機能訓練Ⅰ（名）	36	36	39	41	41	36	36	42	40	43	43	42	475
機能訓練Ⅱ（名）	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	5
運動器機能（名）	14	14	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	149
合計	50	50	51	53	53	48	48	56	55	55	55	55	629

(8) 口腔機能向上サービス

食事前の口腔体操を通して嚥下機能低下の啓発・防止に努めた。また、必要者には加算算定により計画書に沿った口腔内の状態観察・ケアを実施した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
口腔機能向上（名）	2	2	2	2	2	3	3	3	4	3	3	3	32

(9) 送迎サービス

利用者個々の希望や身体状況に合わせて時間・ルート・順序・送迎車両の選択などに配慮した。また、今年度の後半にはタント（4人乗りまたは1人+車椅子にし、使用可）のリースを開始したことで送迎方法に幅が広がり、より安全で効率的な送迎が実施できるようになった。

【送迎状況】

回	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
迎え	361	375	333	351	348	309	322	385	412	382	407	454	4,439
(減算)	5	1	0	15	15	11	17	20	14	23	20	20	161
送り	364	380	345	376	374	330	299	385	398	385	410	451	4,497
(減算)	2	2	1	4	5	2	2	7	6	2	5	2	40
延回数	718	752	677	708	702	626	602	743	790	742	792	883	8,735

【送迎車両走行距離】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ハイエース①	345	482	447	541	602	471	331	484	485	363	419	344	5,314
ハイエース②	18	117	650	0	47	393	322	0	15	94	0	105	1,761
ランディ	450	510	484	386	475	355	494	417	464	465	397	422	5,319
ステップワゴン	649	554	521	462	516	751	629	628	484	506	382	425	6,507
ミラ	81	34	49	72	376	170	57	126	124	45	15	27	1,176
ワゴンR	312	295	324	274	16	37	10	0	0	0	0	0	1,268
ハイゼット	16	13	53	27	32	1	0	31	3	5	9	16	206
合計	1,871	2,005	2,528	1,762	2,064	2,178	1,843	1,686	1,575	1,478	1,222	1,339	21,551

*外出行事使用（走行）分を含む。他事業所使用（走行）分を除く。単位はkm。

(10) 看護報告（処置集計報告）

ガーゼや絆創膏の使用が増えてはいるが、入浴時などにボディチェックを念入りに行ない、看護師判断により早期発見・早期対応を行なっている結果と考える。今後も家族や担当ケアマネジャーと積極的に連携し、情報収集や状態変化の早期発見に努める。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
爪きり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	4
軟膏塗布	30	42	40	39	38	25	17	14	24	29	20	13	331
ガーゼ・絆創膏	6	2	1	2	1	3	1	2	5	19	6	12	60
点眼	10	22	19	26	28	11	7	8	7	9	10	5	162
シップ等貼付	18	14	14	16	18	17	9	17	13	13	10	2	161
内服薬	86	105	101	134	119	87	62	80	76	84	100	102	1,136
インシュリン	0	2	0	0	1	1	0	2	4	5	4	7	26
褥瘡処置	4	10	8	12	14	6	0	0	0	0	0	0	54
体重測定	49	0	51	0	51	0	48	0	51	0	49	0	299
計	203	197	234	229	270	150	144	123	180	162	199	142	2,233

○業務内容

来園時のバイタルチェックを始め、日々の利用者の健康管理から入浴時における、皮膚状態の観察や状態変化の早期発見に努めた。また、重症化の予防という観点から家族やケアマネジャーとの連携・相談を積極的に行なった。

○感染予防・衛生管理・安全対策

特に冬季における手洗い・手指消毒の促し、ホール内の温度と湿度調整を随時管理し、施設内感染の予防に努めた。

○健康管理・職員啓発

職員の健康管理と施設内感染の感染媒体とならない為に、感染症流行時期にはマスク着用の徹底と、日々の働きかけとして健康不安に関する早期対応を促した。

(11) ヒヤリハット報告

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
発見	歩行中転倒・痛み無し	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	歩行中転倒・痛み有り	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	転倒し、傷・出血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	転倒し、体の痛み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	転倒(外傷無し)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	車椅子ずり落ち・痛み有り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車椅子ずり落ち・痛み無し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	イスよりずり落ち	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	尻もち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	ベットからのずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	内出血・傷・骨折	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	意識喪失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	その他	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
利用者自身	異食・誤嚥・嘔吐	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
	吸引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外食時トラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者間のトラブル	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	薬忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	金銭トラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	体調不良・発熱	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	内出血・傷・やけど	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	セクシャルハラスメント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	暴力・暴言・触る	0	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	5
	その他	0	3	1	2	3	6	3	0	0	0	1	1	20
見守り中	いすから立ち上がりふらつく	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	送迎時のトラブル	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	転倒・ふらつき	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	歯が抜けた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員ミス	荷物忘れ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	車の物損・スピード・接触	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	5
	投薬間違い・紛失・服薬確認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介助時事故	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	トラブル・苦情	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
	荷物の間違い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	備品物損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
連絡調整	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	
入浴時事故	介護時支え事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	整容時の事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	浴室での事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	表皮剥離	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	救急車対応	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	金銭・持ち物	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	車中・車のトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	請求書作成ミス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	2	11	2	5	7	18	6	4	0	2	5	3	65	

(12) 地域介護予防教室等（介護予防教室+見学会等）

デイサービス職員3名がシナプソロジーインストラクターの資格を取得し、在宅介護支援センターと連携し、積極的に介護予防教室でシナプソロジーを行なった。

今後もスクエアステップなどを取り入れるなどし、新たな情報を地域へ発信していきたい。

日程	場所	参加人数	研修名	派遣・担当職員
11月12日（土）	中高津公民館	14名	『シナプソロジー ～楽しく脳を混乱させる！？』※在支啓発事業	鈴木・中島
12月4日（日）	飛羽ノ園	23名	『シナプソロジー』・デイ見学会 *歳末助け合い募金・配分金	和田、椎名、藤宮、 沼田、戸村、中島
12月12日（土）	永国公民館	28名	『シナプソロジー ～楽しく脳を混乱させる！？』※在支啓発事業	鈴木・中島
3月15日（水）	小松公民館	22名	運動を通して脳機能向上・ 認知症予防を図る※在支啓発事業	鈴木・中島
3月16日（木）	富士崎公民館	13名	脳が混乱するような運動を行なうことにより 脳機能向上・認知症予防を図る ※在支啓発事業	戸村・中島

(13) 実習生・ボランティア受入

○実習生受入報告

種別	学校名	実人数 (名)	延日数 (日)
教員	筑波大学	8	40
	流通経済大学	2	6
	文教大学	1	4
	茨城大学	2	10
新任職員	土浦市役所	5	5
就労支援		1	1
合計		19	66

○ボランティア受入報告

ボランティア名	来園回数 (回)
こもれびの会（2名）	27
すずめの子（3～7名）	2
シルバードリーム（5名）	1
フラダンス	1
ハワイアンバンド	1
小鈴会（4名）	1
桜の会（4名）	1
茶会	1
神水会（7名）	1
合計	36

5. 利用者状況

(1) 登録利用者数状況

年に数回の営業活動・外部ケアマネジャー向けの内覧会・昼食会の開催で新規登録利用者数が緩やかに上昇している。今後また、営業活動・啓発事業を通して在宅で暮らす高齢者に向けて飛羽ノ園デイサービスの魅力を発信していきたいと考えている。

	平成27年度			平成28年度		
	登録者数 (名)	新規利用者 (名)	利用終了者 (名)	登録者数 (名)	新規利用者 (名)	利用終了者 (名)
4月	49	2	2	50	3	0
5月	47	3	0	52	2	1
6月	50	3	0	53	1	0
7月	53	0	3	54	1	0
8月	50	0	0	55	2	0
9月	50	1	0	57	2	2
10月	51	2	0	57	1	0
11月	53	0	7	28	3	0
12月	46	4	0	61	1	0
1月	50	3	6	62	2	7
2月	53	3	0	58	1	1
3月	50	3	3	29	2	14
合計	602	24	21	616	21	25
平均登録者数 (名)	50.2	2.0	1.8	51.3	1.8	2.1

(2) 介護度別登録利用者

前年度比と比べると要介護度の利用者が増えてきている傾向にある。その要因としては、トイレ・浴室の改善を行なったことにより幅広いニーズに柔軟な対応ができるようになりその事が内覧会などを通して内部を含めたケアマネジャーに周知できたからだ考える。

要介護度	平成27年度 (平成28年3月31日現在)		平成28年度 (平成29年3月31日現在)		前年度比	
	実人数 (名)	構成比	実人数 (名)	構成比	実人数 (名)	構成比
支1	9	17.0%	6	10.3%	△ 3	
支2	4	7.5%	7	12.1%	3	
1	18	34.0%	21	36.2%	3	
2	14	26.4%	12	20.7%	△ 2	
3	4	7.5%	9	15.5%	5	
4	4	7.5%	3	5.2%	△ 1	
5	0	0.0%	0	0.0%	0	
介護保険外	0	0.0%	0	0.0%	0	
計	53	100%	58	100%	5	-

(3) 利用者年齢構成

年齢・男女比共に少しずつ増加傾向にある。利用者が増えると共に個々のニーズも増えていくと考えられるので、利用者個々の状態（性別・年齢層・趣味など）に合わせたサービスの提供に取り組み、家族とも連携しニーズ把握に努め環境（事業所の雰囲気・職員の意識など）を整え、臨機応変に対応していく。

年齢（歳）	平成27年度（名）		平成28年度（名）		前年度比（名）	
	（平成28年3月31日現在）		（平成29年3月31日現在）			
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～64	0	0	0	0	0	0
65～69	0	0	1	1	1	1
70～74	1	0	1	0	0	0
75～79	3	1	3	1	0	0
80～84	8	9	7	8	△ 1	△ 1
85～89	5	16	6	14	1	△ 2
90～94	0	6	1	9	1	3
95～99	0	4	1	4	1	0
100～	0	0	0	1	0	1
男女別合計	17	36	20	38	3	2
男女比	32.1%	67.9%	34.5%	65.5%	—	—
合計	53		58		5	

(4) 町内別（市外含む）・中学校区別登録利用者（平成29年3月31日現在）

○町内別（市外含む）

地区	登録者数	地区	登録者数
霞ヶ岡	11	永国台	1
烏山	3	中央	1
小松	10	天川	3
小松ヶ丘	2	蓮河原新町	1
国分町	2	上高津	3
千鳥ヶ丘	2	東崎	1
中高津	11	小岩田西	1
富士崎	2	大手町	1
下高津	3	市外	0
		合計	58

○中学校区別

地区	登録者数
一中地区	4
二中地区	0
三中地区	0
四中地区	39
五中地区	0
六中地区	15
都和中地区	0
新治中地区	0
市外	0
合計	58

6. 職員勤務体制

(1) 平成28年度 個人反省

職種 勤続年数	氏名 (経験年数)	反省
生活相談員 3年1ヶ月 (11年)	沼田 江里子	自らの経験不足と考えの至らなさが、業務処理の流れを滞らせたと考えている。又、職員教育という面においても不十分であった。
生活相談員 3年 (5年)	藤宮 正樹	6月から兼務での配属となったため、デイ一般業務の習得に時間がかかってしまった。憩いの里での経験が、連絡帳や日誌の電子化で特に活かすことができた。
看護師 16年7ヶ月 (20年7ヶ月)	戸村 優子	機能訓練計画書は作成したが、なかなか実施できなかった。ADLの維持はできた。
介護士 8年4ヶ月 (9年5ヶ月)	小嶋 裕美	園芸は行ったが朝顔が枯れてきてしまい、グリーンカーテンの役目を果たさなかった。乾燥対策のために、手芸で何かを作って水に濡らして干しておけばよいと考えていたが、実行できなかった。
介護士 9年1ヶ月 (12年1ヶ月)	庄司 紀世子	利用者様の意思を聞くことはできた場合もあったが、対応はできなかった。意思や人格を尊重することはとても難しかった。
介護士 3年3ヶ月 (6年3ヶ月)	鈴木 明子	家族状況を踏まえながらの利用者様の意思の尊重は、なかなかできなかった。
介護士 6年 (6年)	中島 勇一	業務内容を覚えてはきたが、まだまだ力不足と覚えることが多いので、すべてにおいてレベルアップしないといけないと思う。
介護士 5年5ヶ月 (7年9ヶ月)	永井 享美	とわ菜園で利用者様が外で活動する機会が増え、近所の方との交流もあった。また、自分たちで育てた野菜をユニット内で調理することで、利用者様がとても喜んでくれた。
看護師 5年1ヶ月 (24年)	小野 啓子	利用者様への意志と人格を尊重する対応を心がけたが、業務の流れなどによっては難しいこともあった。健康面でのサポートは、他スタッフのサポートを受けながら行うことができた。
介護士 8年2ヶ月 (8年2ヶ月)	原 菜保子	体調に気をつけることができた。効率を考えながら仕事をしていきたい。

* 「勤続年数」基準日は平成29年3月31日現在。「経験年数」は他事業所での経験年数との合算。

(2) 外部研修参加報告

日程	場所	研修名	参加者
8月22日～ 8月23日	水戸市	平成28年度 コーチングスキル研修	沼田
10月6日・ 10月27日	水戸市	平成28年度 メンタルタフネス研修	沼田
11月24日～ 11月25日	土浦市	平成28年度 クレーム対応力強化研修	沼田

日程	場所	研修名	参加者
平成29年2月14日	小美玉市	水害・土砂災害への備えに関する要配慮者施設の管理者向けの説明会	中島
平成29年2月16日	つくば市	福祉車両安全運転講習会	中島

7. その他

今年度は浴室・脱衣室と利用者用トイレ、またホール内洗面台の大規模な改修工事を行ない、ケアマネジャー向けに内覧会と昼食会を開催した。改修した大浴場とリフト付き個浴（個粹）は外部のケアマネジャーにも好評で、新規利用者の相談依頼も得ることが出来た。

日程	出席者
12月12日（月）	喜楽喜楽3名、山手医院1名、烏山診療所2名、やすらぎの園3名、滝の園2名、ケアプランセンターひかり2名 計13名
12月13日（火）	ケアパートナーみなみ2名、JA1名、華林7名、憩いの里3名 計13名

平成 28 年度 飛羽ノ園居宅介護支援事業所事業報告

1. 居宅介護支援事業所勤務体制

介護支援専門員 4 名（1 名兼務）体制で運営。6 月に異動があったが、業務はスムーズに行われた。定期的に居宅会議を実施。ケース状況により、担当者が抱えている課題等検討を行った。

介護プラン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	103	98	102	105	103	96	97	98	100	104	104	104	1,214
市外	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	2	2	39
県外	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	108	103	107	110	108	100	101	102	104	108	107	107	1,265

暖かくなり数字が減少傾向なのは、終了（永眠・施設入所）の影響である。最も多く担当しているのは要介護 1・2 の軽度者で半数以上を占めているが、在宅で看取り希望のある利用者の担当もあり、訪問頻度は月・週・毎日と状況にあわせて実施した。月平均担当数は 105 件となった。

介護予防プラン（包括支援センター委託）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	26	26	26	24	24	26	26	27	27	26	26	24	308
県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	26	26	26	24	24	26	26	27	27	26	26	24	308

ほぼ安定した件数の支援となった。減少の月は予防プランから介護プランへの移行の影響もあり月平均 25 件であった。担当の多い土浦市は H29 年度より総合支援事業がスタートする予定。訪問介護・通所介護のサービスを利用している方が多い為、総合支援事業の説明を実施した。H29 年度 4 月以降更新時に介護保険サービス・総合支援事業混合のサービス利用の方に移行する予定。（利用回数により、料金設定が回数ごと・包括料金となる）県外・市外の予防担当はなかった。

2. 居宅介護サービス計画実施状況（要介護度別分類）

居宅サービス契約者介護度別延べ件数前年度比

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
H27 年度	168	168	565	282	116	143	85	1,527
H28 年度	157	151	619	301	148	150	72	1,598

当事業所では、要支援 1 から要介護 2 までの軽度な方が 75%以上を占めており、前年度と比較しても重度の方よりも増加傾向にある。要支援 1 から 2 の減少に関してはケアマネジャーが 1 名減少した影響もあった。

3. 障害高齢者の日常生活自立度（日常生活の活動状況により区分）

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
自立	2	0	5	2	1	0	0	10
J1	3	1	5	1	1	0	0	11
J2	5	3	16	8	1	0	0	33
A1	4	3	6	11	2	1	1	28
A2	2	3	13	5	3	2	0	28
B1	0	0	2	2	1	0	2	7
B2	0	0	2	0	0	1	0	3
C1	0	0	0	0	2	0	1	4
C2	0	0	0	0	0	1	2	3
合計	16	10	49	29	12	5	6	127

※区分の状態参照

J1.公共機関を利用し遠方まで外出レベル

J2.近隣への買物や町内距離程度外出レベル

A1.寝たり起きたりの状態だが、日常生活行為（食事・排泄・着替え等）ができ、日中はベッドから離れる時間が長く、介助のもと比較的多く外出する

A2.寝たり起きたりの状態でベッドから離れている時間が長いが介助者がいてもまれにしか外出しないレベル

B1.介助なしで車椅子に移乗し、食事・排泄等ベッドから離れて行う

B2.介助のもと、車椅子に移乗し、食事・は伊勢悦に関しても支援を必要とする

C1.ベッドに常時臥床し、自力で寝返りがうてる

C2.自力で寝返りがうてずベッド上で常時臥床している

介護度の重い方は、通所・ショートステイ・訪問看護・訪問介護・福祉用具等各種サービスを混在し、在宅生活が長期継続出来るように支援をした。軽度者に関しては1人での外出が困難で通所サービスの利用が多い状況になった。

4. 認知症度（日常生活支援の状態により区分）

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
自立	5	4	11	8	1	2	0	31
I	9	7	13	6	3	0	0	38
II a	1	0	5	4	1	0	0	10
II b	0	0	11	5	3	0	1	21
III a	0	0	8	5	2	1	2	18
III b	0	0	2	0	1	0	1	4
IV	0	0	0	1	1	1	2	5
M	0	0	0	0	0	0	0	0
計	15	11	50	29	12	4	6	127

※区分の状況参照

自立. 何らかの認知症を有するが家庭内・社会的にもほぼ自立している

I. 日常生活に支障を来す症状・行動は出来ているが、支援があれば自立している

II a. 家庭外でも右記症状が見られる(道に迷う・買物・事務・金銭管理を間違う)

II b. 家庭内でも右記症状が見られる(服薬管理が出来ない。訪問客や電話の内容の間違いなど 1 人で留守番ができない)

III a. 日常生活に支障をきたすような症状・行動がみられ意思疎通が困難で介護を要する

III b. 日中を中心に右記症状が見られる(着替え・食事・排泄等上手にできない。異食、徘徊・大声・収集癖・不潔行為・性的異常行為等)

IV. 日常生活に支障がある状況が常時見られ常に介護を要する

M. せん妄・妄想・興奮・自傷・他害等精神症状やそれに起因する問題行動が継続する。主治医の判断に認知症度が決定する。介護度に比例せず何らかの身体症状を有するが、認知症のレベルはそれ程重くないが利用者が半数を占めている。

同居家族がいる方に関しては、認知症の進行が見られても、在宅での生活が継続出来るケースが多かった。主治医によって判断基準に相違があり、レベル評価に開きが出来やすい尺度である。その際受診に同行し状況を説明したり、書類にて上申等行った。

5. 居宅サービス利用割合

平成27年度より事業所集中減算率が80%を超過すると減算対象となる。

同法人で実施している事業に関して実施

通所サービス

通所介護（前期）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	割合
飛羽ノ園デイ	30	29	30	32	33	29	183	48,22%
ながみねデイ	19	19	20	20	20	21	119	31,44%
憩いの里デイ	0	0	1	1	1	1	4	1,06%
合計	49	48	51	53	54	51	306	76,17%

通所介護（後期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
飛羽ノ園デイ	31	34	33	35	35	33	201	48,55%
ながみねデイ	20	19	20	19	19	19	116	28,02%
憩いの里デイ	1	1	1	1	1	1	6	1,45%
合計	52	54	54	55	55	53	323	74,64%

短期入所生活介護

ショート（前期）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	割合
飛羽ノ園	11	12	13	15	15	17	83	62,41%
憩いの里	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	11	12	13	15	15	17	83	62,41%

ショート（後期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
飛羽ノ園	15	11	15	14	6	7	68	53,97%
憩いの里	0	0	0	1	1	1	3	2,38%
合計	15	11	15	15	7	8	71	55,56%

当法人が実施している事業の利用率を算定。社会資源が多いエリアでもあり、需要と供給のバランスが良い為か、集中減算の対象とならずに実施できた。

その中でもケアマネジャーの事業所と併設している事業所の希望が多く聞かれるのが現状である。隣接しているながみねデイの利用は3割以上あるが、憩いの里に関しては送迎時間の兼ね合いもあり、希望者が少なかった。ショートステイに関してはユニット希望の方に対しては提案し利用実施に至ったケースがあった。

6. 同行訪問件数（新規依頼を受け、同行訪問した件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	0	0	0	0	1	2	1	1	1	0	1	9

同行訪問に関しては、ケアマネジャー交代（家族からの希望）、初回、困難ケースに関して管理者が実施、12月に関しては管理者・施設長にて家族と対応したケースもあった。担当者が個人で抱える事なく、個人情報の漏洩防止に努めつつ、今後のケースを検討していく上で継続が必要と感じた。

7. 認定調査

認定調査の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
土浦市	8	10	12	10	6	7	7	9	8	10	5	9	101
市外	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	3
計	8	10	12	10	6	9	7	9	8	11	5	9	104

土浦市に関しては、担当しているケアマネジャーに全てではないですが、委託が来るケースが多い。また市外に関しては、都内・県内と同じ対象者を継続して委託が来るケースが多かった。

8. その他研修

研修内容

- ・介護支援専門員更新研修（Ⅰ・Ⅱ）
- ・主任介護支援専門員更新研修
- ・祥風会 介護支援専門員研修（5月・7月）
- ・土浦ケアマネジャー研究会（5月・7月・9月・11月・1月・3月）
- ・土浦市在宅医療と介護の他職種連携研修会
- ・土浦市医師会事例検討会（毎月1回）

平成 28 年度 事業報告書
土浦市在宅介護支援センター 飛羽ノ園
土浦市在宅介護支援センター運営委託事業（四中地区担当）

1. 特別業務

状 況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
台帳作成	5	6	1	6	5	5	6	2	2	7	10	2	57
緊急通報	1	0	0	2	1	1	0	2	0	2	0	1	10
配食サービス	0	0	1	0	2	1	0	0	0	1	1	0	6
ニーズ調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
啓発事業	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1	6
合 計	6	6	4	8	8	7	6	5	3	10	12	4	79

前年度は 191 件であり業務合計数は 112 件の減少。今年度はニーズ調査が行われなかったため、大幅な減少となった。その代わりに、特別業務には含まれないが「介護保険未利用者訪問」の依頼があり、年間 31 件となった。また、ふれあい台帳の管理方法について高齢福祉課より指示があったため、それに基づき、管理名簿を作成し、台帳終了者を土浦市のデータベースで確認し、台帳の仕分けを行った。来年度は、台帳作成者の定期訪問を実施し、特に見守りが必要な方の実態把握を行う必要がある。

2. 相談

（方法×続柄集計）

		本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	計
業務時間	電話	11	20	16	10	7	2	7	1	74
	来所	3	5	2	0	0	0	0	0	10
	訪問	99	34	6	0	3	1	5	1	149
時間外	電話	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	2	0	0	0	0	0	0	0	2
合 計		115	60	24	11	10	3	12	2	237

前年度の相談数合計 564 件と比較すると 327 件減少となった。内訳は、電話による相談は 164 件減少、来所による相談は 16 件の減少、訪問による相談は 147 件の減少で、特に電話による相談件数が減っている。それは、昨年度のニーズ調査件数が多く、時間短縮のため電話調査だけ行うケースが多かったためである。全体的な相談件数の低下は、今年度は、台帳整理に時間を取られてしまい、月 2～3 回程度の「介護保険未利用者」以外の、「台帳見直し訪問」を全く実施できなかったのが反省点である。

(相談区分×続柄集計)

	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	計
家族の支援	3	6	1	0	0	0	0	0	10
介護保険制度	56	40	5	2	3	0	2	0	108
福祉サービス	47	17	12	7	3	2	10	3	101
保健・医療	2	0	0	0	0	0	0	0	2
経済・住まい	0	0	2	0	0	0	0	0	2
地域の困りごと	1	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	10	2	4	1	5	1	0	0	23
二次予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
虐待・権利擁護	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ケアマネ支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	119	65	24	10	11	3	12	3	247

「(3) 福祉サービス」が前年度比 382 件の大幅な減少となったものの、「(2) 介護保険制度」に関する相談が前年度の 79 件から 29 件の増加となっている。それには、今年度は、ニーズ調査が行われなかった一方、介護保険未利用者調査が行われたという背景がある。また、「(7) その他」が前年度の 3 件から 20 件増加しているが、それは、地域包括支援センターや高齢福祉課からの見守り訪問要請が増えたためと考えられる。

3. 会議出席回数等

件 名	件数
ふれあい調整会議	6
スクラムネット	12
その他（在支連絡調整会議等）	17
計	35

ふれあい調整会議・スクラムネットで困難事例のケース検討を行う中で、様々な職種や立場の方々の意見を通して、解決のためのアプローチを見つけることができた。今年度は、在支連絡調整会議において、業務内容の疑問についての勉強会を持っていただき、業務上の疑問や不適切な対応を解消する助けとなった。

4. 啓発事業・地域支援セミナー実施状況

回	日時	地区	場所	テーマ・講師	参加人数
1	6月20日(月) 10:00～12:00	天川円の会	天川公民館	「健康講座 ～認知症予防編～」 土浦市健康増進課 鈴木徹氏・油原申幸氏	50名
2	6月21日(火) 10:00～11:15	上高津 上高津新町 高齢者	上高津公民館	出前講座「頭と体をいつまでも元気に」 土浦市健康増進課 鈴木徹氏	16名
3	11月12日(土) 13:00～14:30	中高津さつき会	中高津公民館	「シナプソロジー ～楽しく脳を『混乱』させる!？」 飛羽ノ園デイサービス 鈴木明子氏・中島勇一氏	14名
4	12月12日(土) 10:30～11:30	永国むつみ会	永国公民館	「シナプソロジー ～楽しく脳を『混乱』させる!？」 飛羽ノ園デイサービス 鈴木明子氏・中島勇一氏	28名
5	2月15日(月) 10:00～11:30	永国台はつらつクラブ	永国団地集会所	「スクエアステップ ～頭を使って楽しく転倒予防～」 スクエア・ステップ協会 青野昌子氏他1名	7名
6	3月16日(木) 12:45～14:00	富士崎福寿会	富士崎公民館	「シナプソロジー ～楽しく脳を『混乱』させる!？」 飛羽ノ園デイサービス 鈴木明子氏・戸村優子氏	13名
地域支援	3月15日(水) 13:30～14:45	小松ふれあいの会	小松公民館	「シナプソロジー／ひとり暮らし高齢者向けサービス紹介」 飛羽ノ園デイサービス 鈴木明子氏・中島勇一氏	22名

前年度同様、啓発事業を年間6回実施し、それに加え地域支援セミナーを1回行った。今年度は、受け入れ側の希望により、各回を通じて認知症予防の体操をテーマとして実施した。最初の2回は、健康増進課の出前講座を依頼し、理学療法士より講話と体操指導を頂いた。また3回目以降は、飛羽ノ園デイサービスセンター職員3名がシナプソロジー・インストラクターの資格を取得したため、講師としてシナプソロジーを実施してもらった。今後も、シナプソロジー教室を未実施地域で開催するとともに、新しい総合事業が始まったため、「地域包括ケアシステム」についての新設の出前講座も勧めていく。

5. 運営事業特別業務委託料請求状況

事業名	単価(円)	件数	合計金額(円)
台帳整備	3,240	57	184,680
緊急通報システム申請	3,240	10	32,400
配食サービス申請	3,240	6	19,440
日常生活ニーズ調査回収	540	0	0
啓発事業	8,100	6	48,600
合計		79	285,120

前年度合計¥364,500から¥79,380の減少がみられる。日常生活ニーズ調査が行われていないことが大きな要因である。

6. 動向と考察

- 介護保険未利用者訪問を行ったが、「万が一のため」「医者から勧められたため」申請し、サービスをまだ希望しない方がほとんどだった。中には、サービス利用をしたほうが良いと感じ勧めることもあるが、本人や家族のニーズと合わず、サービス利用になかなかつながらなかった。(例：安全な入浴や機能訓練のためデイサービスを利用したほうがよいと感じるケースで、利用を勧めたが、他者との交流を求めず、ご自宅に在ることを望まれ、デイ利用にはつながらなかった。)
- 本人や家族のニーズがあっても、介護保険での対応が難しいケースがあった。例えば、病院への送迎や付き添いサービス。同居家族がいる方の家事援助。など。
- 遠方の家族や関係が断絶している家族から、独居高齢者の見守りを依頼されるケースが数件あった。独居高齢者の増加に伴い、同様のケース増加が見込まれる。
- 未利用者訪問を行ったが、何度行っても不在なため、民生委員に問い合わせたところ、転倒骨折で入院していることが分かり、病院で入院中の対象者に面談調査を行ったが、後日、本人より「個人情報漏らされた」と苦情になってしまった。入院中の訪問などは、「だれから入院していることを聞いたのか」と気にする方もいるため、状況によって関係者からの聴取にとどめ、退院後訪問するなどの配慮が必要である。
- 独居高齢者で服薬管理ができていない疑いや認知症の疑いがある方の状況を病院に問い合わせるも、個人情報を理由に何も教えてもらえなかった。個人情報保護が社会的に厳しくなっているため、家族へのアプローチも重要となっている。
- 高齢福祉課より、定期的な見守り訪問の依頼が増えてきている。今後管理名簿等で訪問状況を把握できるようにしていく必要がある。
- 訪問時に体調の異常を見出し、救急搬送し、骨折が見つかり入院に至ったケースがあった。訪問時に対象者の体調の異変に気がつき、迅速な対応ができるように今後も努める必要がある。

7. ケース報告（平成 28 年度 主なもの）

- ① 91 歳・男性・夫婦二人暮らし・要支援 2。妻より高齢福祉課に「夫が言うことをきかない」との相談あり、実態把握のためご自宅訪問する。居間にて本人横たわり、自力では起き上がれず、立つこともできない。1 週間ほど前から急激に運動機能が低下したとのこと。
→明らかに体調がおかしいと感じ、包括及び高齢福祉課に連絡の上、妻の同意により救急搬送の依頼をする。妻だけでは病院での対応が難しい様子のため、病院に同行する。左大腿骨頭部の骨折が判明し、入院となる。土浦市に住む妻の妹に連絡し、今後の対応の協力を要請するため病院に来ていただく。
- ② 79 歳・女性・独居。庭で物を燃やすなど様子がおかしいと隣人より相談があり、コーディネーター同行で訪問する。内服薬を選んで飲んでいる、かかりつけ医が遠方のためなかなか行けない、など医療的な問題点は見つかったが、特に認知症状・精神症状の異常を見出すことはできなかった。本人曰く、亡くなったご主人の書類を処分するため庭で燃やしたとのこと。
→転倒などの恐れから引きこもりがちになっており、家族も遠方のため、定期的な見守り訪問を実施する。ご家族へのアプローチも検討中。

- ③ 91 歳・男性・親族同居・要介護 2・軽度認知症。介護保険未利用者訪問で伺う。離れで一人で生活しており、居住室の縁側から一人で庭に出ることがあるが、歩行にふらつきがあり、段差が大きいため、転倒の不安があると長男妻。介護保険で手すり付きステップのレンタルが可能であることを紹介し、利用を勧める。
→在支紹介にて居宅介護支援事業所にもつながり、レンタルサービス利用開始となる。
- ④ 83 歳・女性・日中独居。長男から介護保険申請したいとの連絡あり、訪問する。ここ 1 ヶ月ほどこたつで横になっており、排泄もこたつの中でしているとのこと。食事はできているとのこと、体調不良の訴えもない。
→担当ケアマネと再度訪問する。至急介護保険申請を行い、ショートステイ利用から入所となる。
- ⑤ 82 歳・女性・独居。長男妻から、「本人の妄想がひどくなってきているが長男妻や孫との関係も悪くなってきており、連絡を取れない」と見守り要請あり。担当地区民生委員に確認すると、「本人は元気に暮らしており、カラオケ教室にも通っている。妄想があるようには全く見えない。行って見てみてください」とのこと、民生委員と同行訪問する。妄想があるようには見えず、自立した生活をしている様子であった。
→民生委員に定期的な見守りを依頼し、何か変わった様子があれば連絡いただけるように要請する。
- ⑥ 86 歳・女性・日中独居。「留守中の知人宅に上がり込んで、干していた洋服や椅子の布を切った」との連絡が包括にあったため、同行訪問する。「知人宅に訪問することはあるが家に上がることはない。けんかはするが、仲は良くも悪くもない。」とのこと。何度も同じ話しをする。通報内容のことを行ったかは不明。
→民生委員の出入りもあるとのこと。定期見守りの対象者として後日訪問することとする。
- ⑦ 81 歳・女性・独居。本人の妹より、「姉が金相場に手を出しているようだ。お金を貸してほしいと言ってくる。詐欺ではないか」との連絡あり。
→消費者生活相談センターへ相談と警察への被害届を勧めた。また権利擁護について説明をした。メリハリのない生活、物忘れ症状も聞かれ介護保険申請も勧めた。その後コーディネーターと同行訪問し実態調査を行う。食品の賞味期限の管理ができていない様子。見守りを含め宅配を勧め、利用の意向あり。

平成 28 年度 特別養護老人ホーム憩いの里事業報告書
介護老人福祉施設・短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

【1】運営（運営方針に対する報告）

1. 介護福祉施設

平成 28 年度は（1）組織力アップ （2）すべての人が安心して利用できる職場づくり
（3）公益性の高い事業運営の 3 つの柱に基づき運営した。

「組織力アップ」に関しては行動規範の作成により、職員としてあるべき姿を構築し、同じ考えで行動できるようにと作成したが、完成することができなかつたので平成 29 年度も継続して作成していく。また、ユニット同士の連携や他職種との連携不足を感じることもあるので業務外でコミュニケーションも取れるような取り組みを実施していきたい。

「すべての人が安心して利用できる職場づくり」は入居者が快適に生活できることはもちろん職員も介護しやすい環境整備を推進した。入居者が安心して生活できる環境整備を多職種協働で考えることで転倒等のリスクを軽減する取組を実施した。また、入居者に対してや職員間の言葉遣いや立ち振る舞い等を見直し、入居者の尊厳保持を意識して援助することで入居者からの信頼がさらに強固なものとなるよう取り組むことができた。機械浴槽やトイレなど老朽化に伴い更新が必要な機器もあるので計画を立てて入居者の生活が快適かつ職員の介護負担の軽減となるよう導入していきたい。

「公益性の高い事業運営」については社会福祉法人の本来持つ役割であることを再認識することで困難事例への受け入れや地域のボランティアや実習生を積極的に受け入れることができた。また、地域への介護知識等の啓発事業は憩いの里全体としての共通認識として積極的に取り組んでいきたい。

2. 短期入所・介護予防短期入所生活介護

稼働率は 80%を超えているが、前年度よりも低くなっている。原因としては入居者の退所に伴い、長期ショートステイから入居となるケースが多く、長期ショートステイの方の延べ人数の減少である。また、新規ショートステイの利用者の継続した獲得ができなかつたことも要因である。新規利用者の獲得は今後の課題であるので利用した方やご家族からも憩いの里のショートステイを利用して良かったと思えるような援助を多職種協働で取り組んでいきたい。

3. 稼働率報告

種 別	ユニット		ショートステイ	
	27 年度	28 年度	27 年度	28 年度
年間ベッド数（最大）	25,620	25,550	3,660	3650
延べ人数	25,417	25,416	3,101	2,973
稼働率（%）	99%	99%	84%	81%

【2】事業実績（主に数値的な報告）

1. 利用者推移・実数

（1）入所者数

	入所	退所
月	ユニット	ユニット
4	2	2
5	0	0
6	2	2
7	0	0
8	3	3
9	0	0
10	2	2
11	2	2
12	0	0
1	0	0
2	2	2
3	1	1
合計数(月平均)	14(1.1)	14(1.1)
前年度合計数	23	23

（2）入所・退所経路

入所経路	ユニット	退所経路	ユニット
居宅	8	永眠	10
病院	1	病院	4
老健	0	老健	0
その他	5	居宅	0
計	14	計	14

（3）要介護度別 ※平成 29 年 3 月 31 日現在

要介護度	性別		人数計	前年度
	男	女		
1	1	0	1	2
2	2	10	12	12
3	5	13	18	15
4	7	24	31	29
5	0	8	8	12
合計	15	55	70	70
平均要介護度	3.3	3.5	3.5	3.5

(4) 年齢構成 ※平成 29 年 3 月 31 日現在

		～64 歳	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90 歳～	計
特養	男性	0	0	1	0	5	4	5	15
	女性	0	0	0	1	7	12	35	55
合計		0	0	1	1	12	16	40	70
前年度		0	0	2	2	15	19	32	70

(5) 入所者要介護度別利用状況

①特養

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数	1	14	17	30	9	71
	延人数	30	420	510	865	259	2,084
5	実人数	1	14	16	31	8	70
	延人数	31	434	496	961	248	2,170
6	実人数	1	14	17	32	8	72
	延人数	30	416	510	899	240	2,095
7	実人数	0	14	17	31	8	70
	延人数	0	434	527	940	248	2,149
8	実人数	0	14	17	34	8	73
	延人数	0	398	527	967	248	2,140
9	実人数	0	13	17	31	9	70
	延人数	0	389	510	930	270	2,099
10	実人数	0	14	16	33	9	72
	延人数	0	434	496	956	279	2,165
11	実人数	1	13	16	32	10	72
	延人数	29	390	480	945	255	2,099
12	実人数	1	12	16	33	8	70
	延人数	31	372	496	1,009	248	2,156
1	実人数	1	12	16	33	8	70
	延人数	31	360	496	1,023	248	2,158
2	実人数	1	12	18	33	8	72
	延人数	28	336	437	916	224	1,941
3	実人数	1	12	18	32	8	71
	延人数	31	362	555	964	248	2,160

《考察》

ベッドの空きがでないよう退所翌日の新規入所を心がけ、空床になることはなかった。しかし入所申込者数が伸びず、現状を考えると、今後空床になることも予想される。今後は地域施設とも情報交換をし、入所申込者数の増加を目指していく。

(6) 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

月	要介護度	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合 計
4	実人数	0	0	5	7	4	4	1	21
	延人数	0	0	46	44	56	90	5	241
5	実人数	0	1	4	4	4	5	1	19
	延人数	0	3	56	53	35	90	8	245
6	実人数	0	0	4	6	6	6	0	22
	延人数	0	0	10	55	48	133	0	246
7	実人数	0	0	5	5	4	7	0	21
	延人数	0	0	25	53	33	165	0	276
8	実人数	0	0	3	3	4	7	0	17
	延人数	0	0	9	52	37	162	0	260
9	実人数	0	0	1	4	4	6	0	15
	延人数	0	0	4	55	52	134	0	245
10	実人数	0	0	3	4	7	7	0	21
	延人数	0	0	24	52	65	83	0	224
11	実人数	0	0	2	4	5	5	0	16
	延人数	0	0	4	46	105	84	0	239
12	実人数	0	0	2	5	7	5	0	19
	延人数	0	0	7	58	106	93	0	264
1	実人数	0	1	1	5	7	5	1	20
	延人数	0	2	3	35	124	86	5	255
2	実人数	0	0	2	3	6	5	1	17
	延人数	0	0	14	10	114	80	8	226
3	実人数	0	0	0	5	4	8	1	18
	延人数	0	0	0	39	71	133	9	252
28年度	実人数	0	2	32	55	62	70	5	226
	延人数	0	5	202	552	846	1,333	35	2,973
27年度	実人数	0	0	15	49	84	60	19	227
	延人数	0	0	127	626	989	1,125	234	3,101

《考察》

ショートステイ利用者数は前年度と変わらず7割で推移した。ロングでのショートステイ依頼は多くあったが、短期間での利用依頼は伸び悩んだ。ショートステイ利用から特養入所申込へと移行することが多いので、デイサービス、支援センター憩いの里、地域事業所とも連携し、利用者の確保を目指していく。

【3】重点目標：「個々の生活・24時間」を知る

ユニットケアの基本である個々の生活を把握し、その方に合った介護を提供できるように24時間シートを活用することを全職員の共通認識として運営した。24時間シートを作成することで協力ユニット職員や異動してきた職員が同一の援助を継続することにより入居者の方が安心して生活ができるように、またユニットケア研修に参加したことが無い職員にも分かりやすいように勉強会を開催した。

《考察》

24時間シートを入居者一人ひとり作成はしてあるが、状態変化があってもなかなか更新がスムーズに行うことができなかつたユニットがあつた。勉強会により入居者個々の日々の状況把握や要望等を考慮して援助する事の重要性を認識することはできたが24時間シートの更新の必要性やタイミングなど不明確であることがあつたので、今後は施設ケアマネと定期的なカンファレンスを開催することで入居者の状態変化をタイムリーに把握し、適時更新をすることでユニットの職員が同じ目標を持ち、介護の質が下がらないような対応をしていく必要性を感じた。

4. 介護職員反省

(1) 主任

飯村 和也	特養全体としての方向性が示せず、ユニットそれぞれの意向・活動となつてしまつた。多職種が連携しサービスが提供できるよう環境整備する必要があつた。
知念 光子	育児休暇中

(2) ユニット別目標

あ じ さ い	ショートステイユニットとして本人、家族の要望に応えられるよう、コミュニケーションを図りながらの支援に努めた。ユニット内でも楽しみのある生活が送れるよう、おやつ作りやレクリエーション活動を工夫しながら行つた。	
	ユニットリーダー 知念 光子	育児休暇中
	ユニットリーダー 廣瀬 巧	利用者様の訴えや話を傾聴し、安心して利用して頂けるように気配りをしながら業務を行つた。
	山本 尚	報告、連絡、相談が不足してしまい、利用者様のニーズに対応出来ない事があつた。
	石川 朋子	利用者様との関わりをもつように心がけ、体調の変化に気付くことができた。
	國府田 洋子	ユニットから出て散歩したり、おしぼりたたみや職員のお手伝いをしていただいたりして過ごして頂くことが出来た。
	山崎 寿史	入浴やトイレ介助等に関しては向上出来た。 自己管理をしっかりしてケガをしないように努めるべきだつた。

りんどう	入居者が快適に過ごせる環境の場を清潔に保つことが出来、その方にあった居室にしたりと対応を変えることが出来た。ユニット内・居室内と掃除を徹底し、今後も清潔に保ちたい。自立支援では、ユニット内で体操を行う回数が少なかったと感じるので10分から15分でも良いので行っていきたい。	
	ユニットリーダー 糸井 忍	自身に余裕がなく細かな部分まで配慮が行き届かなかったことが多かった。入居者様の意見に耳を傾け、ケアしていきたい。
	栗原 由紀子	協力ユニット間での情報交換と、話し合いの場を増やしより統一したケアが出来るようにしたい。
	中島 隆	利用者家族の立場なり分かりやすく利用者様の状態を伝えられるようにしていきたい。
	野口 恵美子	H29年2月1日入職

つつじ	「生活の場」としてもう少し、清潔保持に力を入れていく必要があった。個々の生活がイキイキするような工夫という点では、もっと時間を作って工夫していかなければならなかった。	
	ユニットリーダー 飯村 和也	個人に適した介護の提供を目指したが、職員によってケアの方法に違いが出てしまった。もっと情報収集と情報共有をするべきだった。
	大岡 幸江	ケアマネジャー資格取得を目指したが目標を達成できなかった。今年度も再チャレンジしたい。
	飯村 由紀	入居者様個々に合わせるケアは日頃から心がけてきた。身体状況、ADL状況に変化あった際は、リーダー始め医務室とも連携できた。快適な空間作りではあまり工夫できなかった。清潔保持するだけで精一杯になってしまった。もっと入居者様の立場になって考えることが出来ればよかった。
	佐藤 健人	入居者様一人一人と向き合うことで信頼関係の維持と笑顔を増やすことが出来たが、知識と技術が不足していると感じたので改善していく。

カンナ	事業計画にある年間予定通りに、ユニット行事を行えた。行事の際は、入居者様の喜んでいる姿が多く見られた。業務主体ではなく、利用者様一人一人にあった個別ケアの方法をユニットで考え実践していきたい。	
	ユニットリーダー 坂本 卓巳	月間スケジュールを立てたが勤務の都合上、スケジュール通りとは行かないこともあった。入居者様の表情、様子を常に観察し、おかしいと感じた際は医務室、他ユニット職員と協力することが出来た。
	吉川 美樹	1人であったりして業務が忙しい時など、笑顔でいられなかつたこともあった。利用者視点で行動するよう意識して行えたと思う。
	江端 弘美	行事起案を多く立て、外食や買い物などで気分転換していただき楽しかったとの声を聞けました。外食や買い物だといつも行くメンバーが同じになってしまうことが多かったので、なるべくまんべんなく、全員が外食や買い物に出かけられるようにする。
	藤田 祐司	入居者様の声に応えることは出来たと思う。優先順位をしっかりと考え行動できるようにしていきたい。

ひまわり	個別機能訓練を実施すると目標に掲げてきたが、個人の対応をするのは時間が作れず、継続的に出来なかったが、ユニット内で体操を実施したり塗り絵をしていただいた。出来る方には計算問題を行っていただいたりと、いろいろなことを試してきた。好評であったことは今も継続している。今後も引き続き楽しくできて達成感を得られるリハビリを全員で取り組んで行きたい。	
	ユニットリーダー 本多 慧希	自分が思っている考え方を他人に伝えるのは難しいことを実感した。大まかな方向は示せたと感じているが、今後も引き続き考えて行きたい。
	中川 愛	入居者様の体調不良もあり、他職種とも連携をとり、状態に合った介助をできたと思う。また訴えなどに傾聴し、それに見合った生活ができるよう努めた。
	松尾 裕太	利用者の表情や体調の変化には適切な対応が出来たと思うが、焦って仕事をしている事が多くあったと思い、気づいていないことがまだまだあると思った。また情報をユニットだけではなく、他部署とも共有して連携を密にとっていきたい。
	来栖 和明	入居者様とコミュニケーションを図りながら、色々な声が聞かれ信頼関係が築けた。今後も入居者様の要望にできるだけ応え、安心して楽しく過ごして頂けるような介護支援ができるよう心がけていきたいと思う。
	来栖 ひろみ	レクリエーションについては誕生会・おやつ作り・四季を感じられる壁紙作りなど、利用者様にも協力して頂き、実行することができたと思う。体操については、以前のようにみんなで行うことは難しくなっているため、OT の先生方のアドバイスを頂きながら、個々にあったリハビリを兼ねながら行いたい。

ばら	情報を共有し「報・連・相」を密に行うことを目標にしていたが、引継ぎの際の情報共有が不十分な点が見られた。今後は職員間で意識してコミュニケーションをとり、情報の共有を行うと共に、統一したケアを実施できるよう努める。	
	ユニットリーダー 奥河 友司	入居者様一人ひとりに適したケアは実施できたが、記録の記入漏れがたびたび見られた為、意識し、確認を怠らないよう業務にあたる。
	高野 知世	一人一人の ADL 状況を把握出来たと思うが、ケアの提供部分において個別ケアにつながらなかった。もっと広い視野を持ち、一人ひとりに対し、ゆっくりケアに当たらなければならない。
	福田 泰広	個別ケア、集団ケアの利点を活かすケアに努めてきたつもりであったが、ユニットを異動したことで、ケアもその場限りのケアに終わってしまうことがおこった。場に応じたバランスの良いケアをしていきたい。
	大杉 亮太	傾聴に努めてきた結果、利用者様からも話しかけられる事が増えてきた。今後、更に安心や快適さを提供し、穏やかに過ごせるよう努めていく。
	木下 久美子	利用者様が日々の生活が楽しめるよう、レクリエーションや行事などの提案や計画をたてることが出来なかった。自己研鑽し、個々にあったケアを積極的に取り入れて行きたい。

す い せ ん	ユニット目標である「個」を尊重するというに着目し、一人一人に見合った介護を提供することができた。ユニットケアを提供するにあたって、ユニット職員で提案、検討、実施、評価を繰り返し、入居者様に提供するケアの統一を心掛けた。それらの実施によって職員間での報・連・相の統一性もユニットの特色として位置づけられた。	
	ユニットリーダー 海老沢 秀樹	入居者様の訴えを尊重し、入居者様が今まで生活してきたリズムの情報を本人やご家族から聞き出し、その方にあった生活を支援することができた。今後も入居者様が暮らしの継続が送れるよう、ユニットケアを学び、支援していく。
	栗原 清美	個々に適したケアを提供できるよう、その都度ユニット間で検討・実施できた。報・連・相が不足していた為か、ユニット間での統一が難しかったと思う。
	高野 直子	家庭的な雰囲気には、ユニット内工夫することが出来なかったが、時間ある時には話しかけ、楽しく談笑できた。情報交換は難しく感じた。
	西川 和宏	ニーズに答えるよう、移乗時、各利用者様の可動域を思案して対応を心がけ、何人かの対象者の日頃の活動を考慮して対応した。今後もユニットケアを学び、対応を継続していく。

コ ス モ ス	事業計画目標は半分程度達成できた。ユニット内での連携が上手く取れなかったように思う。アセスメント・実践・評価を繰り返し、事故を最小限で介護を行えた。スタッフ一人一人ユニット内での体操や歩行訓練を積極的に行えたので、継続していく。	
	ユニットリーダー 齋藤 正博	入居者の対応については、待たせてしまうことがあったが、常に優先順位を念頭に入れ、業務遂行することができた。ユニットリーダーとして1年目で余裕が無かったため、入居者様とのコミュニケーションが少なかった。介護においてはコミュニケーションは基本なので、大切にしていきたい。
	横山 湧	積極的にユニット内の体操、歩行訓練を行うことができ、利用者の身体機能の維持に努めることができた。 多忙の際、基礎的な介護を忘れてしまうことがあったので、多忙でも基礎を毎日心がけて行う。
	小袖 唯	入居者様一人一人の性格や好みを、本人との会話や家族との会話で知ることができ、ケアに取り入れることを実行した。報・連・相、申し送り帳を活用し、しっかり行うことが出来たと思う。
	辻村 富美子	入居者様と日々笑顔で仕事ができる。スムーズに業務をこなすことが出来た。情報共有に関しては、少したりない部分もあったので、今後頑張っていきたい。

(3) ユニット行事

①あじさい

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	ボランティア団体名	計
4月6日	花見	北条大池	3	3	0		6
4月6日	花見	高岡保育園	3	2	0		5
4月17日	工作クラブ	デイルーム	3	1	0		4
4月18日	歌・踊りボランティア	デイルーム	3	1	0		4
4月24日	桜祭り	地域交流スペース	5	2	0		7
4月27日	レククラブ	陽だまりサロン	2	1	0		3

4月29日	フラダンス見学	地域交流スペース	4	0	0	4
5月8日	書道クラブ	デイルーム	2	1	0	3
5月8日	母の日会	あじさいユニット	8	3	0	11
5月15日	おやつ作り	あじさいユニット	8	1	0	9
5月29日	さつき展見学	さんあびお	7	0	0	7
6月19日	利用者誕生会	あじさいユニット	8	3	0	11
6月28日	新治幼稚園児来園	地域交流スペース	1	0	0	1
7月2日	華道クラブ	デイルーム	1	1	0	2
7月10日	書道クラブ	デイルーム	1	1	0	2
7月17日	レククラブ	デイルーム	2	0	0	2
7月27日	利用者誕生会	あじさいユニット	6	2	0	8
7月31日	納涼祭	地域交流スペース	10	5	0	15
8月8日	社交ダンス	地域交流スペース	3	1	0	4
8月26日	すいか割り	あじさいユニット	9	2	0	11
9月17日	華道クラブ	陽だまりサロン	1	1	0	2
9月18日	敬老祝賀会	地域交流スペース	9	2	0	11
9月26日	マジックショー	地域交流スペース	5	1	0	6
9月27日	フラダンス見学	地域交流スペース	4	1	0	5
9月28日	よさこい飛翔	地域交流スペース	3	1	0	4
9月29日	歌・演奏ボランティア	地域交流スペース	1	1	0	2
9月30日	大正琴ボランティア	地域交流スペース	2	1	0	3
10月12日	土浦語り部	地域交流スペース	3	1	0	4
10月16日	工作クラブ	地域交流スペース	2	1	0	3
10月23日	書道クラブ	地域交流スペース	2	0	0	2
11月15日	利用者誕生会	あじさいユニット	8	2	0	10
11月19日	園芸クラブ	陽だまりサロン	2	1	0	3
11月23日	寿司バイキング	地域交流スペース	9	3	0	12
12月18日	クリスマス会	地域交流スペース	7	4	0	11
12月28日	もちつき	地域交流スペース	10	2	0	12
1月3日	正月式	地域交流スペース	8	2	0	10
1月29日	書道クラブ	地域交流スペース	1	1	0	2
2月4日	節分豆まき	あじさいユニット	9	2	0	11
2月15日	語り部	地域交流スペース	1	0	0	1
3月18日	ドライブ	市内	2	0	0	2
3月22日	花見・ドライブ	市内	1	0	0	1
3月30日	買い物・ドライブ	さんあびお	1	1	0	2

②りんどう

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	ボランティア団体名	計
4月18日	歌・踊りボランティア	地域交流スペース	4	10	0		14
4月17日	ユニットラーメン作り	りんどうユニット	7	3	0		10
4月17日	工作クラブ	各フロアー	3	4	0		7
4月20日	いこいカフェ	ひだまりサロン	3	0	0		3
4月24日	そば会	地域交流スペース	6	1	0		7
4月27日	風船バレー	ひだまりサロン	2	1	0		3
4月29日	フラダンス	地域交流スペース	10	2	0		12
5月8日	母の日会	りんどうユニット	10	2	0		12
5月25日	日帰り旅行	那須	3	2	0		5
5月25日	セレクト食	りんどうユニット	7	0	0		7
6月22日	バーベキュー	りんどう・つつじ中庭	8	3	0		11
6月28日	幼稚園慰問	地域交流スペース	2	1	0		3
7月17日	レクリエーション	地域交流スペース	3	3	0		6
7月29日	誕生会	りんどう	10	2	0		12
8月8日	社交ダンス	地域交流スペース	7	1	0		8
8月14日	かき氷	りんどう	10	2	0		12
8月17日	レクリエーション	ひだまりサロン	3	1	0		4
8月21日	工作クラブ	地域交流スペース	2	0	0		2
8月24日	すいか割り	りんどう	9	4	0		13
9月4日	カラオケ	かななユニット	5	1	0		6
9月18日	敬老祝賀会	地域交流スペース	10	4	0		14
9月28日	秋刀魚焼き	つつじユニット	10	2	0		12
9月29日	歌ボランティア	地域交流スペース	6	1	0		7
10月9日	カラオケ	かななユニット	7	1	0		8
10月23日	ドライブ	土浦市内	8	2	0		10
10月26日	外出	わんわんランド	2	2	0		4
11月6日	カラオケ	かななユニット	4	1	0		5
11月16日	焼き芋	談話コーナー	10	2	0		12
11月19日	華道クラブ	ひだまりサロン	2	1	0		3
11月23日	寿司バイキング	地域交流スペース	10	2	0		12
11月27日	レクリエーション	地域交流スペース	1	1	0		2
11月27日	誕生会	りんどうユニット	10	2	0		12
12月18日	クリスマス会	地域交流スペース	10	2	0		12
12月24日	誕生会	りんどうユニット	9	2	0		11
12月28日	餅つき	地域交流スペース	10	2	0		12
1月4日	正月式	地域交流スペース	10	1	0		11
2月4日	豆まき	りんどうユニット	10	1	0		11
3月3日	ひな祭り	りんどうユニット	10	2	0		12

③つつじ

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	ボランティア団体名	計
4月4日	花見	高岡保育園	3	1	0		4
4月6日	花見	高岡保育園	2	2	0		4
4月17日	工作クラブ	地域交流スペース	2	0	0		2
4月20日	憩いカフェ	陽だまりサロン	2	1	0		3
4月24日	蕎麦ボランティア	地域交流スペース	10	4	0		14
4月27日	レククラブ	陽だまりサロン	2	0	0		2
4月29日	フラダンス見学	地域交流スペース	6	0	0		6
5月1日	園芸クラブ	駐車場	3	1	0		4
5月8日	母の日会	つつじユニット	9	3	0		12
5月8日	書道クラブ	デイルーム	2	1	0		3
5月10日	ドライブ	フラワーパーク	3	2	0		5
5月25日	日帰り旅行	那須	1	2	0		3
6月17日	買い物	さんあびお	3	3	0		6
6月19日	父の日会	つつじユニット	10	2	0		12
6月22日	バーベキュー	中庭	5	3	0		8
6月28日	幼稚園児来園	地域交流スペース	4	0	0		4
7月10日	書道クラブ	デイルーム	1	0	0		1
7月21日	入居者誕生会	つつじユニット	10	2	0		12
7月25日	流しそうめん	カンナユニット	2	1	0		3
7月31日	納涼祭	地域交流スペース	10	4	0		14
8月8日	社交ダンス見学	地域交流スペース	3	1	0		4
8月10日	憩いカフェ	陽だまりサロン	2	1	0		3
8月21日	工作クラブ	地域交流スペース	2	1	0		3
8月24日	ピアガーデン	陽だまりサロン	2	1	0		3
9月4日	花火	駐車場	10	1	0		11
9月17日	華道クラブ	陽だまりサロン	1	1	0		2
9月18日	敬老会	つつじユニット	10	3	0		13
9月28日	秋刀魚焼き	カンナユニット	10	8	0		18
10月22日	スイートポテト作り	カンナユニット	7	3	0		10
10月23日	ドライブ	朝日トンネル	3	1	0		4
10月25日	入居者誕生会	つつじユニット	8	3	0		11
10月30日	レククラブ	地域交流スペース	2	1	0		3
10月23日	書道クラブ	デイルーム	1	0	0		1
11月6日	華道クラブ	陽だまりサロン	2	0	0		2
11月19日	園芸クラブ	2Fベランダ	2	0	0		2
12月18日	クリスマス会	地域交流スペース	10	4	0		14
12月28日	もちつき	地域交流スペース	10	2	0		12
1月4日	正月式	地域交流スペース	10	2	0		12
2月4日	豆まき	つつじユニット	10	0	0		10

3月3日	ひなまつり	カンナユニット	10	1	0		11
------	-------	---------	----	---	---	--	----

④カンナ

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	ボランティア団体名	計
4月6日	花見ドライブ	新川沿い	4	2	0		6
4月27日	外食	イオン	4	4	0		8
5月8日	母の日会	かなユニット	10	2	0		12
5月22日	おやつ作り	かなユニット	10	2	0		12
6月19日	父の日会	かなユニット	10	2	0		12
6月28日	外食	土浦市内	4	5	0		9
6月28日	出前食	かなユニット	6	2	0		8
7月25日	流しそうめん	かなユニット	10	5	0		15
7月27日	すいか割り	かなユニット	10	3	0		13
8月24日	誕生会	かなユニット	9	3	0		12
9月15日	お月見団子作り	かなユニット	9	3	0		12
9月25日	おはぎ作り	かなユニット	10	2	0		12
10月22日	スイーツポテト作り	かなユニット	10	4	0		14
10月28日	外食会	土浦市内	4	4	0		8
11月9日	誕生会	かなユニット	10	3	0		13
11月17日	紅葉ドライブ	土浦市内	5	3	0		8
12月20日	焼き芋	かなユニット	10	2	0		12
1月22日	おしるこ作り	かなユニット	10	5	0		15
1月28日	甘酒	かなユニット	10	5	0		15
2月24日	誕生会	かなユニット	10	3	0		13
3月3日	ひな祭り	かなユニット	10	2	0		12
3月26日	誕生会	かなユニット	10	2	0		12

⑤ひまわり

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	ボランティア団体名	計
4月12日	花見ドライブ		1	1	0		2
5月18日	誕生会	ひまわりユニット	10	3	0		13
5月25日	日帰り旅行	那須	1	1	0		2
6月1日	工作	ひまわりユニット	9	2	0		11
6月27日	アイスクリーム	2F談話コーナー	9	2	0		11
6月29日	誕生会	ひまわりユニット	10	3	0		13
6月29日	高岡保育園児来園	地域交流スペース	2	0	0		2
7月13日	誕生会	ひまわりユニット	10	2	0		12
7月17日	華道クラブ	陽だまりサロン	1	0	0		1
7月31日	納涼祭	地域交流スペース	10	5	0		15
8月8日	社交ダンス	地域交流スペース	1	0	0		1
8月10日	憩いカフェ	陽だまりサロン	2	1	0		2
8月11日	小町の里外出	土浦市内	1	1	0		2
8月21日	工作クラブ	地域交流スペース	2	1	0		3

8月24日	ピアガーデン	陽だまりサロン	2	0	0		2
8月31日	すいかわり	陽だまりサロン	3	1	0		4
9月26日	手品ボランティア	地域交流スペース	2	1	0		3
9月28日	よさこい飛翔	地域交流スペース	1	0	0		1
9月30日	誕生会	ひまわりユニット	10	3	0		13
10月12日	読み聞かせボランティア	地域交流スペース	1	1	0		2
10月16日	もみじ作り	ひまわりユニット	3	1	0		4
10月23日	書道クラブ	地域交流スペース	2	0	0		2
10月31日	誕生会	ひまわりユニット	10	2	0		12
11月5日	華道クラブ	陽だまりサロン	1	1	0		2
11月19日	チューリップ植え	2Fベランダ	5	1	0		6
11月23日	誕生会	ひまわりユニット	10	3	0		13
11月30日	憩いカフェ	陽だまりサロン	2	0	0		2
12月14日	クリスマス会	ひまわりユニット	10	4	0		14
12月18日	クリスマス会	地域交流スペース	10	2	0		12
12月28日	もちつき会	地域交流スペース	5	2	0		7
1月3日	正月式	地域交流スペース	5	2	0		7
1月25日	初詣	藤沢八坂神社	3	3	0		6
1月29日	書道クラブ	地域交流スペース	2	0	0		2
2月4日	豆まき	ひまわりユニット	8	2	0		10
2月15日	紙芝居	地域交流スペース	3	1	0		4
3月22日	誕生会	ひまわりユニット	8	3	0		11

⑥ばら

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	ボランティア団体名	計
4月6日	花見	高岡保育園	6	2	0		8
4月13日	チューリップ鑑賞	水郷公園	4	4	0		8
4月17日	工作クラブ	地域交流スペース	3	1	0		4
4月20日	入居者誕生会	ばらユニット	10	3	0		13
4月24日	蕎麦ボランティア	地域交流スペース	8	1	1	蕎麦打ボランティア	18
4月27日	風船バレー	陽だまりサロン	2	0	0		2
4月29日	フラダンス鑑賞	地域交流スペース	6	1	0	フラダンス	15
5月8日	母の日会	ばらユニット	10	1	0		11
5月25日	日帰り旅行	那須	2	2	0		4
5月29日	レククラブ	地域交流スペース	2	0	0		2
5月31日	入居者誕生会	ばらユニット	8	3	0		11
6月11日	市内ドライブ	小貝川～大池	5	3	0		8
6月20日	父の日会	陽だまりサロン	10	2	0		12
6月26日	入居者誕生会	ばらユニット	10	2	5		12
6月28日	幼稚園児来園	地域交流スペース	5	1	0	新治幼稚園	6
7月2日	華道クラブ	陽だまりサロン	1	1	0		2
7月10日	書道クラブ	地域交流スペース	1	0	0		1

7月17日	レククラブ	地域交流スペース	2	0	0		2	
7月24日	山車見学	玄関先	9	0	0	常陸藤澤 霞会	9	
8月8日	社交ダンス見学	地域交流スペース	7	1	0		8	
8月10日	憩いカフェ	地域交流スペース	2	1	0		3	
8月17日	レククラブ	陽だまりサロン	8	0	0		8	
8月21日	工作クラブ	陽だまりサロン	2	1	0		3	
8月31日	スイカ割り	ばらユニット	9	2	0		11	
9月17日	華道クラブ	地域交流スペース	1	1	0		2	
9月18日	敬老会	地域交流スペース	10	4	3		17	
9月25日	お月見会	ばらユニット	10	2	0		12	
9月26日	マジック見学	地域交流スペース	8	2	0		新治マジッククラブ	10
9月27日	フラダンス見学	地域交流スペース	4	1	0		ナニフラ	5
9月28日	よさこい見学	地域交流スペース	8	1	0	よさこい飛翔	17	
9月29日	歌と演奏	地域交流スペース	8	1	0	グリーンフォー	12	
9月30日	大正琴演奏	地域交流スペース	9	2	1	スイトピー	19	
10月12日	紙芝居	地域交流スペース	5	1	0		6	
10月13日	入居者誕生会	地域交流スペース	10	3	0		13	
10月16日	工作クラブ	地域交流スペース	2	0	0		2	
10月23日	書道クラブ	地域交流スペース	1	0	0		1	
10月30日	レククラブ	地域交流スペース	3	1	0		4	
11月5日	華道クラブ	地域交流スペース	2	0	0		2	
11月25日	入居者誕生会	ばらユニット	10	3	0		13	
11月30日	憩いカフェ	陽だまりサロン	2	0	0		2	
12月18日	クリスマス会	地域交流スペース	10	3	4		17	
12月28日	もちつき	地域交流スペース	10	1	0		11	
1月3日	正月式	地域交流スペース	7	1	0		8	
1月29日	書道クラブ	地域交流スペース	1	0	0		1	
1月31日	入居者誕生会	ばらユニット	10	2	0		12	
2月4日	節分	ばらユニット	10	1	0		11	
3月19日	入居者誕生会	ばらユニット	10	2	0		12	
3月29日	入居者誕生会	ばらユニット	10	2	0		12	

⑦すいせん

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	ボランティア団体名	計
4月6日	花見	高岡保育園	9	2	0		11
4月17日	工作クラブ	陽だまりサロン	2	1	0		3
4月18日	よさこい踊り	地域交流	2	0	0		2
4月20日	憩いカフェ	陽だまりサロン	2	1	0		3
4月24日	そばボランティア	地域交流スペース	9	2	0		11
5月5日	菖蒲湯	すいせん浴室	3	1	0		4
5月6日	菖蒲湯	すいせん浴室	3	1	0		4
5月8日	母の日会	すいせんユニット	8	3	0		11

5月8日	書道クラブ	地域交流スペース	2	1	0	3
5月25日	日帰り旅行	那須塩原	2	2	0	4
5月25日	セレクト食	すいせんユニット	5	2	0	7
6月1日	カレー作り	2Fテラス	10	3	0	13
6月11日	ドライブ	市内	5	3	0	8
6月19日	父の日会	すいせんユニット	2	2	0	4
6月26日	リクエスト献立	すいせんユニット	7	2	0	9
6月27日	アイスバイキング	陽だまりサロン	10	2	0	12
6月28日	慰問ボランティア	地域交流スペース	4	1	0	5
7月2日	華道クラブ	陽だまりサロン	1	0	0	1
7月10日	流しそうめん	コスモスユニット	13	7	0	20
7月10日	書道クラブ	陽だまりサロン	2	1	0	3
7月15日	中華バイキング	コスモスユニット	7	4	0	11
7月24日	山車見学	駐車場	8	2	0	10
7月31日	納涼祭	地域交流スペース	9	3	0	12
8月10日	憩いカフェ	陽だまりサロン	2	1	0	3
8月11日	すいか割り	すいせんユニット	9	4	0	13
8月14日	かき氷	2F談話コーナー	8	1	0	9
8月21日	工作クラブ	地域交流スペース	2	1	0	3
8月24日	ピアガーデン	陽だまりサロン	2	1	0	3
8月25日	リクエスト献立	すいせんユニット	8	4	0	12
9月11日	居酒屋	陽だまりサロン	10	3	0	13
9月11日	花火	2Fベランダ	10	4	0	14
9月17日	華道クラブ	陽だまりサロン	1	1	0	2
9月18日	敬老会	地域交流スペース	10	2	0	12
9月27日	フラダンスボラ	地域交流スペース	1	0	0	1
9月28日	よさこいダンス	地域交流スペース	4	0	0	4
9月30日	大正琴ボラ	地域交流スペース	2	0	0	2
10月12日	ポーリング	すいせんユニット	10	2	0	12
10月16日	工作クラブ	地域交流スペース	1	1	0	2
10月23日	書道クラブ	地域交流スペース	1	1	0	2
10月27日	おやつ作り	すいせんユニット	8	2	0	10
11月23日	園芸クラブ	陽だまりサロン	2	0	0	2
11月23日	寿司バイキング	すいせんユニット	9	1	0	10
11月27日	誕生会	すいせんユニット	9	3	0	12
11月30日	憩いカフェ	陽だまりサロン	2	1	0	3
12月18日	クリスマス会	地域交流スペース	10	2	0	12
12月21日	誕生会	すいせんユニット	9	3	0	12
12月26日	リクエスト献立	すいせんユニット	8	2	0	10
12月28日	もちつき	地域交流スペース	10	2	0	12
1月3日	正月式	地域交流スペース	10	2	0	12

1月27日	誕生会	陽だまりサロン	2	1	0		3
1月29日	書道クラブ	地域交流スペース	2	1	0		3
1月31日	甘味ドライブ	土浦市内	3	3	0		6
2月4日	豆まき	すいせんユニット	10	2	0		12
2月26日	誕生会	すいせんユニット	10	2	0		12
3月11日	そば会	農協	1	1	0		2
3月23日	出前食	すいせんユニット	10	2	0		12

⑧コスモス

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	ボランティア団体名	計	
4月6日	花見	高岡保育園	9	2	0		11	
4月17日	工作クラブ	陽だまりサロン	2	0	0		2	
4月18日	踊りボランティア	地域交流スペース	3	1	0		12	
4月20日	入居者誕生会	コスモスユニット	10	3	0		13	
4月24日	蕎麦ボランティア	地域交流スペース	10	2	0		12	
4月29日	踊りボランティア	地域交流スペース	1	1	0		2	
5月8日	書道クラブ	地域交流スペース	2	1	0		3	
5月14日	焼きそば作り	コスモスユニット	10	3	0		13	
5月25日	日帰り旅行	那須	3	1	0		4	
5月25日	セレクト食	コスモスユニット	5	2	0		7	
5月29日	レククラブ	地域交流スペース	2	2	0		4	
6月5日	入居者誕生会	コスモスユニット	10	2	0		12	
6月5日	母の日会	コスモスユニット	10	2	0		12	
6月25日	外出	土浦イオン	2	3	0		5	
7月10日	流しそうめん	コスモスユニット	8	10	0		18	
7月10日	入居者誕生会	コスモスユニット	9	3	0		12	
7月10日	書道クラブ	地域交流スペース	1	4	0		5	
7月17日	レククラブ	地域交流スペース	1	1	0		2	
7月24日	山車見学	地域交流スペース	8	2	0		常陸藤澤・霞会	10
7月31日	納涼祭	地域交流スペース	10	5	0			15
8月8日	社交ダンス	地域交流スペース	2	1	0			3
8月11日	すいか割り	すいせんユニット	9	2	0			11
8月17日	レククラブ	陽だまりサロン	7	1	0			8
8月20日	工作クラブ	地域交流スペース	7	3	0	10		
8月22日	パフェ作り	コスモスユニット	10	4	0	14		
8月22日	バーベキュー	コスモスユニット	10	4	0	14		
9月26日	秋刀魚・月見会	コスモスユニット	10	4	0	14		
10月11日	秋の運動会	コスモスユニット	10	3	0	13		
10月16日	工作クラブ	陽だまりサロン	10	2	0	12		
10月30日	レククラブ	地域交流スペース	2	0	0	2		
11月6日	紅葉クラブ	市内	5	2	0	7		
11月9日	焼き芋作り	コスモスユニット	10	3	0	13		

11月27日	レククラブ	地域交流スペース	3	1	0		4
12月18日	クリスマス会	地域交流スペース	10	2	0		12
12月27日	忘年会	コスモスユニット	10	3	0		13
12月28日	もちつき	地域交流スペース	10	3	0		13
1月3日	正月式	地域交流スペース	10	2	0		12
1月30日	入居者誕生会	コスモスユニット	10	4	0		14
2月4日	豆まき	コスモスユニット	10	2	0		12
2月26日	入居者誕生会	コスモスユニット	9	3	0		12
3月22日	入居者誕生会	コスモスユニット	9	3	0		12

5. 医務

(1) 看護職員反省

矢島 京子	インフルエンザの蔓延。徹底した感染対策が遅かった。
黒田 幸恵	医務での情報の共有が出来ていなかった。
栗原 まさ江	伝達や連携が不十分で単純ミスをしてしまうことがあった為、今後は報連相に努めていく。
勝城 美枝子	他職種との連携をしミスのないように心がけましたがコミュニケーション不足もありました。今コミュニケーションを密にし意思疎通を図り連携していきたいです。
村野 いづみ	週3回の勤務なので情報不足を感じる事があったので医務室内だけでなく多職種とのコミュニケーションを図り情報収集し、看護業務を行っていききたいと思います。
大部 多恵子	H28年12月1日非常勤として入職

(2) MMSE 実施状況

※30点満点中20点以下は認知症の可能性が高いと言われている（診断結果は参考）

①特養

年齢	性別	点数							計
		0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	
~64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65~69	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70~74	男	1	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
80~84	男	0	0	3	1	0	0	0	4
	女	0	1	1	3	1	1	0	7
85~89	男	0	0	0	0	2	0	0	2
	女	1	1	1	3	3	3	3	15
90~95	男	0	0	1	0	1	0	0	2
	女	2	3	4	6	3	4	2	24
96~	男	0	0	0	0	1	0	0	1

	女	2	0	5	1	1	2	0	11
計		6	5	15	14	12	10	6	68

(3) 日常生活状況 (ADL の状況) ※平成 29 年 3 月 31 日現在

①あじさい

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	4	1	1	1	4	1	0	5	1	0	5	1
前年度	6	2	0	2	6	0	6	1	1	1	5	2
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	1	4	1	5	0	1	2	2	0	0	2	1
前年度	0	2	0	7	1	0	3	3	0	0	2	0

②りんどう

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	5	4	1	3	5	2	0	6	4	4	3	2
前年度	8	1	1	3	5	2	0	7	3	4	3	3
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	4	3	3	5	3	2	5	1	0	0	1	3
前年度	4	3	3	7	2	1	4	3	0	0	1	2

③つつじ

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	5	5	0	3	2	5	0	3	7	3	4	3
前年度	7	3	0	1	7	2	0	7	3	1	6	3
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	3	2	5	5	0	5	1	0	0	5	0	4
前年度	3	5	2	5	4	1	0	4	0	4	2	4

④カンナ

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	6	4	1	5	5	0	3	7	0	4	6	0
前年度	9	1	0	5	2	3	0	9	1	5	4	1
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	2	4	0	7	3	0	4	1	0	3	1	1
前年度	5	4	1	6	2	2	4	1	0	2	1	2

⑤ひまわり

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	5	4	1	0	3	7	0	3	7	1	4	5
前年度	8	2	0	2	5	3	0	5	5	2	3	5
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	0	4	6	3	0	7	0	2	0	0	3	5
前年度	0	4	4	4	3	3	0	2	0	3	2	3

⑥ばら

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	8	2	0	1	7	2	0	2	8	1	2	7
前年度	8	1	1	3	5	2	0	8	2	0	8	2
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	3	3	4	7	1	2	2	0	0	3	3	3
前年度	1	0	5	7	0	3	2	0	0	0	1	5

⑦すいせん

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	6	3	1	3	3	4	0	6	4	3	3	4
前年度	7	2	1	1	6	3	0	7	3	2	6	2
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	3	3	4	4	4	2	2	3	0	0	1	4
前年度	4	3	3	7	1	2	3	1	0	3	1	2

⑧コスモス

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	6	1	4	4	2	4	4	1	5	2	2	6
前年度	8	1	1	5	1	4	0	5	5	5	1	4
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	4	2	4	6	0	4	4	1	0	1	0	4
前年度	5	1	4	5	1	4	5	0	0	0	1	4

(4) 処置・看護記録集計 (ショートステイ含む)

①特養

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
SS利用者	230	238	232	273	345	238	204	215	224	209	228	250	2,886
嘱託医診察	55	65	41	50	37	61	53	44	46	64	58	50	624
他科受診	8	4	4	6	11	8	7	2	8	4	3	11	76
歯科受診	51	48	60	52	49	49	40	49	42	42	39	41	562
皮膚科受診	17	11	11	11	10	8	13	16	8	17	20	20	162
入院	1	0	1	1	2	1	0	0	1	1	1	1	10
救急車依頼	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1	1	2	8
胃瘻チューブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	8	10	22
経管栄養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	8	1	22
B.B カテーテル	120	124	96	93	93	90	93	90	62	60	58	66	1,045
ストマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
点滴	6	6	17	5	4	3	31	41	2	14	4	5	138
酸素投与者	78	103	75	73	90	90	78	60	62	52	64	81	936
インシュリン 投与者	50	51	55	56	54	54	52	53	55	64	58	67	666
看取り	1	0	1	0	2	0	1	2	0	0	1	0	8
採血施行者	11	7	0	16	0	8	8	0	11	0	11	2	74
創傷処置	61	63	68	38	138	151	133	51	58	86	205	130	1,182

(5) 入浴実施状況

①りんどう

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特浴	26	26	24	25	27	27	25	24	30	30	30	32	326
個浴	62	64	61	62	63	62	60	60	57	61	56	58	726
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	88	90	85	87	90	89	85	84	87	91	86	90	1,052

②つつじ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特浴	35	40	35	31	38	44	34	41	36	32	41	37	444
個浴	51	45	47	51	46	45	48	40	43	40	36	52	544
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	86	85	82	82	84	89	82	81	79	72	78	89	988

③カンナ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特浴	8	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	17
個浴	80	83	82	93	93	95	91	91	95	95	85	89	1,072
清拭	1	4	6	2	0	0	0	0	0	0	3	3	19
合計	89	92	89	91	93	95	91	91	95	95	88	94	1,108

④ひまわり

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特浴	45	41	39	45	46	45	40	52	44	34	32	45	508
個浴	37	50	43	40	43	49	35	46	50	38	42	44	517
清拭	1	0	0	0	2	1	0	0	1	1	1	1	8
合 計	83	91	82	85	91	95	75	98	95	73	75	90	1,033

⑤ばら

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特浴	16	16	16	18	18	18	16	17	18	11	16	18	198
個浴	67	69	72	70	73	69	67	69	72	47	67	70	812
清拭	1	2	0	0	0	0	2	1	0	1	0	1	8
合 計	84	87	88	88	91	87	85	87	90	59	83	89	1,018

⑥すいせん

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特浴	18	23	24	27	27	27	23	22	18	13	16	28	266
個浴	56	53	52	50	57	57	58	73	74	72	59	63	724
清拭	0	2	0	1	2	3	2	0	0	8	1	1	20
合 計	82	87	85	87	86	87	83	95	92	93	76	92	1,045

⑦コスモス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特浴	36	36	36	31	45	49	55	40	45	40	39	42	494
個浴	66	56	69	52	60	59	51	67	57	50	50	49	686
清拭	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	3
合 計	102	92	105	84	105	109	106	107	102	90	90	91	1,183

③短期入所生活介護（あじさい）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特浴	7	2	7	11	3	12	5	9	10	13	8	15	102
個浴	96	107	97	104	105	84	97	90	105	102	68	80	1,135
清拭	5	1	3	3	1	5	0	0	2	0	0	1	21
合 計	108	110	107	118	109	101	102	99	117	115	76	96	1,258

《考察》

週 2 回以上の入浴対応ができた。カンナユニット、ばらユニットにあるリフト浴が利用者様から好評であり、利用者様職員とも安全に入浴対応できたのは良かったと思う。介護度増により特浴対応者も増えてきていることから、今後は中間浴（リフト浴）があると、柔軟に対応できると考えられる。

6. 給食

(1) 反省

弓野 つかさ	イベント食・行事食を取り入れ、飽きのない食事提供の実現に努めることができた。
--------	--

(2) 平成 28 年度 栄養給与基準量及び通常食提供量

	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミン B1	ビタミン B2	ビタミン C	食塩
単位	Kcal	g	g	mg	mg	mg	mg	mg	g
目標値	1,632	60	45.3	600	10.0	1.00	1.17	100	7.3
4 月	1,590	60.1	38.8	570	8.8	0.79	0.82	94	8.1
5 月	1,598	60.1	39.8	554	8.7	0.81	0.84	88	8.1
6 月	1,574	59.0	38.7	558	8.4	0.79	0.81	91	8.0
7 月	1,589	60.3	39.3	562	8.3	0.79	0.85	90	8.1
8 月	1,572	58.8	38.3	571	9.4	0.74	0.81	88	8.1
9 月	1,594	60.1	39.7	565	9.4	0.77	0.83	91	8.2
10 月	1,601	60.3	40.6	545	9.4	0.79	0.83	93	8.0
11 月	1,612	61.1	40.1	575	10.8	0.79	0.84	93	8.1
12 月	1,602	60.6	39.6	559	9.8	0.81	0.81	98	8.1
1 月	1,596	59.8	39.8	556	9.7	0.77	0.79	98	8.1
2 月	1,616	59.7	40.6	545	8.1	0.80	0.78	101	8.0
3 月	1,617	60.3	40.4	527	8.4	0.81	0.81	95	8.0

(3) 食事提供状況

①食数

	朝食	昼食	夕食	合計
特養	25,397	25,201	25,378	75,976
ショートステイ	2,528	2,903	2,601	8,032
デイサービス	0	6,726	0	6,726
職員	0	5,024	0	5,024
来客	2	41	2	45
実習生	0	66	0	66
延人数	27,927	39,961	27,981	95,869

②毎食事の検食実施（検食簿記入）有

③行事食

1	日時	H28 年 4 月 24 日	行事名	桜まつり
	おにぎり 2 種、かき揚げそば、菜の花のごまあえ、フルーツ			
2	日時	H28 年 5 月 5 日	行事名	端午の節句
	竹の子ごはん、味噌汁、鮭の照り焼き、茶碗蒸し、フルーツポンチ			
3	日時	H28 年 5 月 25 日	行事名	セレクト食
	かき揚げ丼 or うどん、菜の花のあえもの、フルーツ			
4	日時	H28 年 7 月 7 日	行事名	七夕御膳
	天の川そうめん、天ぷらの盛り合わせ、茄子の生姜醤油かけ、スイカ			
5	日時	H28 年 7 月 15 日	行事名	中華バイキング
	チャーハン、清汁、油淋鶏、海老のチリソース、鰯の中華あんかけ、三食ナムル、杏仁フルーツ			

6	日 時	H28年7月30日	行事名	土用の丑の日
	うな井、具沢山汁、冷奴、キウイフルーツ			
7	日 時	H28年8月13日	行事名	お盆御膳
	赤飯、清汁、天ぶらの盛り合わせ、酢味噌和え、フルーツポンチ			
8	日 時	H28年8月22日	行事名	ご当地めし
	沖縄そば、餃子、もずく酢、フルーツ寒天			
9	日 時	H28年9月15日	行事名	十五夜御膳
	月見うどん、肉団子の甘辛煮、茄子の生姜醤油あえ、りんごゼリー			
10	日 時	H28年9月18日	行事名	敬老会御膳
	赤飯、清汁、天ぶら、刺身盛り合わせ、筑前煮、香の物、抹茶ババロア			
11	日 時	H28年11月23日	行事名	寿司バイキング
	握り寿司(まぐろ、サーモン、えび、穴子、いくら、ネギトロ、玉子、いなり、細巻2種)、具沢山汁、茶碗蒸し、みかん			
12	日 時	H28年12月24日	行事名	クリスマス
	海老ピラフ、コンソメスープ、鶏肉の香草焼き、鮭のポテマヨ焼き、マカロニグラタン、チーズサラダ、フルーツ			
13	日 時	H29年1月1日	行事名	元旦
	赤飯、清汁、松風焼き、お節盛り合わせ、みかん			
14	日 時	H29年1月2日	行事名	お正月
	いなり寿司、清汁、鯛の照り焼き、筑前煮、フルーツ			
15	日 時	H29年1月3日	行事名	正月式
	海鮮ちらし、味噌汁、炊き合わせ、いちごムース			
16	日 時	H29年1月18日	行事名	ご当地めし
	釜揚げしらす・桜えび井、味噌汁、大根と挽肉のべっこう煮、みかん			
17	日 時	H29年2月3日	行事名	節分
	いなり・のりまき、豚汁、大豆の五目煮、ピーチムース			
18	日 時	H29年2月23日	行事名	選べるソース
	ご飯、味噌汁、ハンバーグ、ソース3種(オニオン、デミグラス、おろしボン酢)、マカロニサラダ、りんごゼリー			
19	日 時	H29年3月3日	行事名	ひな祭り御膳
	押し寿司、清汁、筑前煮、フルーツ			
20	日 時	H29年3月15日	行事名	おやつバイキング
	桜のレアチーズケーキ、抹茶&ココアクッキー、ストロベリーババロア、黒ごまプリン、おやき、いちごモンブラン、たこやき			

(4) 会議・研修

地区及び県老人福祉施設栄養Ⅰ研修

摂食・嚥下リハビリテーションと栄養ケアセミナー

摂食及び嚥下に関する基礎研修会

高齢者ケア施設に求められる栄養アセスメント・栄養サポートの知識と技術

茨城県 PEG・PTEG 研究会

〈考察〉

食塩相当量が基準を超えている。出汁の活用・練り製品の使用頻度と、汁物の提供頻度を考える必要がある。

7. 施設ケアマネジャー

(1) 反省

三浦 裕子	何も分からず不安だったが最近利用者様一人一人のことが分かってきて、プランに反映出来るようになった。
-------	---

(2) ケアカンファレンス・認定調査

①ケアカンファレンス実施回数

月	人数	月	人数	月	人数
4	13	8	14	12	20
5	16	9	6	1	12
6	20	10	12	3	11
7	10	11	10		

開催合計 12回 延べ 144名

②認定調査の実施回数

月	人数	月	人数	月	人数
4	4	8	2	12	3
5	2	9	2	1	2
6	3	10	2	3	3
7	3	11	4		

認定調査 合計 30件

8. 相談員

(1) 反省

金沢 貴司	年間の空所日数を意識しながら、業務に取り組むことが出来た。特養入所待機数が減ってしまっているので今年度の課題として取り組んでいきたい。
坪井 和代	特養は空床なく経過したが、ショートステイは平均7割と、空床になることも目立った。入所申込者も以前より減少しており、もっと地域に出て、憩いの里を知っていただく必要があった。ホームページは定期的に更新できた。

9. 委員会

(1) 委員会活動報告・反省

1	災害安全委員会	的確な避難誘導の指導ができたが、避難訓練後同じような反省が挙がるが多かった。今後、取り組む職員の意識が高くなるような避難訓練を視野に入れていく。
2	車椅子担当委員会	各ユニットに車椅子の整備を指導し、整備できないところは車椅子担当で整備することができた。利用者が安全に車椅子を使用することができた。
3	営繕委員会	草刈りが主になってしまったが、職員の方々に協力して頂き、環境整備を行うことができた。必要物品がないことがあったので、常に点検を行い、計画的に必要な物品を買い揃えていく。
4	サービス向上委員会	委員会メンバーで活動することが少なく、役職者へ意見をまとめ、提案するだけとなった。

5	行事委員会	それぞれの行事でしっかり準備をして楽しい時間となるよう工夫できた。各職員しっかり連携し、安全に行事を行えた。
6	広報委員会	広報にて憩いの里での生活の様子やお知らせを発行することが出来た。写真や文面に時間がかかり期日までに発行することが出来なかった月もあったので写真等の管理をしっかり行い、スムーズに集められるようにしたい。
7	給食委員会	毎月、給食会議を行った。桜祭りや、ビアガーデン、寿司バイキングを行い、入居者様から笑顔が多く見られ好評だった。
8	排泄委員会	各ユニットでサイズの見直しに積極的に協力が出来ればよかった。コスト削減が出来るような活動が出来ていなかった。
9	褥瘡予防委員会	介護職員は皮膚状態の観察をし、早期発見に努めることができた。嘱託医を始め、看護師・管理栄養士・施設ケアマネジャーとも連携し、随時委員会を開催した。エアマットの使用を積極的に行ったことは、褥瘡予防に繋がったと思う。
10	身体拘束廃止委員会	必要時会議を行い、身体拘束廃止に向けた取り組みを行った。具体的には、転倒転落のリスクがある方へのセンサー設置や、24時間シートから行動の把握等を実施。やむを得ず4点柵やY字ベルト、ミトンを使用した方もいたが、使用時の記録、身体拘束廃止に向けた会議、ご家族への同意書等を行った。
11	物品購入委員会	施設内の物品の管理・不足物を購入してきた。毎月の棚卸しを実施。排泄物品の月平均が全国平均を上回っているの、どのように削減できるのか、各ユニットで検討してきた。コスト削減のため、今後も引き続き棚卸しを実施していく。
12	安全管理委員会	各ユニット会議においてヒヤリハット報告書の検討。
13	入所検討委員会	毎月第2火曜日に定期開催した。新規入所者に偏りのないよう、かつ公平に、検討することができた。
14	衛生推進委員会	事業計画書通り、ストレスチェックの実施、腰痛検査の実施、感染予防等の勉強会を実施できた。次年度も職員にとって「安全で快適な環境づくり」のための、衛生活動の実施をしていく。
15	研修委員会	常に新しい情報を発信できるよう、外部研修参加者からの勉強会を設けた。各部署からの勉強会を実施することで、教える側のスキルアップも図れたと思う。
16	感染予防委員会	インフルエンザが蔓延し、早急な対応が遅れてしまった。面会制限も含め今後検討したい。

(2) 全体行事報告

月	日	内 容	参加者			
			利用者	職員	その他	合計
5	25	日帰り旅行	15	18	1	34
7	31	納涼祭	70	50	80	200
9	18	敬老祝賀会	70	45	41	156
12	18	クリスマス会	70	45	0	115
12	28	餅つき	70	40	0	110
1	3	正月式	70	20	10	100

(3) クラブ活動報告・反省

1	書道クラブ	活動月…5月、7月、10月、1月、2月 書道を行っていた入居者から笑顔が見られ、気分転換を図ることができた。しかしクラブ活動参加に偏りがでてしまった。
2	レクリエーションクラブ	毎月クラブを開催することができなかった。職員間での計画不足や人数確保が出来ず反省。活動時は入居者も楽しんで参加されており、楽しい場を提供する為にも計画をしっかりと立て実施していきたい。
3	工作クラブ	桜の貼り絵や折り紙などを掲示して利用者に楽しんでいただいたが、掲示物を貼りっぱなしにしてしまい、季節外れになってしまったので今後気をつけていきたい。
4	憩いカフェクラブ	会場レイアウトを華やかにしたりと、工夫すればよかった。 参加者の偏りがあったため、食事形態のバリエーションを増やせば良かった。飲み物、デザートともに数種類用意し、入居者に選んでいただければ、なお良かったと思う。
5	華道クラブ	手先が動かせる人ばかりの参加となってしまう、同じ参加者が目立ってしまった。流れ作業的になってしまう、ゆっくり花を生ける時間がないように感じた。当日の職員確保が上手くできず、担当職員外の方にも急遽手伝ってもらった事が多かった。少し華の量が少なく感じた。
6	園芸クラブ	クラブ担当者内で連携がうまくとれず、花の水やりなどできない部分があった。しかし目標通り入居者と一緒に園芸活動できたのは評価できると思う。

10. 研修

(1) 内部研修報告

①施設全体研修（従来型・ユニット・デイ・在支・居宅・事務）19：00～19：30

月	日	内容（対象者）	参加人数
4月	1日	平成28年度事業計画書（全職員）	36
5月	2日	バイタルサイン勉強会（全職員）	36
6月	1日	食中毒予防と衛生管理（全職員）	43
5月	9日	24時間シートの勉強会（介護士）	40
7月	1日	介護職員の倫理と価値観（全職員）	44

8月	1日	リスクマネジメント（全職員）	46
9月	1日	不眠症勉強会（全職員）	43
10月	3日	シナプソロジー（全職員）	45
11月	1日	安寧な看取り介護の在り方（全職員）	46
12月	1日	認知症ケアの基本（全職員）	46
2月	1日	認知症ケアと権利擁護（全職員）	43
3月	1日	褥瘡予防ポジショニング（全職員）	43

(2) 外部機関研修

研修名	開催時期	参加者 職種	研修内容	人数
施設一般監査に係る説明会	4月26日	相談員	社会福祉法人・施設一般監査に係る説明	1
失敗しない為の高齢者住宅勉強会	5月26日	施設長	高齢者住宅開業勉強会と説明会	1
接遇マナー研修	6月2日	介護士	応対方法、接遇、マナーについて	1
県南・土浦ブロックケアマネージャー研究会	6月9日	相談員	事業計画と事例検討	2
認知症実践者研修	6月2日~7月15日	介護士	認知症介護研修	1
栄養サポートの知識と技術	7月16日~17日	栄養士	栄養アセスメント	1
リスクマネジメント研修	7月13日~14日	相談員	危機管理の全体像と基本知識の理解	1
介護施設管理者研修会	6月20日	相談員	介護保険関係	1
リフトリーダー養成研修	8月30日~31日	介護士	リフトを使った介護技術の習得	1
腰痛予防研修会	10月6日~7日	介護士	腰痛予防にもつながる技術の習得	1
土浦地区栄養士給食研究会	5月17日	栄養士	今年度事業計画（案）について	1
感染対策新規担当者研修会	6月22日	看護師	感染症の講義と実習、実験について	1
無料人事セミナー	6月17日	施設長	人事評価制度を理解する	1
相談員・施設介護支援専門員研修会	8月5日	相談員・施設ケアマネ	相談員・援助職のポジショニングと多職種連携	2
生きがいフォーラム	7月10日	介護士	もしも私が認知症になったら 講義	2
アセッサー講習	7月下旬~9月13日	介護士	介護職員資質向上促進事業	4
キャリアパス対応生涯研修	7月27日~28日	介護士	段階に応じた能力の向上	1
雇用管理改善啓発セミナー	7月5日	施設長、副施設長	雇用管理改善について	2
老人ホーム等施設長会議	6月15日	施設長	総会	1
介護職員喀痰吸引等実地研修会	7月21日~9月23日	介護士	介護職員による喀痰吸引について	1
普通救命講習会	8月3日	介護士	応急手当の重要性	2
土浦地区・県南地区給食研究会	9月6日	栄養士	多職種協働のポイント	1
アンガーマネジメント研修	10月14日・21日	介護士	ストレスコントロール	1
地域医療連携における感染予防講座	10月15日	相談員、看護師	地域医療連携について	2
茨城介護サミット2016	10月3日	介護士	事例検討	1
相談員・施設介護支援専門員研修	8月5日~8月6日	相談員・施設ケアマネ		2
医療依存度の高い利用者へのケアに携わる介護職員等要請研修	11月30日	介護士	高齢者の栄養、摂食・嚥下・急変時対応	1
いばらき介護サミット2016	10月3日	介護士	講師からの講演とグループワーク	1
キャリアパス導入促進セミナー	10月20日・11月9日	副施設長	キャリアパスについて	1
アンガーマネジメント研修	10月14日・21日	介護士	アンガーマネジメント	1
高齢者虐待防止フォーラム	10月18日	介護士	講演、シンポジウム	1

全国フォーラムイン水戸	11月4日	介護士	地域密着型サービスシンポジウム	2
つくば栄養サポート研究会	10月7日	施設長	エビデンスの使い方、つくり方	1
相談援助業務担当者研修	11月14日～15日	相談員	相談援助技術の講義と演習	1
社会福祉法人合掌苑鶴の里視察研修	11月10日	施設長・相談員・管理栄養士	他施設研修	3
医療依存度の高い利用者へのケアに携わる介護職員養成研修	11月30日・12月9日	介護士	医療依存度の高い方へのケアについて	2
認知症介護実践者リーダー研修	12月1日～1月18日	相談員	認知症介護について	1
個別ケアとケアプラン研修会	11月28日	施設ケアマネ	個別ケア、ケアプランについて	1
リスクマネジメント研修	11月16日	相談員、介護士	リスクマネジメントについて	2
介護フェス2016	11月9日	相談員	事例発表	1
キャリアアップ支援研修	11月26日	介護士	キャリアアップ支援について	1
看護実務者研修	10月26日～27日	看護師	看護職員の役割について	1
腰痛予防研修	10月6日～7日	介護士	腰痛予防について	1
生活対応力向上研修	12月22日	介護士	社会人のマナー、コミュニケーションについて	1
給食研究会	11月8日	管理栄養士	職務遂行上に必要な知識について	1
摂食嚥下と多職種連携研修	2月5日	介護士	嚥下と多職種連携について	2
業務改善手法研修	1月25日～26日	介護士	業務改善について	1
ファシリテーション研修	2月1日～2日	介護士	ファシリテーションについて	1
水害、土砂災害への対策研修	2月14日	介護士	避難計画について	1
福祉サービス苦情解決研修	3月3日	相談員、ケアマネ	社会福祉施設における苦情対応と権利擁護について	3
介護保険制度講演会	3月17日	相談員	介護保険制度について	1
合 計				69

(3) 老人福祉施設協議会の県南・土浦地区ケアマネジャー研究会・交流研修

6月9日 事業計画についての研修参加

11月10日 社会福祉法人合掌苑鶴の里視察研修参加

《考察》

外部研修に参加することで、新しい知識を得ることは、職員にとっても職場にとってもメリットが大きい。次年度の勉強会では外部研修参加者からの報告会を設け、職場全体のスキルアップを図りたい。

1.1. 実習生受入れ

(1) 学校別集計（デイサービスを含む）

学校名他	実習月	日数	人数	延日数
筑波大学	1月、2月	5	7	35
アール医療福祉専門学校	11月、3月	6	8	48
茨城大学	7月	5	1	5
合計		16	19	88

(2) 実習種類別集計（デイサービス含まず）

①介護職員初任者研修

学校名他	実人数	延日数
アール医療福祉専門学校	8	6

②介護等体験（茨城県社会福祉協議会より）

受け入れ期間	実人数	延日数
4~6月	0	0
7~9月	1	5
10~12月	0	0
1~3月	7	35

③受入合計

○実人数 16人(H27年度 37人) ○延日数 46日(H27年度 156日)

《考察》

介護福祉士の実習受入れはなかった。しかし介護等体験の実習受入れは継続しており、入居者様からは、学生とのコミュニケーションが楽しみ、と好評であった。アール医療福祉専門学校 介護職員初任者研修生からは「今後勤務してみたい」との話もあり、職員受入れにリンクできればと考えている。

12. ボランティアの受け入れ

(1) 介護相談員活動実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

(2) ボランティア受入

ボランティア名	回数	総人数	ボランティア名	回数	総人数
ナニフラ（フラダンス）	2	17	スイトピー	1	5
グリーンホー（歌・演奏）	1	3	繕い物ボランティア	4	23
藤澤蕎麦会	1	13	折り紙ボランティア	8	14
高岡保育園	1	10	ケーナボランティア	1	10
よさこい飛翔	1	8	斗利出小学校	1	10
スイトピー（大正琴）	1	8	介護支援ボランティア	11	13
新治マジッククラブ	1	3	民話ボランティア	1	4
社交ダンスボランティア	1	2	山百合ボランティア	1	11
新治マジッククラブ	1	3	常陸藤澤・霞会	1	50
永親会	1	15	合計	40	222

平成 28 年度 事業報告書
 デイサービス憩いの里
 指定通所介護・介護予防通所介護事業（通常規模型・利用定員 30 名）

1. 運営

集団から個々の利用者のニーズに即したサービスの提供を心掛け運営を行った。ミニゲームの導入による少人数での活動やエアロバイクの活用推進や認知症予防のためのシナプソロジーの導入により、心身機能の維持ができるサービスを提供することができた。

稼働率は目標の 80% 台に到達したのは 5 月のみであり、73.1% と法人内のデイサービスでは高水準を維持しているが近隣地域の方の利用が多数を占めていることや憩いの里の居宅介護支援事業所ケアマネジャーが担当していることを考えると他居宅介護支援事業所への積極的な営業と地域の方々へのデイサービスの取り組みの周知や総合事業を視野に入れたサービスの拡充が今後の課題である。

2. 物品購入・修繕報告

物品名・修繕箇所	種別	評価
① 送迎車（ヴォクシー・シエンタ）	リース	身体状況に応じたスムーズな乗降車が可能となった。

3. 実績報告

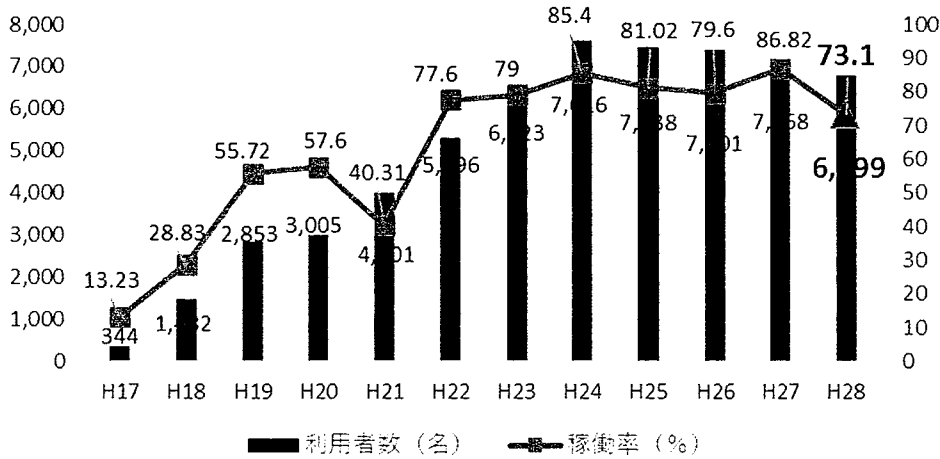
(1) 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
運営日数（日）	26	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	27	310	
実人数（名）	64	65	58	56	54	57	55	53	54	54	59	61	690	
延人数（名）	621	635	588	571	562	583	547	543	517	492	531	609	6,799	
平成27年度	平均利用者数（名）	22.5	21.9	23.2	22.5	23.2	23.6	24.2	24.1	24.6	22.9	22.0	22.0	23.0
	稼働率（%）	75.1	72.9	77.2	75.1	77.3	78.6	80.6	80.4	82.1	76.3	73.2	73.2	76.8
平成28年度	平均利用者数（名）	23.9	24.4	22.6	22.0	20.8	22.4	21.0	20.9	19.9	20.5	22.1	22.6	21.9
	稼働率（%）	79.6	81.4	75.4	73.2	69.4	74.7	70.1	69.6	66.3	68.3	73.8	75.2	73.1
稼働率（%） 前年度比	6.0	11.7	△ 2.3	△ 2.5	△ 10.2	△ 5.0	△ 13.0	△ 13.4	△ 19.2	△ 10.5	0.8	2.7		

(2) 年間利用状況の推移

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
延利用者数(名)	344	1,482	2,853	3,005	4001名
稼働率(%)	13.23%	28.83%	55.72%	57.60%	70.31%
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延利用者数(名)	5,296	6,123	7,616	7,438	7,401
稼働率(%)	77.60%	79.00%	85.40%	81.02%	79.60%
	平成27年度	平成28年度			
延利用者数(名)	7,168	6,799			
稼働率(%)	86.82%	73.10%			

年間利用状況の推移



(3) 年間請求状況（介護報酬分のみ）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度比
4月	4,884,406	4,431,063	4,445,069	14,006
5月	4,554,833	4,623,399	4,813,215	189,816
6月	4,861,214	4,311,136	4,826,109	514,973
7月	4,777,623	4,650,884	4,440,905	△ 209,979
8月	5,443,182	4,876,155	4,249,777	△ 626,378
9月	5,440,780	4,514,146	4,270,015	△ 244,131
10月	5,070,243	4,608,362	4,019,439	△ 588,923
11月	5,222,203	5,132,762	4,107,034	△ 1,025,728
12月	4,714,156	4,701,643	4,047,492	△ 654,151
1月	4,931,090	4,976,528	4,019,085	△ 957,443
2月	4,043,151	4,262,934	3,787,449	△ 475,485
3月	4,020,562	4,238,500	4,067,943	△ 170,557
合計	57,963,443	55,327,512	51,093,532	△ 4,233,980
月平均報酬額	4,830,286	4,610,626	4,257,794	352,831
1人当たり単価	7,831	7,718	7,514	△ 204

(4) 介護度別利用状況

	平成27年度		平成28年度		前年度比	
	延人数（名）	構成比	延人数（名）	構成比	延人数（名）	構成比
支1	100	1.3%	99	1.5%	△ 1	15.3%
支2	762	10.6%	841	12.4%	10	16.9%
1	1,748	24.4%	1,774	26.1%	1	6.9%
2	2,523	35.2%	2,130	31.3%	△ 16	△11%
3	1,169	16.3%	1,081	15.9%	△ 8	△2.4%
4	583	8.1%	654	9.6%	12	18.5%
5	281	3.9%	220	3.2%	△ 22	△17.9%
介護保険外	2	0.0%	0	0.0%	△ 100	0.0%
計	7,168	100%	6,799	100%	△ 124	29%

4. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組

利用者や家族、ケアマネジャー、多職種とサービス担当者会議にて居宅サービスに沿って検討し、ニーズや目標をたて、通所介護計画書を作成、利用者、家族の同意を得てサービスを提供できた。

(2) 通所介護・介護予防通所介護計画書作成

利用者の調査時のアセスメント、ケアマネジャーからの居宅サービス計画のもと通所介護計画書を作成し、本人又は家族にサービス内容を明確に説明することで利用時の不安を軽減するよう心掛けた。また、担当のケアマネジャーにも通所介護計画書を初回・見直し時に提出し、ADLの変化・利用時の様子等を伝えて情報の共有化に努めた。常に利用者のADLの変化に注目し、変化が見られ

た際に速やかに介護計画の見直しや評価を行い、適切なサービスが提供できるように通所介護計画書を作成した。

(3) 入浴サービス（入浴者数・入浴率報告）

利用者一人ひとりに合わせた介助を行なった。広い風呂の良さを楽しんでいただくと共に、安全面では職員の介護技術の向上に努め、今後も事故防止に努めていく。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数（名）		621	635	588	571	562	583	547	543	517	492	531	609	6,799
入浴延人数（名）		545	548	528	500	492	514	479	468	442	430	476	560	5,982
入浴率 （％）	平成27年 度	90.4	90.2	87.2	90.1	92.5	93.8	93.6	90.4	92.2	92.1	92.3	88.5	91.1
	平成28年 度	87.8	86.3	89.8	87.6	87.5	88.2	87.6	85.8	85.5	87.4	89.6	92.0	87.9
前年度比（％）		△ 2.8	△ 4.3	2.9	△ 2.7	△ 5.4	△ 5.9	△ 6.4	△ 5.1	△ 7.2	△ 5.1	△ 2.9	4.0	△ 3.7

(4) 食事サービス

利用者一人ひとりの咀嚼、嚥下機能に合わせた食事形態を提供し、自力摂取を促す援助にも努めた。献立は、事前に苦手な食材やアレルギーなどを聞き取りし、その方にあった食事を提供できた。又、季節感を味わっていただく為、旬のものを出来るだけ取り入れることが出来た。利用者より、美味しいよとの言葉をいただけた。

(5) 排泄介助サービス（定時・随時）

尿意・便意のある利用者は、自立に向けての声掛け、介護を提供した。又、失禁する可能性のある利用者には定期的な声掛けを行ない、失禁を防げるよう努めた。失禁をしていたら速やかに交換し、不快感を与えないようにした。排泄チェック表を活用し、排泄パターンを掴み失禁を防ぐよう努めた。

(6) レクリエーション・行事

興味をもたれる度合いや、残存機能を考慮して楽しく過ごしていただく時間を提供できるよう心掛けた。集団で行なうレクリエーションでは、脳の活性化や身体を動かす楽しさを感じていただき、計画的にバランスの良いレクリエーションが実施できた。

【レクリエーション】

レクリエーション名	実施回数(回)
輪投げ	23
お手玉のせ	20
ビー玉ストロー	19
マキマキ	19
魚釣り	19
的当て	16
射的	15
サッカーボウリング	15
バクダン	15
ボウリング	14
しりとり	12
カルタ	12
紙飛行機飛ばし	11
新聞ちぎり	10
タオルでポン	8

【外出行事】

行事名	実施回数(回)
花見ドライブ(桜・紅葉)	2
買い物ツアー(イオン・サンキ・農協)	3
初詣	1
外食会	1
合計	7

【イベント】

イベント名	実施回数(回)
生け花	1
寄せ植え	1
出前食(釜飯)	1
スイカ割り	1
夏祭り	1
敬老会	1
運動会	1

(7) 個別機能訓練(介護)・運動器機能向上(予防)サービス

PT、OT、機能訓練指導員、他職種連携による個別機能訓練計画書を作成、定期的に体力測定と評価を行い、ADLの機能向上に努めた。平行棒や階段昇降だけでなく、前年度末に導入した「エアロバイク」を活用し、多くの利用者に使用していただいた。足の動きが良くなった、歩く時にスムーズに足が前に出るようになった等の声が聞かれている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機能訓練(名)	274	263	304	279	414	391	286	313	105	105	205	361	3,303
運動器機能(名)	68	80	78	83	80	79	87	64	61	43	55	65	843
合計	342.0	343.0	382.0	362.0	494.0	470.0	373.0	377.0	166.0	148.0	260.0	426.0	345.3

(8) 送迎サービス

前年度同様、事故の防止やスピード・一時停止等基本的な安全運転を心掛けたが、車の物損が何件か出てしまった。今後、無理のない安全運転を努めるよう徹底する。連絡ノートを使用することで利用の際、その日の気付いた点や健康チェック、入浴の有無を明記することで家族からの安心を得れるよう努めた。又、利用者の自宅での様子や状況確認にも活用できた。

【送迎状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
迎え	612	622	573	553	541	574	533	530	510	487	525	602	6,662
(減算)	8	13	15	17	21	9	13	13	7	4	6	7	133
送り	611	625	583	565	555	578	542	535	509	490	526	606	6,725
(減算)	10	10	5	6	7	5	5	7	8	2	4	2	71
延回数	1,223	1,247	1,156	1,118	1,096	1,147	1,075	1,065	1,019	977	1,051	1,208	1,582

【送迎車両走行距離】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ハイエース	794	1,058	763	805	760	639	759	616	473	690	758	953	9,068
タント	788	740	855	703	588	661	874	881	855	759	869	1,007	9,580
ハイゼット	828	911	1,000	847	836	731	860	868	1,078	883	856	831	10,529
ヴォクシー	1,070	1,070	971	882	784	841	785	923	846	762	815	885	10,634
プレマシー	640	547	560	416	587	658	647	644	612	438	441	505	6,695
シエンタ	878	776	873	783	840	768	979	858	702	547	544	701	9,249
デミオ	771	946	1,275	1,239	993	722	880	889	784	888	718	951	11,056
ミラ	621	580	734	644	572	530	705	544	481	488	554	419	6,872

*外出行事使用（走行）分を含む。他事業所使用（走行）分を除く。単位は km。

(9) 看護報告（処置集計報告）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
爪切り	53	53	43	40	56	43	29	33	30	34	37	36	487
軟膏塗布	44	48	33	38	40	37	34	29	11	21	12	17	364
点眼	4	4	1	6	1	0	0	1	0	5	7	2	31
内服薬	243	230	241	238	224	214	197	185	195	177	195	131	2,470
体重測定	56	50	52	51	52	54	50	51	45	45	54	52	612
計	400	385	370	373	373	348	310	299	281	282	305	238	3,964

○業務内容

各種スタッフと連携を図りながら、健康管理や精神面の状態把握に努めた。家族との連携も密に図り、状態報告や経過を伝えることで安心して利用していただけるよう努めた。

○感染予防・衛生管理・安全対策

- ・手洗いの励行、室内温度・湿度の調整
- ・感染症の職員指導
- ・咳エチケットの励行(マスク着用・手指の消毒)
- ・インフルエンザやノロウイルスなどの基礎知識なども利用者へ説明している。

○健康管理・職員啓発

毎朝のバイタルチェックにて、個々の体調を確認し、利用者の負担にならないサービス提供を心掛け、食前後に内服等の確認をし、利用者の身体の状態把握を行った。特に入浴時に皮膚疾患や体調の変化の早期発見を心掛け、家族やケアマネジャーに報告し、症状の悪化防止に努めた。

(10) ヒヤリハット報告

一年を通じて、9・10・11月をピークに歩行時の転倒が多く見られた。歩行できるということは転倒する可能性があるということを念頭に置き、利用者が歩行する際は近くでの見守り付き添い介助を行なっている。次に、送迎車両の損傷が多い。門の幅や敷地内が狭い家が多く、物にこすってしまうことがたびたび起きている。

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
発見	歩行中転倒	0	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	5
	転倒し傷・出血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者	利用者間のトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	暴力・暴言・触る	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見守り中	転倒・ふらつき	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	イスから立ち上がりふらつく	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員ミス	車の物損・スピード・接触	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	投薬間違い・紛失・服薬確認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	救急車対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		2	1	0	2	0	1	2	1	0	0	0	0	9

(11) 地域連携・貢献活動（介護予防教室等）

今年度は地区の公民館で12月歳末たすけあい配分対象事業を利用して在宅介護支援センターと合同で予防教室を開催した。来年度は、歳末たすけあい配分対象事業を含めた計6回以上を目指し、地域へ向けた介護予防啓発に力を入れていきたい。

(12) 実習生・ボランティア受入

継続的に来ていただいている折り紙ボランティアに加え、ケーナ演奏などのボランティアも積極的に受け入れた。また、近隣の幼稚園や保育園の園児による遊戯や歌は利用者に変大好評で、園児との交流に喜ばれていた。

○実習生受入報告

種別	学校名他	実人数 (名)	延日数 (日)
教員	筑波大学	10	25
合 計		10	25

○ボランティア受入報告

ボランティア名	来園回 数 (回)
社交ダンスクラブ	1
紙芝居クラブ	1
折り紙クラブ	11
ケーナ演奏	1
フラダンス	1
よさこい飛翔	1
大正琴	1
マジッククラブ	1
合 計	18

5. 利用者状況

(1) 登録利用者

	平成27年度			平成28年度		
	登録者数 (名)	新規利用者 (名)	利用終了者 (名)	登録者数 (名)	新規利用者 (名)	利用終了者 (名)
4月	70	3	2	75	4	0
5月	71	3	2	77	3	3
6月	73	2	0	72	0	3
7月	74	3	3	73	1	0
8月	77	4	0	73	2	2
9月	76	3	4	73	0	0
10月	76	1	1	73	2	2
11月	76	3	3	71	1	3
12月	79	3	1	73	4	3
1月	77	2	3	73	1	1
2月	74	2	6	76	4	0
3月	74	4	6	77	2	4
合計	897	33	31	886	24	21
平均登録者数 (名)	74.7	2.7	2.5	73.8	2.0	1.7

(2) 介護度別登録利用者

要介護度	平成27年度 (平成28年3月31日現在)		平成28年度 (平成29年3月31日現在)		前年度比	
	実人数(名)	構成比	実人数(名)	構成比	実人数(名)	構成比
支1	1	1.6%	1	1.6%	0	0.0%
支2	6	10.0%	6	9.8%	0	0.0%
1	17	28.3%	15	24.5%	△ 2	△3.2%
2	20	33.3%	23	37.7%	3	4.9%
3	7	11.6%	9	14.7%	2	3.2%
4	8	13.3%	5	8.1%	△ 3	△4.9%
5	1	1.6%	2	3.2%	1	1.6%
介護保険外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	60	100%	61	100%	1	-

(3) 利用者年齢構成

年齢(歳)	平成27年度(名) (平成28年3月31日現在)		平成28年度(名) (平成29年3月31日現在)		前年度比(名)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～64	0	1	0	1	0	0
65～69	0	1	0	1	0	0
70～74	2	2	3	0	1	△ 2
75～79	3	2	4	1	1	△ 1
80～84	2	8	4	12	2	4
85～89	4	24	3	23	△ 1	△ 1
90～94	2	18	2	20	0	2
95～99	2	3	0	3	△ 2	0
100～	0	0	0	0	0	0
男女別合計	15	68	12	61	1	2
男女比	18	82	16	84	33	67
合計	83		73		3	

(4) 町内別(市外含む)・中学校区別登録利用者(平成29年3月31日現在)

○町内別(市外含む)

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
藤沢	8	板谷	2	並木	5
本郷	1	都和	1	桜町	1
田宮	2	田土部	1	小山崎	1
小高	2	高岡	3		
藤沢新田	1	永井	1		
大志戸	4	真鍋	4		
大畑	6	沢辺	3		
上坂田	4	若松	1		
下坂田	6	中貫	1	市外	3
				合計	61

○中学校区別

地区	登録者数
一中地区	1
二中地区	5
三中地区	0
四中地区	0
五中地区	0
六中地区	0
都和中地区	10
新治中地区	42
市外	3
合計	61

6. 職員勤務体制

(1) 平成 28 年度 個人反省

職種 勤続年数	氏名 (経験年数)	反省
生活相談員 2年1ヶ月 (10年)	森田 宏	2月に異動してきて、まず顔と名前が一致せず、利用者全てを把握することができず、話は聞くものの、親身になって相談にのることができなかった。
生活相談員兼在支 14年 (4年)	平山 翔吾	利用者同士のトラブルを未然に防げず利用休止した方がおり、利用満足度100%の目標を達成出来なかった。デイサービスとしての営業も少なかった為、来年度は市内だけでなく積極的に市外での営業も行なっていきたい。在支としてももっと地域に出て、存在アピールをしていく。
看護職員 8年 (14年)	今井 かおる	利用者の健康管理により、異常の早期発見をすることができたと思う。個別機能訓練の計画、評価を行なった。書類に時間が掛かってしまい、個人的な関わりが難しかったと思う。個人の意欲を引き出すような関わりを行ない、利用者の体力を維持、向上していけるよう援助していきたい。
介護職員 11年5ヶ月 (16年)	中泉 幸子	利用者の年齢も増し、その方一人ひとりのADL向上に向けて目標を立てたが、実際は維持することで精いっぱいだった。
介護職員 5年 (6年)	井手 かおり	年間の行事としてお風呂に入浴剤を使い、毎月2日間温泉気分を味わっていただくとうと実施したが、思っていたほどの反響はなかった。日々のレクリエーションでは、利用者の笑顔を引き出すことができ、満足を得られたと思う。
介護職員 2年 (3年6ヶ月)	野口 愛美	日々、笑顔を忘れず元気であることを心がけ、利用者楽しく過ごしていただけるよう努められた。午後のレクリエーションの種類が定番化してしまい、新しい案を出せなかった。季節ごとの創作レクを利用者の希望通りに実施出来なかった為、来年度はしっかり職員間での話し合いを設け、常に早めの準備を意識して業務にあたりたい。
介護職員 1年10ヶ月 (2年2ヶ月)	荒井 深雪	利用者とのコミュニケーションを取れ、植物の話や昔の出来事など共通の話題で会話がはずんだのが良かった。戦時中の話題は分からないので、会話が膨らまなかった為、今後はその当時の事などを理解してコミュニケーションを取っていきたい。
介護職員 3年 (3年)	櫻井 智也	一つの物事を行っていると他の物事に気がつかない時があるので、その点に注意して来年度につなげていきたい。

* 「勤続年数」基準日は平成29年3月31日現在。「経験年数」は他事業所での経験年数との合算。

(2) 外部研修参加報告

今年度は、業務の都合などで外部研修には参加することができなかった。来年度は積極的に参加を促していきたい。

平成 28 年度支援センター憩いの里事業報告

1. 居宅介護支援事業所勤務体制

介護支援専門員 4 名（兼務含む）で運営してきた。毎月、居宅会議を実施し、各自の報告・連絡・相談を行ない、困難ケースに対して個人で抱えるのではなく、事業所全体で考え取り組んだ。各行政機関とも随時連絡を取り、安心した在宅生活を送れるよう支援活動した。

介護プラン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	80	79	75	71	69	69	71	68	71	72	73	72	870
市外	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	14
県外	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	83	81	77	73	71	71	73	71	74	74	75	74	896

平均 75 件/月

月平均 75 件を担当し、身体状況や環境に合わせて見直しを行った。数字の変動は、永眠や施設入所によるケースである。介護予防からの移行ケースは 2 件だった。

介護予防プラン（包括支援センター委託）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	17	16	14	16	16	16	16	15	15	13	13	14	181
県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	17	16	14	16	16	16	16	15	15	13	13	14	181

平均 15 件/月

月平均 15 件の介護予防を担当し、身体状況や環境に合わせて見直しを行った。数字の変動は、介護プランへの移行によるケースである。

2. 居宅介護サービス計画実施状況（要介護度別分類）

居宅サービス契約者介護度別件数

平成 27 年度

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
件数	85	159	259	295	164	135	45	1,142

平成 28 年度

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
件数	122	113	333	247	140	121	17	1,093

前年度に比べ、契約件数が 49 件減っている。最も依頼が多いのが要介護 1 と 2 となっている。

3. 寝たきり度（日常生活の活動状況により区分）

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
自立	2	1	0	0	0	0	0	3
J1	3	2	1	1	0	0	0	7
J2	0	0	9	3	0	0	0	12
A1	0	0	16	14	5	5	1	41
A2	0	0	5	11	10	3	0	29
B1	0	0	2	2	4	0	0	8
B2	0	0	0	0	2	6	0	8
C1	0	0	0	0	0	0	0	0
C2	0	0	0	0	0	1	1	2
合計	5	3	33	31	21	15	2	110

※区分の状態参照

J1.公共機関を利用し遠方まで外出レベル

J2.近隣への買物や町内距離程度外出レベル

A1.寝たり起きたりの状態だが、日常生活行為（食事・排泄・着替え等）ができ、日中はベッドから離れる時間が長く、介助のもと比較的多く外出する

A2.寝たり起きたりの状態でベッドから離れている時間が長いが介助者がいてもまれにしか外出しないレベル

B1.介助なしで車椅子に移乗し、食事・排泄等ベッドから離れて行う

B2.介助のもと、車椅子に移乗し、食事・排泄に関しても支援を必要とする

C1.ベッドに常時臥床し、自力で寝返りがうてる

C2.自力で寝返りがうてずベッド上で常時臥床している

当事業所では、要介護度 1～要介護 3 の割合が高く、介助なしでは外出できず、日常生活を営む上で、支援を要する方の割合が多く見られる。在宅生活を継続していく為には、サービス調整が必要である。重度の方については、在宅生活の継続は難しい傾向が見られている。これらの状況から当事業所では、在宅生活の支援として多様なサービスとインフォーマルなサービスの調整が必要である。

4. 認知症度（日常生活支援の状態により区分）

	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
自立	2	1	6	8	4	1	0	22
I	2	3	5	8	2	2	0	22
II a	0	0	9	2	3	2	0	16
II b	0	1	9	11	5	1	1	28
III a	0	0	3	2	2	5	0	12

Ⅲ b	0	0	0	0	4	2	0	6
Ⅳ	0	0	0	0	1	2	1	4
M	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	5	32	31	21	15	2	110

※区分の状況参照

自立. 何らかの認知症を有するが家庭内・社会的にもほぼ自立している

I. 日常生活に支障をきたす症状・行動は出ているが、支援があれば自立している

II a. 家庭外でも右記症状が見られる（道に迷う・買物・事務・金銭管理を間違う）

II b. 家庭内でも右記症状が見られる（服薬管理が出来ない。訪問客や電話の内容の間違いなど1人で留守番ができない）

III a. 日常生活に支障をきたすような症状・行動がみられ意思疎通が困難で介護を要する

III b. 日中を中心に右記症状が見られる（着替え・食事・排泄等上手にできない。異食、徘徊・大声・収集癖・不潔行為・性的異常行為等）

IV. 日常生活に支障がある状況が常時見られ常に介護を要する

M. せん妄・妄想・興奮・自傷・他害等精神症状やそれに起因する問題行動が継続する。主治医の判断で認知症度が決定する。介護度に比例せず何らかの身体症状を有するが、認知症のレベルはそれ程重くない利用者が半数を占めている。

自宅での生活は出来るが、常時の見守りが必要な方や何らかの支援が必要な方が多く、地域の特徴として、同居家族がいる方が多く見られるが、必ずしも支援者となるとは限らず、認知症の方の在宅生活継続の為に主治医やサービス事業所との連携が必要であった。

5. 居宅サービス利用割合

同法人で実施している事業に関して実施

平成27年度より特定事業所集中減算率が80%を超過すると減算対象となる。

通所サービス

通所介護（前期）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	割合
飛羽ノ園デイ	0	0	0	0	0	0	0	0
ながみねデイ	0	0	0	0	0	0	0	0
憩いの里デイ	43	44	38	37	35	36	233	81.2%
合計	43	44	38	37	35	36	233	

通所介護（後期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
飛羽ノ園デイ	0	0	0	0	0	0	0	0
ながみねデイ	0	0	0	0	0	0	0	0
憩いの里デイ	35	35	34	32	35	36	207	77.5%
合計	35	35	34	32	35	36	207	

担当者数の半数以上が、併設されているデイサービス憩いの里を希望されており、紹介率が最高法人となっている。地域にデイサービス事業所が少なく、送迎エリアの関係から曜日が限定されてしまう。また、近所の方が利用しているという理由も多く見られている。

短期入所生活介護

ショート（前期）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	割合
飛羽ノ園	0	0	0	0	0	0	0	0
憩いの里	18	16	20	18	16	14	102	81.6%
合計	18	16	20	18	16	14	102	

ショート（後期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
飛羽ノ園	0	0	0	0	0	0	0	0
憩いの里	16	13	16	15	12	9	81	83.5%
合計	16	13	16	15	12	9	81	

短期入所サービスを利用する方々は、介護度が高くなるにつれて、御家族の介護負担の軽減などの目的から利用率が増える傾向がある。また、施設近隣の担当が多く、自宅近くを希望されることで、80%を超えてしまう状況である。

6. 初回同行訪問件数（新規依頼を受け、同行訪問した件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

現在、当事業所では、同行訪問の実施には至っておらず、次年度より実施することとする。今後は、困難事例に対しての情報共有や介護支援専門員の孤立化を防ぐ観点からも実施していく予定である。また、主任介護支援専門員をアドバイザーとし、OJTの実施を行うことで、各々の能力向上を図る。

7. 認定調査

認定調査の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
土浦市	8	2	5	6	5	4	6	5	3	5	6	2	57
市外	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	3
計	8	2	5	7	5	4	6	7	3	5	6	2	60

認定調査の実施件数は、土浦市内(57件)、市外(3件)行った。

8. その他研修

研修内容

- ・介護支援専門員更新研修（Ⅰ・Ⅱ）
- ・主任介護支援専門員研修（7月・8月）

- ・祥風会 介護支援専門員研修 (5月・7月)
- ・土浦ケアマネジャー研究会 (5月・7月・9月・11月・1月・3月)
- ・土浦市在宅医療と介護の他職種連携研修会 (10月)
- ・土浦市医師会事例検討会 (毎月1回)
- ・認定調査員現任研修 (1月)
- ・土浦市ケアプラン検討委員会 (8月)
- ・シナプソロジー研修 (7月)
- ・土浦市介護予防事業所説明会 (2月)
- ・福祉サービス苦情解決研修会 (3月)

平成 28 年度在宅介護支援センター憩いの里事業報告書

1. 特別業務

状 況	件 数	状 況	件 数	状 況	件 数
台帳作成	27	緊急通報	2	配食サービス	2
ニーズ調査	0	啓発事業	3		

前年度業務合計数は 95 件だったが、今年度は 34 件と 61 件の減少となる。啓発事業として介護予防教室や在宅介護支援センターの相談窓口についての説明を行ったが、中々在宅介護支援センターの存在が周知されず、自宅訪問や予防教室の依頼連絡をしても断られてしまうことが多かった。来年度はさらに地域に出て在宅介護支援センターの存在をアピールしていきたい。そして、配食サービスや緊急通報依頼が少なかった。理由としては、新治地区ではひとり暮らしでも同一敷地内に家族がいることがその要因である。

2. 会議出席回数等

件 名	件 数
ふれあい調整会議	5
スクラムネット	12
その他	9
計	26

3. 相談

相談区分		本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	計
業務時間	電話	15	11	21	8	3	8	4	4	74
	来所	3	1	0	0	0	1	1	2	8
	訪問	89	36	5	4	0	15	6	4	159
時間外	電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	合計	107	48	27	12	3	24	11	10	242

相談区分	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	計
家族の支援	10	16	4	1	0	3	1	1	36
介護保険制度	28	31	8	3	0	5	2	3	80
福祉サービス	6	3	4	7	0	3	2	0	25
保健・医療	7	1	0	0	0	0	1	0	9
経済・住まい	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域の困りごと	0	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	77	120	3	1	0	10	2	3	216
二次予防事業	0	0	13	0	2	0	0	1	16
虐待・権利擁護	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ケアマネ支援	2	0	0	0	0	0	3	0	5
認知症関係	2	2	0	0	0	0	0	0	4
合計	132	173	32	12	2	22	11	8	392

今年度も家族からの相談が多くあり、介護保険制度と見守り訪問などの内容が多かった。訪問に関しては、未利用者訪問はもちろんのこと、家族や民生委員、近隣の方からの見守り訪問依頼が前年度に比べ、122件多かった。

平成 28 年度 事業報告書
 デイサービスながみね
 指定通所介護・介護予防通所介護事業（通常規模型・利用定員 25 名）

1. 運営

平成 28 年度は『デイサービスながみね 3 本の矢』として①居心地の良さ②水中ウォーキング③認知症予防を重点目標として掲げ、活動した。計画に対する遂行率はそれほど高くはないが、プランに挙げたそれぞれの取組について、利用者の反応は実感できるものもあり、今後の事業に繋がる手応えを得た。実績報告としては稼働率・請求額共に 2 年連続のアップとはなかったが「最終的に 75%」としていた目標には届かなかった。

今後は平成 29 年度からスタートする『総合事業』も視野に入れ、事業所アピールの活動プロセスそのものが更なる発展と大きなビジョンへのアンカーになると考える。

2. 物品購入・修繕報告

物品名・修繕箇所	種別	評価
①シャワーキャリー（1台）	購入	利用者に安心して入浴していただけた。
②シャワーチェア（3脚）	購入	利用者に安心して入浴していただけた。
③肘付きイス（5脚）	購入	利用者にあった椅子の提供ができた。

3. 実績報告

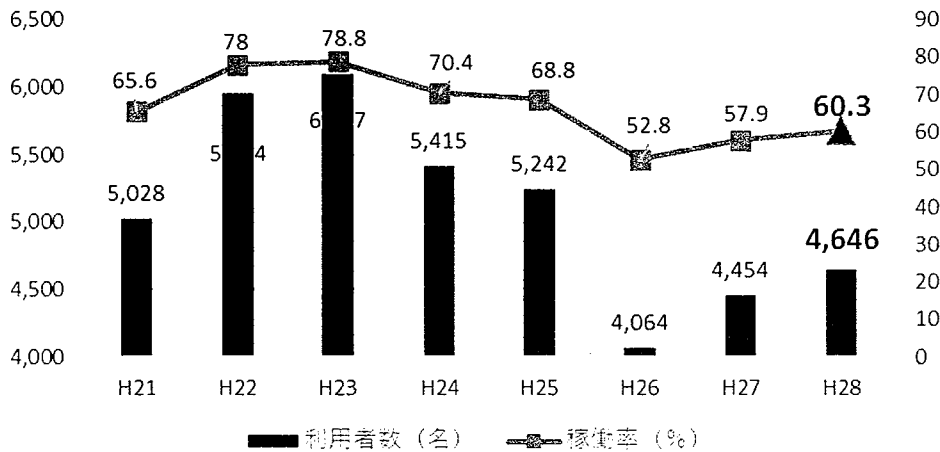
(1) 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運営日数（日）	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	24	27	308
実人数（名）	46	46	46	46	44	45	43	42	42	41	43	43	527
延人数（名）	417	377	420	442	367	408	386	359	370	338	370	392	4,646
平成27年度	平均利用者数（名）	12.0	13.1	14.9	14.7	14.8	14.6	14.6	13.9	14.5	15.1	15.5	14.5
	稼働率（%）	48.0	52.4	59.5	58.8	59.4	58.5	58.4	55.7	58.2	60.5	61.9	57.9
平成28年度	平均利用者数（名）	16.0	14.5	16.2	16.4	14.1	15.7	14.8	13.8	15.4	14.1	14.5	15.1
	稼働率（%）	64.2	58.0	64.6	65.5	56.5	62.8	59.4	55.2	61.7	56.3	61.7	60.3
稼働率（%） 前年度比	4.0	1.4	1.3	1.7	△0.7	1.1	0.2	△0.1	0.9	△1.0	△0.5	△1.0	7.3

(2) 年間利用状況の推移

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
延利用者数(名)	5,028	5,954	6,097	5,415	5,242
稼働率(%)	65.6	78.0	78.8	70.4	68.8
	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
延利用者数(名)	4,064	4,454	4,646		
稼働率(%)	52.8	57.9	60.3		

年間利用状況の推移



(3) 年間請求状況(介護報酬分のみ)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度比
4月	2,590,468	2,345,297	3,076,917	731,620
5月	2,560,455	2,275,302	2,920,079	644,777
6月	2,433,469	2,722,152	2,837,267	115,115
7月	2,654,046	2,771,612	3,120,572	348,960
8月	2,825,096	2,788,891	3,291,185	502,294
9月	2,674,313	2,859,172	2,790,297	△ 68,875
10月	2,591,076	2,687,304	2,883,067	195,763
11月	2,887,761	2,961,836	3,033,209	71,373
12月	2,644,166	2,584,192	2,741,353	157,161
1月	2,326,057	2,423,170	2,705,154	281,984
2月	2,047,841	2,397,688	2,428,218	30,530
3月	2,499,232	2,675,769	2,721,956	46,187
合計	30,733,980	31,492,385	34,549,274	3,056,889
月平均報酬額	2,561,165	2,624,365	2,879,106	254,741
1人当たり単価	7,562	7,071	7,436	365

(4) 介護度別利用状況

要介護度	平成27年度		平成28年度		前年度比	
	延人数(名)	構成比	延人数(名)	構成比	延人数(名)	構成比
支1	147	3.3%	265	5.7%	118	2.4%
支2	343	7.7%	243	5.2%	△100	△2.5%
1	1,503	33.8%	1,367	29.5%	△136	△4.3%
2	1,244	27.9%	1,466	31.6%	222	3.7%
3	467	10.5%	475	10.2%	8	△0.3%
4	669	15.1%	464	10.1%	△205	△5.0%
5	81	1.2%	366	7.9%	285	6.7%
介護保険外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	4,454	100%	4,646	100%	192	—

4. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組

利用者はもちろんのこと、家族・ケアマネジャーからの要望や意見を活かして細かな部分まで対応することができた。内部研修等を通してスキルアップや他デイサービスでの取組などを知り、質の向上に努めた。

(2) 通所介護・介護予防通所介護計画書作成

利用者の状態変化に配慮し、リスクが生じた場合にはすみやかに家族・ケアマネジャーへ報告し、介護計画書の見直しに努めた。また、筋力やADLの向上が見られた場合には自立した生活を送って頂くためにも本人にとってステップアップしたサービス内容に変更するようにした。また、そのような変化を把握した家族やケアマネジャーから喜びの声が聞かれた。今後も通所介護計画書の内容を職員間で確認・熟知するよう努めていきたい。

(3) 入浴サービス(入浴者数・入浴率報告)

バイタルチェックをもとに他職員と連携し、安全に入浴ができるように努めた。入浴メインで利用されている方もいる。バイタルの数値が良くない方などへの声掛けや対応の方法を看護師と連携し、今後そういった方が気持ちよく安心して入浴できるよう体制を整える。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数(名)		417	377	420	442	367	408	386	359	370	338	370	392	4,646
入浴延人数(名)		327	305	329	355	287	320	308	281	301	281	295	309	3,698
入浴率(%)	平成27年度	87.8	87.6	75.5	82.9	82.6	79.5	82.0	77.3	79.4	77.1	76.4	79.7	80.7
	平成28年度	78.4	80.9	78.3	80.3	78.2	78.4	79.8	78.3	81.4	83.1	79.7	78.8	79.6
前年度比(%)		△9.4	△6.7	2.8	△2.6	△4.4	△1.1	△2.2	1.0	2.0	6.0	3.3	△0.9	△12.2

(4) 食事サービス

※後述「7. ながみね厨房業務」参照。

(5) 排泄介助サービス（定時・随時）

プライバシーには十分配慮した。定期的な声掛けで失禁が減った、車イスでトイレに行けるようになった、ベッドではなくトイレで排泄できるようになった等の自立へ向けた排泄介助を主軸として介助を行った。

(6) レクリエーション・行事

外出行事・個別のレクリエーションに新たなものを取り入れることができず、また個別活動も上手く進めることができなかった。水中ウォーキングの日数を1日増やすことで新規利用者の利用にも繋がった。利用者より「自分達で栽培した野菜を食べたい」という意見があり、畑を一から作り収穫する所まで利用者で行い、喜んで頂いた。来年度は更に利用者一人一人の希望に沿った行事やレクリエーションを考え満足度を高めたい。

【レクリエーション内容・参加状況】

実施月	レクリエーション・行事名	参加人数	実施月	レクリエーション・行事名	参加人数
4月	ピンポンゲーム、スリッパ飛ばし、お手玉落ちるな、輪投げ、お花見	318	10月	ボールキック、輪っか投げ、箱落としゲーム、頭の体操	257
5月	指サッカー、玉入れ、けっ飛ばしカーリング、魚釣り、こいのぼり作り、ピングゲーム	298	11月	箱吹き飛ばしゲーム、お手玉くずし、頭の体操、輪投げ、的当てサッカー	199
6月	風船バタバタ、輪投げ、明日天気になーれ、ストローサッカーゲーム、ピン倒しゲーム、外食会	430	12月	バッティングゲーム、頭の体操、トンネルゲーム、卵早詰め、けっ飛ばしカーリング、クリスマス、忘年会	271
7月	ピンポンフリフリ、丸太転がし、卓上ボウリング、射的	330	1月	バスケットゲーム、スリッパ飛ばし、テーブルコロコロ、輪投げ、カルタ、書道、初詣	276
8月	乗っけてゲーム、輪投げ、ボウリング、射的	254	2月	的当てサッカー、豆運び、頭の体操、的倒し、豆まき	287
9月	ボール出し、ターゲットサッカー、数字探し、空箱押し出し、敬老会	333	3月	魚釣り、テーブルカーリング、指サッカー、ボール運び	361

【個別レクリエーション内容・参加状況】

実施月	レクリエーション・行事名	参加人数	実施月	レクリエーション・行事名	参加人数
4月	水中ウォーキング、フットケア、おやつ教室	36	10月	水中ウォーキング、フットケア、おやつ教室	33
5月	水中ウォーキング、フットケア、おやつ教室、こいのぼり作り	67	11月	水中ウォーキング、フットケア、おやつ教室	30
6月	水中ウォーキング、フットケア、おやつ教室	31	12月	水中ウォーキング、フットケア、おやつ教室	22
7月	水中ウォーキング、フットケア、おやつ教室	30	1月	水中ウォーキング、フットケア、おやつ教室、書道、工作	33
8月	水中ウォーキング、フットケア、おやつ教室、お散歩	31	2月	水中ウォーキング、フットケア、おやつ教室、ちぎり絵	44
9月	水中ウォーキング、フットケア、おやつ教室	30	3月	水中ウォーキング、フットケア、おやつ教室、塗り絵、買い物会	41

(7) 個別機能訓練（介護）・運動器機能向上（予防）サービス

加算算定は行っていないがそれぞれの残存機能に応じた声掛け・見守り・一部介助での日常生活動作等のリハビリを実施した。四肢の運動機能低下による転倒防止、平行棒を利用した歩行訓練階段昇降での運動機能向上に努めた。個別リハビリでは、理学療法士による個別プログラムを作成して身体能力に合わせたものを実施した。毎日、食前の口腔体操やカラオケによる心肺機能の維持向上にも努めた。水中ウォーキングも定着してきている。毎月1回の個別機能訓練計画モニタリングを実施している。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機能訓練（名）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運動器機能（名）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(8) 送迎サービス

【送迎状況】

事故防止と個々に合わせたルートや時間の調整等、利用者やご家族の要望に応えられるよう努めた。今年度は大きな事故はなかったがリフト付車両のリフトの未作動等迅速に対応することができた。

迎え	392	353	394	415	346	383	363	347	356	323	352	376	4,400
(減算)	24	22	26	27	21	25	23	12	13	15	22	21	251
送り	392	351	386	408	339	372	355	344	354	321	347	367	4,336
(減算)	25	24	34	34	28	36	31	15	17	17	24	23	308
延回数	784	704	780	823	685	755	718	691	710	644	699	743	9,295

【送迎車両走行距離】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
キャラバン	1,021	883	318	911	814	748	727	862	657	749	788	573	9,051
MPV	547	509	832	837	659	674	645	796	746	690	581	854	8,370
セレナ	1,055	1,187	1,286	1,291	1,076	1,094	1,163	1,099	1,004	1,002	955	1,023	13,235
ムーブ	573	633	638	544	563	582	569	716	673	540	440	658	7,129
(飛)ハイエース	37	123	764	0	47	168	165	0	138	0	15	168	1,625
合計	3,233	3,335	3,838	3,583	3,159	3,266	3,269	3,473	3,218	2,981	2,779	3,276	39,410

*外出行事使用（走行）分を含む。他事業所使用（走行）分を除く。単位は km。

(9) 看護報告（処置集計報告）

利用者本人への声掛けによる体調確認やバイタルチェックをすることで個々の体調を把握して利用者に合わせて負担にならないようにサービスを提供できた。利用者の希望に応じて軟膏塗布・湿布貼付・点眼・内服薬の管理を行った。爪切りや耳かきも本人・家族では行えない方や希望される方に実施した。口腔ケアに対しては来所時と食後に実施し清潔保持・感染予防・誤嚥による肺炎予防に努めた。突然の体調不良時などは家族・ケアマネジャーに連絡し迅速な対応ができた。足浴（フットケア）導入により下肢の倦怠感が軽減し血流改善し睡眠がスムーズになったという声も聞かれた。毎月1回、全利用者の体重測定を行い、家族やケアマネジャーへの報告を行なっている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
爪切り	17	24	21	31	24	18	12	19	12	26	22	31	257
軟膏塗布	38	39	46	51	28	37	34	26	39	53	50	52	493
点眼	31	26	23	22	12	31	21	14	20	28	38	39	305
内服薬	202	162	147	173	157	178	166	140	142	131	139	151	1,888
体重測定	47	45	42	41	44	43	40	39	49	32	41	40	503
計	335	296	279	318	265	307	273	238	262	270	290	313	3,446

(10) ヒヤリハット報告

平成28年度アクシデント・インシデント・トラブル報告書

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
転倒・転落	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	5
備品（破損）・おやつ等持ち帰り	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
誤嚥、異食、嘔吐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
勘違い、思い違い	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
体調崩れ（送迎車内・入浴介助時）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
転倒・ふらつき	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
車両の物損・スピード・接触	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
備品物損・書類等紛失・その他紛失	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
利用者迎え忘れ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
移動介助時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
厨房関連（異物混入等）	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
送迎時（車）関連	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	3	4	1	3	1	1	0	1	1	2	1	0	18

(11) 地域連携・貢献活動（介護予防教室等）

ふれあいセンター共催での夏祭り・もちつき大会等実施した。来年度は地域へ活動の場を広げ、廃品回収・地域行事等にも積極的に参加して行きたい。

(12) 実習生・ボランティア受入

夏祭りに亀城太鼓保存会、敬老会には琴のボランティアの方々に来館頂いた。利用者からは「満足の声」が聞かれた。今後は新しいジャンルのボランティアの開拓をはじめ、積極的な受入を行う。

○実習生受入報告

種別	学校名他	実人数 (名)	延日数 (日)
職業体験	郵便局	1	1
新任職員	土浦市役所	3	1
合計		4	2

○ボランティア受入報告

ボランティア名	来園回数 (回)
こもれびの会 (2名)	26
ジャグリング (1名)	1
琴さらりん (3名)	1
亀城太鼓保存会 (名)	1
合計	29

5. 利用者状況

(1) 登録利用者

	平成27年度			平成28年度		
	登録者数 (名)	新規利用者 (名)	利用終了者 (名)	登録者数 (名)	新規利用者 (名)	利用終了者 (名)
4月	44	0	4	49	2	0
5月	40	2	0	51	0	0
6月	42	2	0	51	1	2
7月	44	1	3	50	0	0
8月	42	1	0	50	0	0
9月	43	0	3	50	1	0
10月	40	2	0	51	1	1
11月	42	1	0	51	0	1
12月	43	1	2	48	1	0
1月	42	5	0	48	0	0
2月	47	3	0	48	0	2
3月	50	0	1	46	2	2
合計	519	18	13	593	8	8
平均登録者数 (名)	43.3	1.5	1.1	49.4	0.7	0.7

(2) 介護度別登録利用者

要介護度	平成27年度 (平成28年3月31日現在)		平成28年度 (平成29年3月31日現在)		前年度比	
	実人数 (名)	構成比	実人数 (名)	構成比	実人数 (名)	構成比
支1	3	6.8%	3	7.0%	0	0.2%
支2	4	9.1%	3	7.0%	△ 1	△2.1%
1	15	34.1%	13	30.2%	△ 2	△3.9%
2	11	25.0%	14	32.6%	3	7.6%
3	4	9.1%	4	9.3%	0	0.2%
4	5	11.4%	3	7.0%	△ 2	△4.4%
5	2	4.5%	3	7.0%	1	2.5%
介護保険外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	44	100%	43	100%	1	-

(3) 利用者年齢構成

年齢(歳)	平成27年度(名) (平成28年3月31日現在)		平成28年度(名) (平成29年3月31日現在)		前年度比(名)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～64	0	1	0	0	0	△1
65～69	1	2	1	2	0	0
70～74	1	1	1	1	0	0
75～79	2	3	2	4	0	1
80～84	1	10	1	10	0	0
85～89	5	6	5	5	0	△1
90～	1	10	1	10	0	0
男女別合計	11	33	11	32	0	△1
男女比	25.0%	75.0%	25.6%	74.4%	0.6%	△0.6%
合計	44		43		△1	

(4) 町内別(市外含む)・中学校区別登録利用者(平成29年3月31日現在)

○町内別(市外含む)

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
中	3	荒川沖	2	摩利山新田	1
中村南	3	桜ヶ丘町	2		
乙戸	2	下高津	3		
烏山	3	霞ヶ岡	1		
西根南	1	小岩田東	2		
荒川沖西	2	永国東町	4		
小松	4	中村東	1		
中高津	1	天川	2		
中村西根	2	城北	2	市外	2
				合計	43

○中学校区別

地区	登録者数
一中地区	2
二中地区	0
三中地区	16
四中地区	16
五中地区	0
六中地区	7
都和中地区	0
新治中地区	0
市外	2
合計	43

6. 職員勤務体制

(1) 平成28年度 個人反省

職種 勤続年数	氏名 (経験年数)	反省
生活相談員 7年6ヵ月	佐藤 堅	利用者様に満足していただけていたと思うが、稼働率が思うように伸びなかった、デイサービスにいらしていただければ選ばれる自信を持ち続け、自身の営業力の低さを改善していく。
看護師 5年8ヵ月	糟谷 友子	ターミナル期の方でも安全・安心に繋がれるよう健康管理をしていきたい。
看護師 13年11ヵ月	河田 幸子	救急時の応急手当に自信が持てるようにする。
看護師 9年5ヵ月	小島 秀代	利用者様・職員の健康管理に努めたい。
看護師 3ヵ月	駒井 恵美子	個別・少人数でのリハビリ等の対応がまだできていないので今後の課題として取り組んでいきたい。
介護職員 8年5ヵ月	鈴木 由佳里	初めてリーダーという立場になり不安もあり慣れない中で一年仕事を取り組んできたが、まだまだ教えられる立場でないことを感じたので色々なことをこれから学んで自分自身の成長に繋げたい。
介護職員 2年6ヵ月	中嶋 芳枝	利用者様に対して、もう少し個別対応ができればよかった。
介護職員 1年3ヵ月	小山 園美	接遇に気をつける。
介護職員 7ヵ月	星野 ノーナ	私はもっと勉強していれば会話がスムーズに出来たかもしれない。これから言葉を沢山覚えたい。

* 「勤続年数」基準日は平成29年3月31日現在。「経験年数」は他事業所での経験年数との合算。

栄養士 17年	鈴木 陽子	「食事が楽しみ」と思われるようなメニュー作りをもっとしていきたい。
調理員 16年2ヵ月	世永 良子	大きな反省有りませんが、今後も前向きに考えて仕事をしていく。

* 「勤続年数」基準日は平成29年3月31日現在。「経験年数」は他事業所での経験年数との合算。

(2) 外部研修参加報告

日程	場所	研修名	参加者
4月26日	県西生涯学習センター	平成28年一般検査説明会	佐藤

7. ながみね厨房業務

利用者にとって食事は日々の大きな楽しみであると同時に健康を左右する大切な要素の一つである。一人ひとりの嗜好と栄養状態にあった食事の提供に努めた。その中で季節感を大切に、利用者に喜ばれるメニュー作りを心掛けた。

(1) 栄養所要量

	栄養所要量								
	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)	食塩 (g)
4月	684	28.3	17.4	176	4.5	0.40	0.43	49	4.7
5月	686	28.6	17.4	192	4.7	0.40	0.45	52	4.5
6月	677	27.6	17.2	166	4.4	0.39	0.42	45	4.4
7月	658	25.9	17.1	172	4.0	0.38	0.39	47	4.1
8月	672	28.7	17.2	160	4.4	0.38	0.42	43	4.8
9月	675	26.6	17.1	184	4.3	0.40	0.42	49	4.2
10月	681	27.1	17.3	174	4.0	0.38	0.40	51	4.1
11月	680	27.8	17.3	195	4.5	0.37	0.42	52	4.1
12月	669	27.8	16.0	167	4.6	0.38	0.43	43	4.6
1月	685	27.9	17.2	180	4.3	0.37	0.42	51	4.5
2月	682	27.7	16.9	192	4.4	0.40	0.44	55	4.1
3月	668	27.0	16.7	172	4.2	0.38	0.41	52	4.2
平均	676	27.6	17.1	178	4.4	0.39	0.42	49	4.4

(2) 食事提供状況（食数）

（食）	平成27年度	平成28年度	前年度比
デイサービス利用者	4,366	4,468	102
職員	887	1,003	116
お弁当（500円）	368	711	343
おにぎり（100円）	540	551	11
実習生	3	7	4
新人研修弁当	6	0	△ 6
延長利用者（夕食）	0	5	5
ケアマネジャー食事会	0	39	39
付添・体験利用者	0	11	11
飛羽ノ園デイサービス利用者	0	45	45
合計	6,170	6,840	670

○毎食時の検食実施（検食簿記入）

利用者の視点で主食・副食の分量や味付け・加熱状況などが適切となっているか他業種の職員がチェックすることで検食等の内容をもとに調理法など改善し、より良い食事の提供ができるよう努めた。

○行事食

誕生会や季節の行事にはできるだけ手作りにこだわり、旬のものを使用し季節感を感じて頂けるよう、メニューを作成した。また、おやつ作りではホットプレートを使用し、目の前でできたてを食べて頂き、トッピングやデコレーションで自分だけのオリジナルも楽しんで頂いた。

*誕生会・おやつ作り・行事食・おやつ教室（毎月1回実施）

○選択食

選択食は自分で選ぶことの楽しさが利用者の食欲に結びついていると考えられる。聞き取り調査を行う上で利用者とコミュニケーションを図りながら食事の摂取状況や嗜好の再確認も行った。

*選択食（毎月1回実施）

(3) 衛生管理

○検便（毎月実施）

○食品の中心温度の測定の実施（測定結果は給食日誌に記入）

○原材料及び検食の冷凍保存の実施（14日間）

○害虫駆除の実施（ダスキンによる害虫駆除の実施及び発生状況の確認（年4回実施））

○厨房内の定期的な清掃の実施(自己衛生管理表に記入)

○包丁・まな板・調理台・水槽の使い分けの徹底、時間・温度の管理

○自主点検表による白衣・爪・指輪・マニキュアの有無・手指の傷の有無、下痢・腹痛等の体調不良のチェック

○食材の定期的な放射性物質測定の実施（毎月1回実施）

○厨房外下水清掃の実施（毎月1回実施）

(4) 売り上げ・食材仕入れ額

9月より生鮮食を扱う業者を増やし、地元の野菜を安く仕入れができるようになった。冷凍品や加工品が値上がりする中、新鮮で安い地元の食材をうまく活用していく。

(5) 嗜好調査の実施

2月に利用者や家族にアンケートを実施した。また、介護職員・看護職員と連携し、利用者からの要望を聞き取り、食事の様子を厨房職員も一緒に観察することで嗜好を把握した。

平成 28 年度 事業報告書
土浦市ふれあいセンター ながみね
土浦市指定管理者受託事業

1. 運営

土浦市唯一の「ふれあいセンター（～子どもから高齢者まで幅広い年齢層が利用できる複合的福祉施設～）」としてその役割である幅広い年齢層の世代間交流、また利用者の健康増進や文化的交流促進のため、地域・市民及び各種団体等との連携を図りながら市民の福祉の向上に資するための運営に努めた。

施設利用者と共に明るく楽しく安心して利用できるふれあいセンターを目指し、センターの中心設備であるプールと浴室を皆様に快適に使うよう日常の管理業務を適切に実施した。

- (1) 市民の福祉の増進を図るとともに世代間交流を支援し、広く福祉の向上に資することを目的とした管理運営を行った。
- (2) 施設の適切な維持管理及び効率的な運営に努めた。
- (3) 業務にあたっては、関連する法規を遵守した。
- (4) 利用者に対するサービス提供に努力し、利用の促進を図った。
- (5) 土浦市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底した。

平成 23 年度に土浦市から指定管理者として運営を受託し、平成 27 年 10 月の指定管理者選定委員会を経て平成 28 年度～平成 32 年度の 5 年間も祥風会が指定管理者としてふれあいセンターながみねの運営を担うこととなった。過去 5 年間の反省点・改善点等を活かしながら新しい取組にも力を入れた。

開館より 13 年余りが経過していることから建物・設備等の修理・交換も多々あった。特にアメニティプール（4 種類全て）はろ過ポンプの故障により約 1 ヶ月半（8/21～10/3）の間使用できず、夏場利用者の方々にご迷惑を掛けてしまった。その他にも今年度からスタートした「月曜祝日の営業」「清掃センター焼却炉 3 機の交換工事（3 年計画）」「水郷プールの営業再開」等、ふれあいセンターへの影響が危惧されたこともあったが大きな問題もなく乗り越えることができた。平成 28 年 6 月 1 日付で管理者（所長）の交代があったが他職員の支えもあり、施設全体の日常的管理・運営についてもおおむね順調に進めることができ、「ふれあいの場」を継続して提供することができたと考える。

来年度も引き続き、ふれあいセンターの役割をしっかりと認識した上で「本来あるべき姿（子どもから高齢者まで幅広い年齢層が利用できる複合的福祉施設）」の実現に向かってビジョンを持ち、安定した経営・新しい取組を通して地域の方々に有効活用して頂けるような施設を目指し、計画的・積極的に活動していく。

2. 事業報告

(1) 施設の運営

①職員配置

～祥風会～

○管 理 者：梶川純孝

○管理職員：篠崎加代子・北島きよ子・邊見祐子・高橋佑次
河田坦・抜井望・大槻やよい

～業務委託～

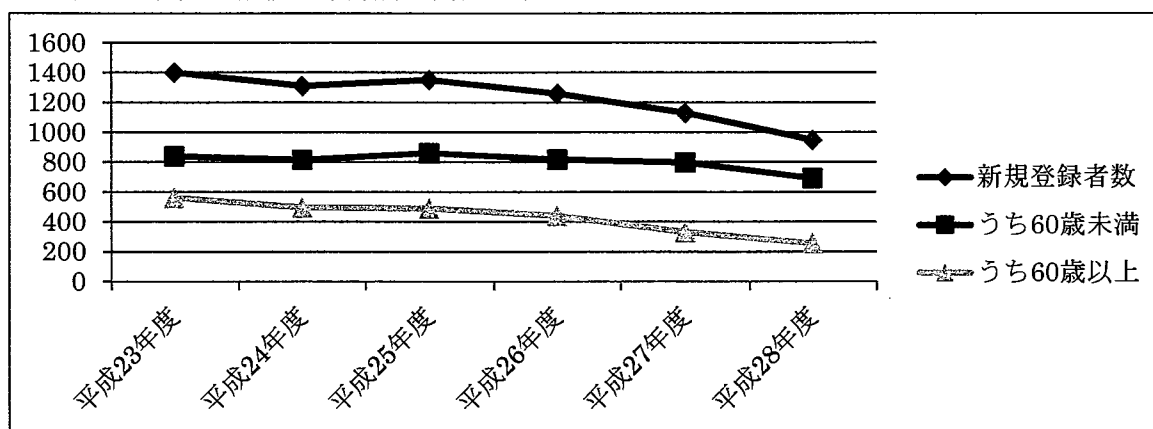
○(株) ビート：浴室・プール管理、機械設備管理、清掃業務、受付業務

○(株) 荒川沖ハイヤー：送迎バス運転業務

②市内利用者登録証の発行、プール・浴室、各部屋の利用状況

平成 22 年度から市内・市外の利用料金区分が変更されたことに伴い、市内の利用者については登録証を発行しており、当初 1 年間であった有効期限も平成 23 年度より 3 年間に変更している。

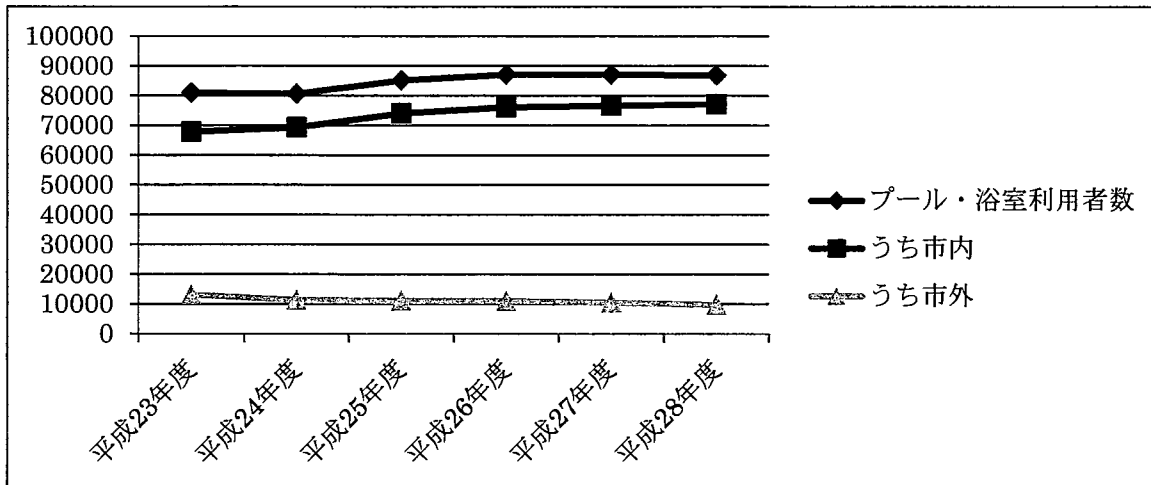
【新規登録者数の推移と年齢別の内訳（名）】



登録者延人数は 11,108 名（平成 29 年 3 月 31 日現在）、今年度の新規登録者数は 949 名、前年度比では約 16.0%減少しており、過去最低の新規登録者数となった。有効期限が 3 年間あることも新規登録者の減少に影響していると考えられるが登録証の発行開始から新規登録者の減少が継続している。その反面、60 歳未満の登録者数割合が平成 23 年度では約 60%程であったがこの 6 年間で徐々に増加傾向にあり、今年度は約 73%と若年層の新規登録が増加した。おそらく、前身の「老人福祉センターながみね」から現在の「ふれあいセンターながみね」へのイメージチェンジが行われたものとポジティブに捉える。

今後も新規利用者（登録者）の獲得が安定した運営（経営）に影響を与えることをしっかりと認識した上で更なる周知活動を通して土浦市民・近隣住民の方々に有効に活用して頂ける施設作りを目指す。

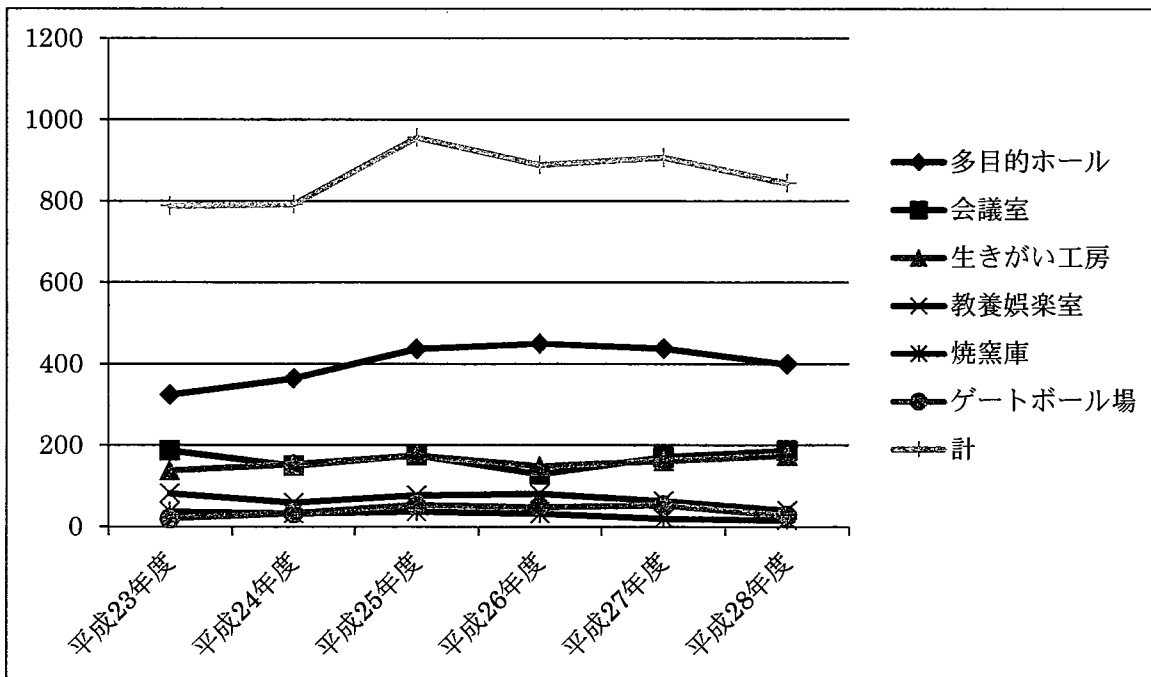
【プール・浴室利用者数の推移（名）】



施設のコアであるプール・浴室においては利用延人数 86,887 名（内減免・無料利用者数は 20,019 名）、前年度比でも約 0.2% 減少（減免・無料利用者数は約 4.7% 減少）しており 2 年連続で減少となった。しかし、市内利用者数は過去 6 年間増加し続け最高値、反対に市外利用者数は減少し続け過去最低値となっており、収入減に直結しているというのが現状である。

市内利用者の増加は施設本来の目的を考えればプラスではあるが施設の安定した経営を考慮すると市内に限らず、市外（特に隣接しているつくば市）の方々の利用率増加が必須であり、アピール力（周知活動）の強化が今後の課題となっている。

【各部屋利用回数の推移（回）】



各部屋利用回数合計は 844 回、前年度比は約 6.9%の減少となっている。唯一の有料スペース（減免・無料もあり）である多目的ホールの利用回数合計は 399 回、前年度比は約 8.9%の減少となっており、収入面でも同様に減少傾向となっているのが現状である。

趣味室は来館された方が自由に囲碁や将棋を行うことで交流の場となっており、ほぼ毎日利用されている。焼窯庫については現在 1 団体のみの利用となっており、市の施設として幅広い方々に利用して頂けるよう検討していくことが必要である。その他、会議室・生きがい工房・教養娯楽室は利用許可こそ必要ではあるが無料のため、市内に限らず、市外の団体も利用されている。

各部屋の利用が増え、幅広い年齢層の世代間交流、利用者の健康増進や文化的交流促進等、福祉の向上に貢献することで本来の役割を果たせていると考える。しかしながら、多目的ホール以外は無料となっており、安定した運営のためにも適切な受益者負担が必要であるとも考える。

③福祉の増進及び世代間交流促進に寄与する事業

併設デイサービスと合同で夏祭り・もちつき大会を開催するなどデイサービスでの活動を知って頂く機会を設けたが一方で福祉活動団体の利用促進や介護予防教室などへの取組は不十分であった。今後は各種行事を施設一体となって協力し、多くの方々に参加してもらえよう企画したい。

④浴槽・プール等の水質管理

センターの主設備である浴槽・プールは運営上重要な位置づけであり、利用者の方が多く利用する設備である。ながみねではレジオネラ属菌の検査を基準以上の回数で実施する等、水質の管理・清掃の徹底で利用者が安全に利用できる施設として衛生管理に努めた。前年 2 月に土浦保健所の定期立入検査を受けた際、違反や指導はなかったが 15mプールの過マンガン酸カリウム消費量が高値であるという指摘を受けたため、対処療法として換水頻度を増やすことで対応した。その後、消費量は安定している。

○7/11 浴槽・15m プール・ワールプール配管洗浄

○9/5 受水槽・貯湯槽清掃

○土浦保健所定期立入検査（平成 28 年 2 月）

⑤センターの活性化対策（新しい取組など）

中庭の花壇整備やイルミネーションの設置（12/3～2/28）は変わらず好評であったがイルミネーションの準備に時間がかかってしまい前年よりもスタートが遅くなってしまった。繰り返し訪れたくなる・他の人に紹介したくなる施設となるよう引き続き努力していく。

○8/21 夏祭り（つちまる着ぐるみ・土浦市観光協会・亀城太鼓保存会など）

○9/19 敬老の日（市内在住 60 歳以上の方に無料利用券配布：計 135 枚）

○12/27 もちつき大会

○1/4 新年大抽選会（景品引換期間：1/11～18）

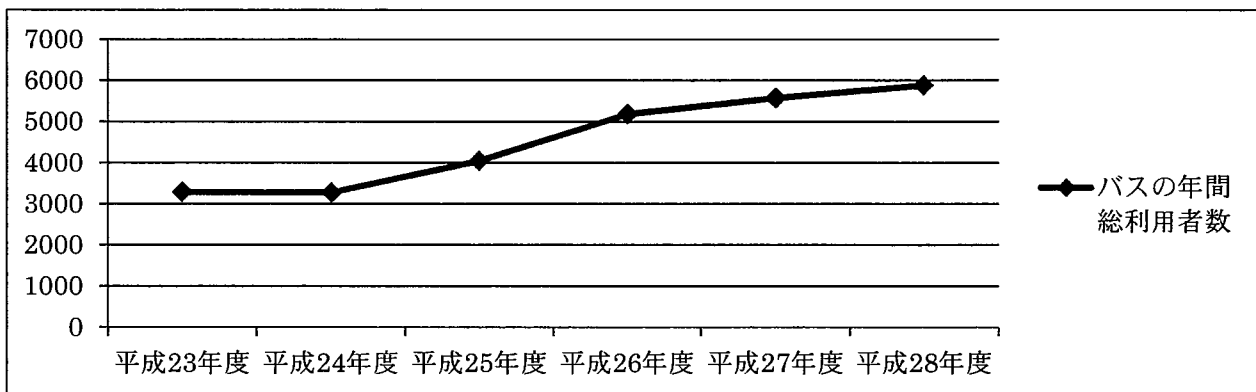
⑥運営における安全確保

平成 23 年に防犯カメラを設置した。不特定多数の方が利用する公共施設であるため、犯罪抑止効果、また職員が安心して働ける環境という点でも大きく寄与している。また、営業時間中は定期巡回、営業時間外は自動警備を行い、防犯・防火に努めた。

⑦バスによる団体送迎・定期送迎の実施

* 乙戸地区ルート：(日) (水) (金) * 中村地区ルート：(火) (木) (土)

【定期巡回バス利用者数の推移 (名)】



団体送迎は主に高齢者クラブが利用している。定期送迎バスについては利用者数が多いとは言えないが増加傾向にあり、一定の需要があることは間違いない。しかし、平成 28 年度の総利用者が 5,587 名であることから

$$5,587 \text{ (名)} \div 308 \text{ (営業日数)} \div 3 \text{ (1日の便数)} = 6.4 \text{ (名/便)}$$

と 1 便の運行で 6.4 名の利用しかないことがわかる。

現在の定期送迎バスは「定員 45 名」であり実際の利用者数と比較するとかなりオーバースペックだと認識できる。車両自体も登録年月が平成 11 年 10 月であり 17 年経過、総走行距離は約 280,000km と通常の自家用車であれば耐用年数の 3 倍を超える寸前である。そのため、平成 28 年度の車両維持費(車検・修理代)も通常予算をはるかに超える結果となってしまった。

今後も指定管理料の適正な運用を含め、土浦市と共に費用対効果・運行目的の確認・送迎バスの車体変更・巡回ルートの見直し等について引き続き協議していく必要性が高い。

○3 ヲ月点検 (7/4・12/26・3/21)

○車検 (9/26~27)

⑧その他センターの管理運営に必要な業務

○他施設との連携

定期的に他福祉センターとの会議を行うことによりお互いの問題を共通の課題として認識することができた。今後も他福祉センターはもちろん、高齢福祉課・警察・保健所等各機関と連携を図り続ける必要がある。

* 老人福祉センター・ふれあいセンター長会議 (6/3・9/27・12/20・3/21)

○委託業者との連携

機械設備、プール・浴室管理、清掃の業務委託を一括して（株）ビートに委託している。日常的な報告・連絡・相談はもちろんであるが月1回（第4木曜日）の定期会議を実施し、情報・課題の共有と問題解決を通して連携の強化を図ることができた。

* CPR 講習実施（3/27）

○経費削減の実施

運用にかかる水光熱費は支出全体の1/3あまりを占めている。今後も継続して経費削減案を実行し、利用者の不便とならない範囲で支出の見直しに努める。

⑨その他

○平成28年度より祝日の月曜日営業し翌火曜日休業。

○5/26～6/5 清掃センター焼却炉3機とも休炉のためヒーター運転。

○7/30 清掃センターで火災発生し、一時熱源ストップするがその後復旧。

○2/19 清掃センターで自家用電気工作物年次点検のため停電・熱源ストップし、ヒーター運転。
→2/21 焼却炉稼働し、ヒーター停止。

(2) 施設及び設備等の維持管理

委託業者と連携を図り、運営に支障がないよう設備機器について日常的点検・清掃を行い、安全かつ快適に利用できる環境作りに努めた。開館から13年経過しているということもあり、設備の老朽化・消耗等による修理・修繕も多々あった。緊急対応を要する場合には迅速に土浦市に連絡・指示・協力を仰ぐことにより、大事に至らず運営を続けることができた。

①建物の維持管理

○8/12 女子浴室換気扇故障→9/5 修理完了

○8/12 男子・女子更衣室エアコン不具合→9/26 エアコン清掃実施し改善

○9/24 玄関外側自動ドアセンサー不具合→9/26 調整完了

○11/3 事務室エアコンからの水漏れにより天井壁破損→2/27 天井壁修理完了

○11/18 玄関外側自動ドアモーター故障→11/28 モーター交換・修理完了

○12/8 玄関内側・1/13 玄関外側自動ドアセンサー不具合→1/23 修理完了

○2/17 男子更衣室・焼窯庫内の蛍光灯故障→2/17 LEDへ交換修理完了

○3/31 女子浴室壁改修工事完了

②消防設備保守点検

○7/25 消防機器点検

○2/27 自衛消防訓練実施

○1/23 消防設備点検

③電気設備

- 毎月 電気工作物点検
- 1/26 自家用電気工作物年次点検（全館停電）

④給排水設備

- 6/13 貯湯ヘッタータンク圧力逃し弁交換

⑤機械日常管理業務委託

- 5/24 インバーター故障のため、レイドバック使用不可・8/21 アメニティプールのろ過ポンプ故障し残り3種類のアメニティプール使用不可
- 9/27 ろ過ポンプ修理・9/30 インバーター修理⇒10/4～アメニティプール営業再開。
- 6/7 温水ヒーター修理

⑥地下燃料タンクの保守管理

- 11/17 重油地下タンク漏洩検査・点検
- 消防署による立入検査

(3) その他施設の運営に関わる維持管理

①防火管理

- 防火管理者：管理者（所長） 梶川純孝
- 消防法に基づく点検（消防機器点検・自衛消防訓練・消防設備点検）

②運動プール及び浴室等の衛生管理

- 定期清掃（毎月第4月曜日）：年計12回
- 水質検査（毎月第4火曜日）：年計12回

③センター内の保安警備

- 開館時間内：職員による定時巡回・目視による確認。
- 開館時間外：24時間体制での機械（警備保障会社）による監視。

④施設清掃業務

- 日常清掃業務に加え、専門業者委託により床・カーペット・脱衣室・エアコンフィルター等の清掃を実施した。

⑤廃棄物処理

- 廃棄物搬出：毎週水・土曜日（清掃センターへ）

⑥緑地の維持管理

○季節に応じた維持管理をすることで気持ちの良い環境整備に努めた。

⑦緊急時の対応

○入浴中やプール遊泳中の体調悪化を防止するために注意喚起や巡視の徹底を行った。緊急時は一体となって利用者の生命を第一に対応し、特に併設デイサービス開館中は看護師との連携を重視した。今年度は浴槽内の湯温を 40.5℃に設定し、「湯あたり」「ヒートショック」予防に努めた結果、その症状を訴えた利用者は減少した。

○3/14 浴室にて足を滑らせ転倒、意識不明に陥った利用者があり救急搬送に付き添ったが経過良好であり、大事には至らず即日退院できた。

⑧防犯・防災対策

○防犯・防災・緊急時の対応マニュアルを整備。また、併設デイサービスとの合同避難訓練を年 2 回、同一法人事業所である特別養護老人ホームの夜間避難訓練（6/15）にも参加した。

(4) センターの管理運営

①プール・浴室の管理運営

○監視職員は外部委託を行うが施設の運営上、プール・浴室の管理は重要な位置づけであることをそれぞれに理解し、訪れた方が繰り返し利用したいと思う施設になるよう努めた。

②送迎バス運転の管理運営

○送迎バスの運行は外部委託を行い大きな事故もなく定期送迎・団体送迎を実施できた。

(5) センターの各種報告・調査及び統計資料の作成

○毎月 10 日に月報（実績）を土浦市へ報告。

○土浦市役所の移転に伴い、送迎バス車検証の住所変更を代行し、土浦市役所管財課へ提出。

○平成 28 年度年報作成し、土浦市へ提出。

3. 自主事業

(1) 講座の開催

○委託業者である(株)ビートと共同で講座を開催した。講座をきっかけにふれあいセンターを知ったという方も多く、また市報への情報掲載等によって施設の周知に繋げることができた。今後も幅広い年齢層の世代間交流、また利用者の健康増進や文化的交流促進のため、地域・市民及び各種団体等との連携を図りながら市民の福祉に対する関心度を高めていきたい。

【講座開催回数(回)・参加延人数(名)】

回数(回) 人数(名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
水中ウォーキング	2	3	4	3	0	1	4	4	1	3	3	2	30
	36	44	50	44	0	17	58	49	12	47	38	23	418
水中ウォーキング プラス	2	3	5	2	0	1	4	3	2	3	3	2	30
	38	52	89	35	0	17	65	40	31	47	47	32	493
書道教室 (A)	2	2	2	2	0	2	2	2	2	2	2	2	22
	13	12	13	13	0	14	13	13	13	18	16	17	155
書道教室 (B)	2	2	2	2	0	2	2	2	2	2	2	2	22
	15	18	13	15	0	15	15	15	14	24	20	20	184
英会話教室 (1~3) 新	3	3	4	4	3	5	4	4	3	4	4	4	45
	18	13	23	24	11	27	24	19	18	21	24	16	238
英会話教室 (1~3)	3	3	4	4	3	5	4	4	3	4	4	4	45
	17	16	23	23	16	29	19	21	15	18	17	15	229
英会話教室 (4~6)	3	3	4	4	3	5	4	4	3	4	4	4	45
	22	24	27	28	19	34	25	24	19	23	21	18	284
ヨガ(A)	3	3	5	3	0	3	4	1	4	3	1	2	32
	17	16	29	21	0	19	23	7	24	18	5	12	191
ヨガ(B)	3	3	5	3	0	3	4	1	4	3	1	2	32
	24	20	31	21	0	17	24	5	2	16	6	12	178
楽しく 健康体操	2	3	4	3	0	1	4	4	1	3	3	2	30
	19	26	34	25	0	9	32	36	9	28	35	24	277
女性のため の骨盤体操	2	3	4	3	0	2	4	4	2	3	3	2	32
	25	39	47	32	0	22	44	41	22	39	33	26	370
ケーナ教室	2	2	2	2	0	2	1	3	2	1	1	4	22
	23	26	21	25	0	24	11	26	24	10	11	37	238
合計(回数)	29	33	45	35	9	32	41	36	29	35	31	32	387
合計(人数)	267	306	400	306	46	244	353	296	203	309	273	252	3,255

(2) デイサービスとの連携

○デイサービスとの一体運営ということで特にデイサービス看護師との連携によって、体調不良者(湯あたり等)への対応を迅速かつ適切に行うことができ、救急搬送は1件あったが大事には至らなかった。また、夏祭りや餅つき大会の共催により、互いの利用者の交流や施設の周知活動に活用できた。

(3) 野菜販売

○委託業者である(株)ビート主体となり、毎週火・木・金曜日の午前中に野菜販売を定期的を実施した。プール・浴室・講座等の利用目的以外にセンターへ来館される方々も多く見られ、施設の周知・活用方法の多様化に貢献できたのではないかと考える。今後も野菜販売に限定せずとも地域・市民の方々が気軽に来館できる環境の整備に努める。

4. 経営について

○先述したプール・浴室利用延人数は 86,887 名、前年度比約 0.2% (208 名) 減少しており 2 年連続での減少となった。利用料収入 (多目的ホール利用料含む) 合計は¥15,019,420、前年度比約 0.9% (¥131,810) 増加しており過去 5 年間で最高となった。しかし、利用者 1 人当たりの単価は約¥172.9 であり、5 年前の平成 23 年度の約¥186.2 と比較すると約¥13.3 下がっている。これは市外利用者の割合が平成 23 年度約 16.2%から平成 28 年度約 12.2%へ減少したことが大きく影響していると考えられる。

部屋利用に関しても多目的ホール以外は無料、唯一の有料スペース (減免・無料もあり) である多目的ホールの利用回数合計は 399 回、前年度比は約 8.9%の減少となっており、収入面でも同様に 6,740 円減少となっているのが現状である。

定期・団体送迎バスは実際の利用者数と比較するとかなりオーバースペックであり、老朽化も進んでいる。そのため、今年度の車検代は約 480,000 円と例年車検代の約 2.5 倍、通常予算をはるかに超える結果となってしまった。

結果として今年度は約 700,000 円の赤字経営で終了した。

○今後のビジョン

指定管理受託 6 年間の内で単年度黒字化を実現できたのは平成 27 年度の 1 年のみである。売上重視・経営重視の運営は当センターの本来の目的からすれば本末転倒ではあるが今後も当センターが市民・地域住民のふれあいの場・交流の場であり続けるためにも安定した経営は必須である。今後も水光熱費等の節約・周知活動等は継続しつつ、指定管理料の適正な運用を含め、ふれあいセンターにおける適切な受益者負担の妥当性・費用対効果等、「経営」についても土浦市と協議していく必要性が高いと考える。

5. 職員勤務体制

(1) 平成28年度 個人反省

職種 氏名 勤続年数 (経験年数)	反省
管理者 梶川 純孝 15年 (15年)	平成28年6月1日付で異動となり、ふれあいセンターの業務に携わることになった。慣れない業務の中で利用者にご迷惑をかけてしまったこともあったが他職員の協力もあり、大きな事故等なく管理・運営することができた。
管理職員 篠崎 加代子 6年 (13年4ヶ月)	新しい職員の育成を通し、自分自身も成長できたと思う。積極的にお客様に声掛け等を行い、施設が利用できない時も苦情なく営業ができた。
管理職員 北島 きよ子 6年 (12年8ヶ月)	皆様に気持ちよく利用して頂けるよう、花壇の手入れ・対応等気をつけて自分なりに業務に就けたように思う。
管理職員 高橋 佑次 5年 (5年)	利用者の苦情処理・要望の受入を意識した。来年度は利用者だけでなく、職員も働きやすくなるようマニュアル等の整備を進めていきたい。
管理職員 邊見 祐子 13年 (13年)	学んだ業務内容を新しい職員へ引き続き指導していけるように努めたい。
管理職員 河田 坦 6年 (6年)	勤務時間が夜間のみのため、仕事帰りの利用者がほとんどではあるがリピーター確保に貢献できた。
管理職員 抜井 望 11ヶ月 (11ヶ月)	接客時の対応や行動に今後気をつけていきたい。また、これからも明るい接客に心がける。
管理職員 大槻 やよい 11ヶ月 (11ヶ月)	忘れ物や電話対応等、的確に返答・対応できるよう心がける。

* 「勤続年数」基準日は平成29年3月31日現在。「経験年数」は他事業所での経験年数との合算。

